

卒業まで保管

2023

履修のガイド

—2023年度入学生（1年生）対象—



北海道情報大学

令和5(2023)年度 学年暦

4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

6日 入学式
4日～11日 前期 STP
12日 前期 授業開始

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6日 授業休業日
7日～8日 盂蘭祭 (予定)
14日 月曜授業日

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

3日 通常授業日
17日 後期前半 授業終了
20日 後期後半 授業開始
23日 通常授業日

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

9日 前期前半 授業終了
10日 創立記念日
12日 前期後半 授業開始
16日～17日 体育祭

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

26日～ 年末年始授業休業期間

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

17日 通常授業日

1月(2024年)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

～9日 年末年始休業期間
27日、29日 合同試験日
30日～ 春季休業期間

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

5日 金曜授業日
7日～8日 合同試験
9日～ 夏季休業期間
21日～26日 夏期集中授業期間
28日～ 追再試験期間

2月(2024年)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

2日、3日 一般1期入試
8日～14日 冬期集中授業期間
15日～17日 後期追再試験期間
19日～21日 後期追再試験期間

9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

～2日 追再試験期間
～20日 夏季休業期間
21日 後期STP
22日 後期 授業開始

3月(2024年)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

15日 学位記授与式

	月	火	水	木	金
授業回数	16	16	16	16	16
内休日授業	1				1
内他曜日					1

	月	火	水	木	金
授業回数	16	16	16	16	16
内休日授業				1	1
内他曜日	1				

：前期、後期前半授業期間 ：集中授業日 ：スタートアッププログラム ○：他の曜日の授業実施日
：前期、後期後半授業期間 ：合同試験日 ：追再試験日 ◇：大学行事

建学の理念

北海道情報大学は、平成元年に我が国の情報化社会の黎明期に情報教育の新しい扉を拓いた、学園創立者松尾三郎博士によって、「情報化社会の新しい大学と学問の創造」を建学の理念として開学した大学です。

本学の使命・目標

IT社会の到来を告げる国際情報化の幕開けに先駆け、「情報」を大学名に取り入れて開学した北海道情報大学は、「産学協同の精神の下、豊かな国際性、創造力ある人間性を涵養し、実学に裏付けられた実践的な専門教育を通して、我が国の国際情報通信社会の進展に貢献する高度情報通信技術者を育成する」ことを使命としています。

本学は、北海道開拓のシンボル・野幌原生林の豊かな自然にまつまれたキャンパスを研究・教育の創造的なふれあいの場として、あるいは先端的な通信教育により全国に展開されている学びの場において、「情報」を核にその応用範囲を広げていく「情報の総合大学」としてIT社会の発展に寄与するために、以下のような機能を果たすことを目標としています。

- 情報を核とする高度な専門職業人養成機能
- 国際性と豊かな人間性を育む教養教育機能
- 情報に関わる通信教育の拠点機能
- 地域貢献・産学連携機能

教育目的

21世紀において、われわれを取り巻くすべての社会構造は今やIT抜きでは成り立ちません。このような状況に鑑み、本学の教育では、明日の高度情報通信社会の担い手にふさわしい情報技術と知識、およびそれを支える幅広い教養と各種専門分野にまたがる知識の習得に裏打ちされた高度IT技術者を育成することを目標に掲げています。また、国際情報化に適応できる国際性豊かな人材、情報に付加価値を生み出す幅広い教養、感受性、モラル、コミュニケーション能力を備えた人間性に優れた人材を育成することを目指しています。

- 生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力を育成する自己啓発教育
- IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識を身につける実践教育
- 国際感覚やモラルなど豊かな人間性を養う人格教育
- コミュニケーションとプレゼンテーション能力を涵養する自己表現啓発教育
- 自ら問題を見つけ出し、その解決のために自身で工夫できる問題発見・解決能力育成教育
- 知識のみではなく生きるための知恵を啓発する全人教育

本学の特色

- 現代社会の全てのコア技術であるITを基盤とした各種専門分野のカバー
- 最先端の研究と教育を可能にする産・学・研トライアングル
- e-Learningや遠隔授業を含む最新の通信教育システム
- 全国の情報専門学校との提携による情報教育ネットワーク
- 公開講座活動や施設開放による地域に開かれた大学

北海道情報大学における卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

主体性を持った高度ITプロフェッショナルの育成を目標として、以下のコンピテンシー（知識・スキル・心構え）を身につけ、かつ、所定の単位を修得した学生に対して学位を授与します

- ① 生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力
- ② IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識
- ③ 国際感覚やモラルなど豊かな人間性
- ④ コミュニケーションとプレゼンテーション能力
- ⑤ 自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力
- ⑥ 知識のみではなく生きるための知恵

経営情報学部 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学部では、社会や企業を動かす情報システムの企画・構築・運用に必要とされる情報処理の専門知識と高度な技術及びデジタルビジネス時代における経営に関する専門知識と高度な技能を修得し、同時に、幅広い教養・感受性・モラル・コミュニケーション能力を備えた、高い志を有する人材に学位を授与します。

先端経営学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 育成すべき人材像

情報社会で価値ある情報を見極める能力を高め、国際的な視野と感覚を持った人材を育成するとともに、IoT（モノのインターネット）などのデジタル技術を活用するデジタルビジネスによって新たな価値を創造できる能力を備える人材を育成します。学生が身につけるべき能力①～⑥に対応させた育成すべき人材像を示します。

①生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力

- ・学ぶ意義を理解できる人材。
- ・生涯にわたり常に社会の動向を意識し、経営と情報技術との関連性からマネジメントの課題に関心をもち主体的・持続的に学ぶ力を備えた人材。

②IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識

- ・IT社会における高度な情報技術と経営の専門知識を活用して経営課題を解決し、豊かな社会の実現に寄与できる人材。

③国際感覚やモラルなど豊かな人間性

- ・異文化を理解し、国際感覚に優れた人材。

④コミュニケーションとプレゼンテーション能力

- ・市民としての倫理観と自覚を持ち、社会に貢献できる人材。
- ・多様な意見や資料から必要な情報を収集・選択し、自分の考えを的確に表現でき、周りに感動を与え、行動を引き出せる人材。

⑤自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力

- ・IoTなどの情報技術を活用して自ら進んで経営課題を解決し、地域の活性化や街づくりなど幅広く社会との連携を深めてビジネスを創造できる人材。

⑥知識のみではなく生きるための知恵

- ・物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考を備えた人材。
- ・情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材。

2. 学位授与の方針

所定の単位を修得したこと、すなわち、育成すべき人材像に対応して定めたコンピテンシーを身につけ、育成すべき人材になっていると認めた学生に「学士（経営情報学）」を授与します。

システム情報学科 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

1. 育成すべき人材像

情報社会で価値ある情報を見極める能力を高め、国際的な視野と感覚を持った人材を育成するとともに、情報社会で求められているあらゆる分野において利用されるシステムの開発にかかわるソフトウェア技術者、および情報技術に関する知識とスキルを応用して問題解決を図り、社会に貢献できる人材を育成します。学生が身につけるべき能力①～⑥に対応させた育成すべき人材像を示します。

①生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力

- ・学ぶ意義を理解できる人材。
- ・目的意識を持ち、主体的に考え、新しい知識や技術を学ぶことができる人材。

②IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識

- ・情報システムの設計・構築・運用に関わる幅広い知識と技術を有し、システムエンジニアとして活躍できる人材。
- ・ネットワーク、セキュリティ、データベースなどの技術に詳しく、さまざまな分野で活躍できる人材。
- ・人工知能、機械学習に関する知識と技術を身につけ、データサイエンティストとして活躍できる人材。
- ・宇宙情報と情報通信技術の知識と技術を身につけ、社会のさまざまな分野で活躍できる人材。
- ・情報技術と経営の専門知識を活用して、経営やマネジメントの分野で活躍できる人材。
- ・情報や数学において教員として従事できる人材。

③国際感覚やモラルなど豊かな人間性

- ・異文化を理解し、国際感覚に優れた人材。

④コミュニケーションとプレゼンテーション能力

- ・市民としての倫理観と自覚を持ち、社会に貢献できる人材。
- ・事実・データ・知見・意見を論理的かつ相手に理解させる形でまとめたり発表したりすることができる人材。
- ・チームの目的達成のために様々な人々と協働することができるコミュニケーション力のある人材。

⑤自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力

- ・システムエンジニア、AI、ネットワークセキュリティ、宇宙情報の知識や技術を生かし、課題を発見して解決できる人材。

⑥知識のみではなく生きるための知恵

- ・物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考を備えた人材。
- ・情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材。

2. 学位授与の方針

所定の単位を修得したこと、すなわち、育成すべき人材像に対応して定めたコンピテンシーを身につけ、育成すべき人材になっていると認めた学生に「学士（経営情報学）」を授与します。

医療情報学部 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

情報化社会の中で正確に情報を見極める基礎能力を養い、国際的な視野と見識をもった人材を涵養するとともに、専門性の高い医学・医療情報の知識、実践的な高度情報処理や生命維持管理に関する技術を修得し、社会においても活躍できる人材に学位を授与します。

医療情報学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 育成すべき人材像

情報社会で価値ある情報を見極める能力を高め、国際的な視野と感覚を持った人材を育成するとともに、幅広い教養、専門性の高い医学・診療情報、高度医療情報処理、食と健康と情報、生命維持管理に関する知識および技術を修得し、国際社会においても活躍できる人材を育成します。学生が身につけるべき能力①～⑥に対応させた育成すべき人材像を示します。

①生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力

- ・学ぶ意義を理解できる人材。
- ・生涯にわたり最新の医学・診療情報、医療情報技術、食と健康と情報、生命維持管理を学び社会に還元できる人材。

②IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識

- ・専門的医学知識や医療情報システムを基盤として情報処理技術を活用して、診療情報や医療情報管理・運営ができる人材。
- ・食と健康に関する専門的知識、健康情報を管理・分析ができヘルスリテラシー向上を推進できる人材。
- ・専門的医学知識、高度かつ多様化する医療機器に対応できる基礎的知識を修得し、指導的立場となる臨床工学技術を駆使できる人材。

③国際感覚やモラルなど豊かな人間性

- ・人間についての幅広い専門知識を用いて、対象者が持つ背景や価値観の多様性を理解し、医療人としての自覚を持ち、チームの一員として行動ができる人材。
- ・異文化を理解し、国際感覚に優れた人材。

④コミュニケーションとプレゼンテーション能力

- ・市民としての倫理観と自覚を持ち、社会に貢献できる人材。
- ・円滑なコミュニケーションをとることができ、他職種との連携・協働を行うことができる人材。

⑤自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力

- ・幅広い医療や健康分野に直面する問題を見出し、解決するために実践的知識および医療や健康情報資源を活用し、主体的に問題を解決することができる人材。

⑥知識のみではなく生きるための知恵

- ・医療人として人命の尊厳と人格を尊重し、自己洞察ができる人材。
- ・物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考を備えた人材。
- ・医療情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材。

2. 学位授与の方針

所定の単位を修得したこと、すなわち、育成すべき人材像に対応して定めたコンピテンシーを身につけ、育成すべき人材になっていると認めた学生に「学士（医療情報学）」を授与します。

情報メディア学部 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

幅広い教養や豊かな感受性，モラルやコミュニケーション能力を備え，情報メディアに関する高度な情報技術と専門知識を基盤に，主体性をもって，情報社会の発展に貢献できるデジタルコンテンツのクリエイターやICT（情報通信技術）のエンジニアとしてのコンピテンシーを身につけた学生に学位を授与します。

情報メディア学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 育成すべき人材像

情報社会で価値ある情報を見極める能力を高め，国際的な視野と感覚を持った人材を育成するとともに，映像，アニメ，3DCG，グラフィック，感性，ウェブ，ネットワークなど，新しい時代の中核となる技術をもとに，デザインとテクノロジーを融合したビジネスやデジタルコンテンツを創造し得る人材を育成します。学生が身につけるべき能力①～⑥に対応させた育成すべき人材像を示します。

①生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力

- ・学ぶ意義を理解できる人材。
- ・自らの目標を持ち，生涯にわたりその実現のために行動できる人材。

②IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識

- ・ICT（情報通信技術）を積極的に活用し，デジタルコンテンツを制作できる人材。
- ・ひとつの専門技術を持ち，多くの周辺技術を理解できる人材。
- ・映像，動画像，音声などのデジタルコンテンツを処理できる人材。
- ・IoT（モノのインターネット）やゲームプログラムの開発に従事できる人材。
- ・ウェブアプリケーションやモバイルシステムを開発できる人材。
- ・ネットワークの構築，運営，管理，セキュリティに代表されるインターネット基盤技術を修得した人材。

③国際感覚やモラルなど豊かな人間性

- ・異文化を理解し，国際感覚に優れた人材。
- ・社会，文化，倫理的な側面を理解し，行動できる人材。

④コミュニケーションとプレゼンテーション能力

- ・市民としての倫理観と自覚を持ち，社会に貢献できる人材。
- ・高度なコミュニケーション能力を備え，チームワークを得意とする人材。

⑤自ら問題を見つけ出し，その解決のために情報技術を活用し，自身で工夫できる問題発見・解決能力

- ・ビジネス，デジタルコンテンツ等の発想力，企画力，計画力，実行力，評価力を備える人材。

⑥知識のみではなく生きるための知恵

- ・物事を幅広い視野からとらえ，論理的思考を備えた人材。
- ・情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材。

2. 学位授与の方針

所定の単位を修得したこと，すなわち，育成すべき人材像に対応して定めたコンピテンシーを身につけ，育成すべき人材になっていると認めた学生に「学士（情報メディア学）」を授与します。

北海道情報大学における教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

本学の教育目標と学位授与の方針を実現するために、「情報化社会の新しい大学と学問の創造」という建学の理念に基づき、全ての学部学科にコースあるいは専攻を設け、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）にコース（専攻）ごとの「育成すべき人材像とコンピテンシー」を設定し、それを踏まえた「コンピテンシーに基づく教育課程編成」を行います。すなわち、育成すべき人材像に必要なコンピテンシーを各科目と関連付けることで、教育目標の達成に向けた履修科目を体系化し、教育課程を編成します。この体系化によって、学習成果として「何ができるようになったのか」を、個々の学生がコンピテンシー達成度として把握できます。なお、初年次教育、教養教育、キャリア教育は全学共通で実施します。

経営情報学部 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

企業等の組織が抱える課題を把握・分析する上で必要な情報を的確に収集・処理し、いかに解決に結びつけるかを追究する、比較的新しい学際的な分野である経営情報学の真髄を修得するために、教養教育科目と、専門科目としての経営学系科目及び情報学系科目によってカリキュラムを編成し、専門科目の多くを先端経営とシステム情報の両学科共通に履修可能な科目として配置します。また、両学科ともに少人数のゼミナール・プロジェクト形式の科目を少なからず配置し、コミュニケーション力を伸ばすこと、並びに個性と能力に応じてスキルアップと研究活動に取り組むことを支援する教育を行います。

経営情報学部 先端経営学科 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 教育課程の編成及び特色

育成すべき人材像に対応したコンピテンシーを設定し、コンピテンシーに関連付けた科目を体系的に編成し、適切な教育方法で授業を実施します。科目間の関連は、その内容や難易度にもとづきナンバリングして表現します。

経営にかかわる科目を体系的に学ぶために、ナンバリングを通して科目の履修順序などを表現し、ビジネスデザインコースと地域ビジネスコースに編成されたカリキュラムの構造を分かりやすく明示します。学生は、自分の関心に応じて、2年次のスタートアッププログラム（履修指導）においてコースを選択します。

2. 教育内容

(1) 共通教育

本学の教育目的にある「生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力を育成」という視野のもと、共通教育が定める人材像の育成を実現するために、「基礎教育科目」と「人間教育科目」から構成されるカリキュラムを定め、以下に示す科目をバランスよく学ぶことにより、本学の特色ある教養教育の目的を達成します。

①「基礎教育科目」

・「人間教育科目」および専門科目を学ぶ上で基礎となる日本語力、論理的思考力、数的処理力、プレゼンテーション力、およびコミュニケーション力を育成します。

②「人間教育科目」

・「情報とクリティカルシンキング」を中核的な科目群とし、その基盤となる「人間」「社会」「自然」の科目群により、価値ある情報を見極める力、物事を幅広い視野からとらえる力、および論理的思考力を育成します。

③「総合」

・この科目群により、主体的に行動する基盤となる体力を育成します。また、国際交流科目により、異文化の理解力、国際感覚を育成します。さらに、キャリア教育により市民としての倫理観を身につけ、社会に貢献しようとする態度を育成します。

(2) 専門教育

①コース共通のカリキュラム

・ビジネスデザインコースと地域ビジネスコースに共通するカリキュラムの特色として、1年次から4年次までに履修すべき必修専門科目を2つのコースの共通科目とし、自分の関心に応じて履修する選択科目をそれぞれのコースに関連する形で配置します。さらに、情報技術を活用した経営課題の解決の核心は、情報システムにあります。これを具体的な事例とともに学ぶことによって、経営課題の発見と解決を総合的に考える力を育成します。

②ビジネスデザインコースのカリキュラム

・ビジネスデザインコースは、経営学の専門教育科目を学修するにあたり、経営と情報技術の関連性に基づき、広い視野から経営課題を発見し、改善・改革を主体的に企画・推進できる能力を育成します。

③地域ビジネスコースのカリキュラム

・地域ビジネスコースは、地域ビジネスと情報技術の関連性に基づき、マーケットの動向分析、ビジネスの創造や地域の活性化を推進できる能力を育成します。

3. 教育方法

教育の方法については以下のように定めます。

①基礎教育科目

・初年次教育科目を含む「基礎教育科目」は、1年生を対象とし、20人から40人の少人数でクラスを構成します。これにより、グループワークや少人数で行うアクティブ・ラーニングを行います。また、初年次教育科目では、タイムマネジメント、倫理、心と体の健康、クリティカルシンキングへの導入なども行います。タイムマネジメントでは、ラーニングマネジメントシステム上に本学が構築した「週ごとの時間管理システム」を活用します。

②人間教育科目

・「人間教育科目」は、1年生から3年生に配置されます。多人数クラスになる科目がありますが、電子教科書やクリッカーおよび本学が開発したSNS授業ツールも活用することで、アクティブ・ラーニングによる主体的な学びの実現を目指します。

③総合科目

・「総合」の国際交流科目では、学生を海外に派遣します。一部の国際交流科目では、海外の学生との協調学習によりグローバル人材を育成します。キャリア教育では一部で学習者適応型eラーニングを取り入れます。

④主体的に学ぶ科目

・先端経営学科で学ぶ意義・心構えを確立するため、またそれぞれのコースに則したコンピテンシーを意識させる科目として1年生から少人数ゼミナールを実施します。これは、6～7人のクラスを単位として教員と対話する形で行ないます。

⑤4年間の一貫した少人数専門教育

・専門知識を活用した問題の発見・解決の方法の修得をPBL（Project Based Learning）などで図り、少人数ゼミナールを4年間実施することで学生の能力を引き出します。

⑥経営学と情報技術の基礎の徹底

・本学科に入学した学生が学習意欲を継続できるよう経営学と情報技術の基礎を早期に学習できる環境を提供します。

⑦専門性を高める実践教育

・学習者適応型eラーニングによって各自のペースで着実にデジタルビジネスの核心を修得します。ビジネスデザインコース特有の科目として、デジタル技術のビジネスへの豊富な活用事例を通して、デジタルビジネスを修得します。

・地域ビジネスコースでは地域の課題解決実践の場として江別市のほか各地の自治体や自治会、NPOや企業と連携して地域ビジネスの推進者を育成します。

⑧社会連携

3年次には実社会での就労を経験する科目や学外プロジェクトへの参加の環境を提供することをおして、社会性と実務遂行能力の修得をサポートします。

⑨教職系専門科目

教職「商業」(高校)および教職「情報」(高校)の免許を取得するために必要な専門科目をビジネスおよびITの専門家によって実践的に教育します。

4. 学修成果の評価

学修成果の評価は以下の方法で行います。

①コミュニケーション力開発等の科目

・初年次教育科目などコミュニケーション力開発等の科目では、レポート、面接等で評価します。

②実技系の科目

・実技系の科目では、実技で評価します。

③知識伝達型の科目

・知識伝達型の科目では、小テスト、定期試験、課題、レポート等で評価します。

④少人数ゼミナール科目

・少人数ゼミナールでは、主体的な問題解決能力やグループへの貢献意識、プレゼンテーションによる発表能力などを、ルーブリックなどを用いて客観的に評価します。

⑤4年間の学修成果

・4年間の学修成果は卒業研究によって評価します。この科目の単位認定条件としては、4年次に研究計画発表会、中間発表会および卒業論文発表会における発表を学生に求め、複数の教員の評価のもと、担当教員が合格を判定します。卒業時点で、GPA値の一番高い学生を成績最優秀者として選び、学位授与式において表彰します。

経営情報学部 システム情報学科 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

1. 教育課程の編成及び特色

育成すべき人材像に対応したコンピテンシーを設定し、コンピテンシーに関連付けた科目を体系的に編成し、適切な教育方法で授業を実施します。科目間の関連は、その内容や難易度にもとづきナンバリングして表現します。

情報処理技術者は、社会、企業、消費動向、人間を理解し、それぞれのニーズに合わせたソフトウェア開発やシステム設計及び的確な情報を提供できる専門性が求められています。当学科では、情報技術やICT（情報通信技術）の基礎と経営学の基礎を系統的に学び、実践的な教育を行い、プレゼンテーションやコミュニケーション能力を養うようにカリキュラムを編成します。

2. 教育内容

(1) 共通教育

本学の教育目的にある「生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力を育成」という視野のもと、共通教育が定める人材像の育成を実現するために、「基礎教育科目」と「人間教育科目」から構成されるカリキュラムを定め、以下に示す科目をバランスよく学ぶことにより、本学の特色ある教養教育の目的を達成します。

①「基礎教育科目」

・「人間教育科目」および専門科目を学ぶ上で基礎となる日本語力、論理的思考力、数的処理力、プレゼンテーション力、およびコミュニケーション力を育成します。

②「人間教育科目」

・「情報とクリティカルシンキング」を中核的な科目群とし、その基盤となる「人間」「社会」「自然」の科目群により、価値ある情報を見極める力、物事を幅広い視野からとらえる力、および論理的思考力を育成します。

③「総合」

・この科目群により、主体的に行動する基盤となる体力を育成します。また、国際交流科目により、異文化の理解力、国際感覚を育成します。さらに、キャリア教育により市民としての倫理観を身につけ、社会に貢献しようとする態度を育成します。

(2) 専門教育

IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識を身に付けるために履修モデルとしてコースを設け、基本的な知識を修得する重要性を自覚させ、演習を繰り返すことでそれらの知識の定着を図ります。そして、ゼミナールや演習系、プロジェクト系科目においては、基本的な知識をもとに、問題を発見し、解決案を提案できる能力、情報技術を使って分析を行い、結論に至る過程を論理的に説明できる能力、自分の考えをわかりやすく人に伝える表現力を育成します。

専門教育では以下に示す6つの教育プログラムを編成し、実施します。

①専門基礎科目

・2年次終了までにコンピュータサイエンスやICTおよび経営学の基礎を学習します。

②系統的学習と専門性を高めるコース制

・それぞれの専門コースは、コース推奨科目を学習することで、対応する専門性を身に付けることを狙いとしています。1・2年次で学習する基礎的な科目と3・4年次の専門科目との関係が明確になり、系統的に学習できます。

③プログラミング教育

・Java言語をベースにプログラミングの基礎を習熟度別に学び、Python言語をベースにシステムプログ

ラミングを学び、組込みシステム、ネットワーク、データベース、画像処理、CGなどの応用的なプログラミングを学びます。また、オブジェクト指向技術に基づく実践的なプログラミング能力を身に付けます。

④応用力育成に向けた科目

・知識や技術の応用力を、PBL（ProjectBasedLearning）を採用した科目及びゼミナールⅠ，Ⅱ，Ⅲ，卒業論文で養います。

⑤経営学系科目

・企業情報システムを構築するときには、ビジネス分野におけるICT活用や経営戦略を理解することが必要となります。このため、関連する経営学系科目を履修できるようにします。ビジネス分野におけるICT活用や経営戦略を学びます。

⑥教職系専門科目

教職「情報」（高校）および教職「数学」（中学、高校）の免許を取得するために必要な知識、スキルを学びます。

3. 教育方法

教育の方法については以下のように定めます。

①基礎教育科目

・初年次教育科目を含む「基礎教育科目」は、1年生を対象とし、20人から40人の少人数でクラスを構成します。これにより、グループワークや少人数で行うアクティブ・ラーニングを行います。また、初年次教育科目では、タイムマネジメント、倫理、心と体の健康、クリティカルシンキングへの導入なども行います。タイムマネジメントでは、ラーニングマネジメントシステム上に本学が構築した「週ごとの時間管理システム」を活用します。

②人間教育科目

・「人間教育科目」は、1年生から3年生に配置されます。多人数クラスになる科目がありますが、電子教科書やクリッカーおよび本学が開発したSNS授業ツールも活用することで、アクティブ・ラーニングによる主体的な学びの実現を目指します。

③総合科目

・「総合」の国際交流科目では、学生を海外に派遣します。一部の国際交流科目では、海外の学生との協同学習によりグローバル人材を育成します。キャリア教育では一部で学習者適応型eラーニングを取り入れます。

④専門科目

・専門科目の知識やスキルを確実に身に付けるために、適切に演習や実習を組み合わせ、知識の定着を図ります。また、科目の性質に応じて、個人やグループで考えさせて発表させる、学んだ知識を問う問題を考えさせるなどの教育手法を取り入れ、深く理解できるように工夫します。

⑤個人および組織における行動力の育成

・成果につながる行動特性を身に付けるために、ゼミナールⅠ，Ⅱ，Ⅲ，卒業論文などにおいて、アクティブ・ラーニングの考え方に基づき、問題発見、問題解決のためのグループ学習、PBL、プレゼンテーションを取り入れ、「自分で問題を発見し、異なる意見の人達と議論し、問題解決を図る」という主体性を育む教育を実施します。

4. 学修成果の評価

学修成果の評価は以下の方法で行います。

①コミュニケーション力開発等の科目

・初年次教育科目などコミュニケーション力開発等の科目では、レポート、面接等で評価します。

②実技系の科目

・実技系の科目では、実技で評価します。

③知識伝達型の科目

・知識伝達型の科目では、小テスト、定期試験、課題、レポート等で評価します。

④スキル養成型科目

・スキル養成型の科目では、実習課題で評価します。

⑤4年間の学修成果

・4年間の学修の集大成として位置付けている卒業論文では、最終プレゼンテーションを実施し、全員の専門教員がプレゼンテーションを聴いて評価します。

単位
制度
授

業
カリ
キ
コ
ラ
ム

履
修
登
録

成
試
験
お
よ
び
卒

業
教
職
課
程

留
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル
教
育
課
の
機
能
性

付
各
種
規
程
録

医療情報学部 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

医療情報学科には、将来、社会に出てからの方向性を考慮して、医療事務、診療情報管理、医療情報技術、食を中心とした健康科学などを主体とする医療情報専攻と、臨床工学技士養成を主体とする臨床工学専攻の2つの専攻を設定し、それぞれの専攻に設定されたコンピテンシーの達成に向けたカリキュラムを構築します。

また、教育目的の一つである自ら主体的に学ぶ力を身に付ける方策としてアクティブ・ラーニングを積極的に導入し、「医療系科目」と「情報系科目」をバランス良く取り入れたカリキュラムを構築します。

医療情報学部 医療情報学科 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

1. 教育課程の編成及び特色

医療情報専攻と臨床工学専攻では育成すべき人材像に対応したコンピテンシーを達成するために、コンピテンシーに関連付けた科目を体系的に編成し、適切な教育方法で授業を実施します。科目間の関連は、その内容や難易度にもとづきナンバリングして表現します。

2. 教育内容

(1)共通教育

本学の教育目的にある「生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力を育成」という視野のもと、共通教育が定める人材像の育成を実現するために、「基礎教育科目」、「人間教育科目」から構成されるカリキュラムを定め、以下に示す科目をバランスよく学ぶことにより、本学の特色ある教養教育の目的を達成します。

①「基礎教育科目」

・「人間教育科目」および専門科目を学ぶ上で基礎となる日本語力、論理的思考力、数的処理力、プレゼンテーション力、およびコミュニケーション力を育成します。

②「人間教育科目」

・「情報とクリティカルシンキング」を中核的な科目群とし、その基盤となる「人間」「社会」「自然」の科目群により、価値ある情報を見極める力、物事を幅広い視野からとらえる力、および論理的思考力を育成します。「総合」の科目群により、主体的に行動する基盤となる体力を育成します。また、国際交流科目により、異文化の理解力、国際感覚を育成します。さらに、キャリア教育により市民としての倫理観を身につけ、社会に貢献しようとする態度を育成します。

(2)専門教育

医療情報学科には、将来、社会に出てからの方向性を考慮して、医療事務、診療情報管理、医療情報技術、食を中心とした健康科学などを主体とする医療情報専攻と、臨床工学技士養成を主体とする臨床工学専攻の2つの専攻を設定しています。

①医療情報専攻

・コース共通のカリキュラム

医療情報専攻には診療情報管理コース、健康情報科学コースと医療情報エンジニアコースを用意していますが、入学時にはコース別クラス編成はとらず、一律の教育体制にて共通教育の実践による一般教養を修得し、その後コースごとの専門教育を実施します。

・診療情報管理コースのカリキュラム

診療情報管理コースでは、医療事務、診療情報、医学的知識をはじめとする専門カリキュラムを設け、診療情報管理を学びます。さらに病院実習による実践教育、コミュニケーション技術向上のための独自のカリキュラムに沿って、病院実務で求められる技能と知識を学びます。

・健康情報科学コースのカリキュラム

健康情報科学コースでは、食品保健科学、分子栄養学、生命情報科学などの独自の専門カリキュラムを設け、医療、食と健康、情報を横断的に学びます。さらにバイオテクノロジー実習やゼミナールによる実践教育などを通じて、健康や病気との関わりが大きい食品や栄養、遺伝子、さらにはそれらの情報の利活用について学びます。

・医療情報エンジニアコースのカリキュラム

医療情報エンジニアコースでは、プログラミング、データサイエンス、及び人工知能(AI)や機械学習等に関わる専門科目を通じて、これからのエンジニアに必要とされる基本的スキルを身につけていきます。こうした技術の応用先として最も有望と言われているのが医学・医療・健康分野であり、独自のカリキュラムに従って医学・医療・健康分野の専門知識を体系的に学びつつ、医療画像処理、IoT技術、遺伝子解析等、この分野での即戦力となる応用的スキルを、実践を通じて学んでいくことができます。

資格に関しては、いずれのコースとも同じ資格受験が可能でありコース間を超えた複数の資格取得を目指すことができます。

②臨床工学専攻

・臨床工学専攻には臨床工学技士コースが設けられており、入学時の共通教育にはじまり、国家資格取得のための専門科目を各学年に効率的に配置し、さらに独自の医療情報技術の修得、コミュニケーション能力向上を目的とした病院実習を含め、入学より卒業まで一律に学ぶことで、国家資格取得のための知識とともに総合的な判断力、コミュニケーション能力を養う教育を行います。

・臨床工学技士国家試験の受験を希望しない学生に向けた科目編成も用意しており、選択の幅を広げることと臨床工学分野のみならずネットワークシステムやコンピューターシステムなどを学び、企業への就職に対応する教育を行います。

3. 教育方法

教育の方法については以下のように定めます。

①基礎教育科目

・初年次教育科目を含む「基礎教育科目」は、1年生を対象とし、20人から40人の少人数でクラスを構成します。これにより、グループワークや少人数で行うアクティブ・ラーニングを行います。また、初年次教育科目では、タイムマネジメント、倫理、心と体の健康、クリティカルシンキングへの導入なども行います。タイムマネジメントでは、ラーニングマネジメントシステム上に本学が構築した「週ごとの時間管理システム」を活用します。

②人間教育科目

・「人間教育科目」は、1年生から3年生に配置されます。多人数クラスになる科目がありますが、電子教科書や本学が開発したSNS授業ツールも活用することで、アクティブ・ラーニングによる主体的な学びの実現を目指します。

③総合科目

・「総合」の国際交流科目では、学生を海外に派遣します。一部の国際交流科目では、海外の学生との協調学習によりグローバル人材を育成します。キャリア教育では一部で学習者適応型eラーニングを取り入れます。

④学習者適応型eラーニング

・自発的な学習能力を高めるために一部の科目において学習者適応型eラーニングシステムPOLITEを活用し、繰り返しの学習など、能動的な学びの実践を目標とします。コンピテンシーの中で主に知識を修得することにつなげます。

⑤少人数教育

・医療コミュニケーション能力, PBL(ProjectBasedLearning)を活用した問題解決能力を向上させるための専門教育を少人数において実践することで, コンピテンシーの中で主に心構えを修得することにつながります。

⑥実験および実習科目

・個別もしくは少人数によるきめ細やかな指導につながります。コンピテンシーの中で主にスキルを修得することにつながります。

4. 学修成果の評価

学修成果の評価は以下の方法で行います。

①コミュニケーション力開発等の科目

・初年次教育科目などコミュニケーション力開発等の科目では, レポート, 面接等で評価します。

②実技系の科目

・実技系の科目では, 実技で評価します。

③知識伝達型の科目

・知識伝達型の科目では, 小テスト, 定期試験, 課題, レポート等で評価します。

④実験・実習科目

・実験・実習科目については実技内容, レポートで評価します。

⑤病院実習および臨床実習

・病院実習および臨床実習ではレポート, 実習内容, 実習報告を活用し総合的に評価します。

⑥卒業研究

・4年間の学習活動に応じた学習目標(ルーブリック)と到達度および卒業研究によって評価します。4年次に卒業論文の発表を求め, 複数の教員の評価のもと, 担当教員が合格を判定します。また, GPA値の一番高い学生を成績最優秀者として選び, 学位授与式において表彰します。

情報メディア学部 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

デジタルコンテンツのクリエイターやICTのエンジニアに必要な情報技術と専門知識をコンピテンシーとして設定し、その達成に向けた科目群を提供するとともに、その内容や難易度にもとづいたナンバリングによって体系的にカリキュラムを編成します。

また、メディアデザイン専攻とメディアテクノロジー専攻の2専攻を設定しつつも、専攻にかかわらず学べる科目体系を実現することで、テクノロジーを理解できるデザイン指向の人材、デザインを理解できるテクノロジー指向の人材を育成できるようカリキュラムを編成します。

情報メディア学部 情報メディア学科 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

1. 教育課程の編成及び特色

育成すべき人材像に対応したコンピテンシーを達成するためにメディアデザイン専攻とメディアテクノロジー専攻を設定し、コンピテンシーに関連付けた科目を体系的に編成し、適切な教育方法で授業を実施します。科目間の関連は、その内容や難易度にもとづきナンバリングで表現します。

メディアデザイン専攻は、デザインとテクノロジーとの融合に着目した、新しい時代のデジタルコンテンツを企画・創造し得る人材を育成できるようにカリキュラムを設定しています。さらに学生の指向に合わせて、複数の履修モデルを設定します。

メディアテクノロジー専攻は、テクノロジーとデザインが融合した、新しいデジタルビジネスを生み出し得る高度 IT人材を育成できるようにカリキュラムを設定します。さらに学生の指向に合わせて、複数の履修モデルを設定します。

2. 教育内容

(1) 共通教育

本学の教育目的にある「生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力を育成」という視野のもと、共通教育が定める人材像の育成を実現するために、「基礎教育科目」と「人間教育科目」から構成されるカリキュラムを定め、以下に示す科目をバランスよく学ぶことにより、本学の特色ある教養教育の目的を達成します。

①「基礎教育科目」

・「人間教育科目」および専門科目を学ぶ上で基礎となる日本語力、論理的思考力、数的処理力、プレゼンテーション力、およびコミュニケーション力を育成します。

②「人間教育科目」

・「情報とクリティカルシンキング」を中核的な科目群とし、その基盤となる「人間」「社会」「自然」の科目群により、価値ある情報を見極める力、物事を幅広い視野からとらえる力、および論理的思考力を育成します。

③「総合」

・この科目群により、主体的に行動する基盤となる体力を育成します。また、国際交流科目により、異文化の理解力、国際感覚を育成します。さらに、キャリア教育により市民としての倫理観を身につけ、社会に貢献しようとする態度を育成します。

(2) 専門教育

情報メディアに関する高度な情報技術と専門知識を基盤に、情報社会の発展に貢献できる人材を育成するために、情報メディア共通基礎科目、各専攻の基礎科目と応用科目およびプロジェクト系科目を中心と

した科目群でカリキュラムを構成しています。

①情報メディア共通基礎科目

・それぞれの専攻の基礎となる知識を修得し、大学への適応を図るとともに自らの適性を見極めます。

②各専攻の基礎科目

・各専攻で必要なデザイン技術やプログラミング技術の基礎を学びます。

③各専攻の応用科目

・実社会に関連付けた情報メディアに関する高度な情報技術と専門知識を学びます。

④プロジェクト系科目

・総合的な応用力を身につけるために配置しています。

・さまざまなプロジェクト学習（PBL：Project Based Learning）を経験し、個々の知識・技術を身につけることの重要性や方法を学びます。

・チームワークやマネジメントの重要性や方法を学びます。

⑤学部横断科目

・近年重要になっているヘルスリテラシーやビッグデータ関連の科目も履修可能としており情報メディアの分野に留まらない幅広い分野の知識を習得します。

3. 教育方法

教育の方法については以下のように定めます。

(1)共通教育

①基礎教育科目

・初年次教育科目を含む「基礎教育科目」は、1年生を対象とし、20人から40人の少人数でクラスを構成します。これにより、グループワークや少人数で行うアクティブ・ラーニングを行います。また、初年次教育科目では、タイムマネジメント、倫理、心と体の健康、クリティカルシンキングへの導入なども行います。タイムマネジメントでは、ラーニングマネジメントシステム上に本学が構築した「週ごとの時間管理システム」を活用します。

②人間教育科目

・「人間教育科目」は、1年生から3年生に配置されます。多人数クラスになる科目がありますが、電子教科書やクリッカーおよび本学が開発したSNS授業ツールも活用することで、アクティブ・ラーニングによる主体的な学びの実現を目指します。

③総合科目

・「総合」の国際交流科目では、学生を海外に派遣します。一部の国際交流科目では、海外の学生との協同学習によりグローバル人材を育成します。キャリア教育では一部で学習者適応型eラーニングを取り入れます。

(2)専門教育

①専門科目

・座学、演習、eラーニングやPBLによる専門知識・専門技術を修得します。また、複数教員が担当する科目（チームティーチング）を充実し、学生と教員とのコミュニケーションをより円滑にします。

②自己理解

・カリキュラムマップやナンバリングを基に、個々の学生の履修状況を学生本人が視覚的に理解できるポートフォリオを作成します。

4. 学修成果の評価

学修成果の評価は以下の方法で行います。

- ①コミュニケーション力開発等の科目
・初年次教育科目などコミュニケーション力開発等の科目では，レポート，面接等で評価します。
- ②実技系の科目
・実技系の科目では，実技で評価します。
- ③知識伝達型の科目
・知識伝達型の科目では，小テスト，定期試験，課題，レポート等で評価します。
- ④プロジェクト系科目
・プロジェクト系の科目では問題発見，企画，プレゼンテーション，チームワーク等の能力，および成果物を評価します。
- ⑤ゼミナール等
・ゼミナール等では創造力・企画力・計画力・実行力等を総合的に評価します。

単位
制度
授

業
カリ
キュ
ラム

履
修
登
録

成試
験
お
よ
び
卒

業
教
職
課
程

留
意
の
事
他
項
の

履修部
修モ
テ
ル
教
育
課
の
機
能
課
程

付各
種
規
程
録

目 次

履修について	1
1. 単位制度	1
(1) 履修とは	1
(2) 単位について	1
(3) 単位の認定	1
(4) 修得済科目の単位認定について	1
2. 授 業	2
(1) 授業期間・授業時間	2
(2) 科目担当教員	2
(3) 出席数	2
(4) 公認欠席・特別欠席	3
(5) 休講及び振替授業	4
(6) 補 講	4
(7) 集中授業	4
(8) 授業時間割表	4
(9) クラス分け	4
(10) 授業評価アンケート	4
3. カリキュラム	5
(1) カリキュラムとは	5
(2) カリキュラム改正について	5
4. 履修登録	6
(1) 登録上の留意事項	6
(2) 履修登録の時期と流れ（変更になる場合があります。掲示等により別途指示します。）	6
(3) 科目の区分	7
(4) 履修できる科目・できない科目	7
(5) 履修登録の確認	7
(6) 履修単位数の上限値について	8
(7) 修得単位数の目標	9
5. 試験および成績	10
(1) 試験の種類	10
(2) 受験資格	11
(3) 試験に関する注意	11
(4) レポート等の提出	11
(5) 成績評価	12

単
位
制
度
授
業
カリ
キュ
ラム
履
修
登
録
成
試
験
お
よ
び
成
績
業
教
職
課
程
留
意
の
事
他
項
の
履
修
部
教
育
モ
デ
ル
課
程
付
各
種
規
程
録

6. 卒 業	13
7. 教職課程	13
8. その他の留意事項	14
(1) 修業年限・在学年限.....	14
(2) 学生への連絡と掲示.....	14
(3) 卒業見込証明書の発行.....	14
(4) 教務課窓口取り扱い時間.....	14
教 育 課 程	15
1.学部・学科の概要と履修モデル.....	17
カリキュラム編成の考え方について.....	17
経営情報学部.....	17
医療情報学部.....	18
情報メディア学部.....	19
共通教育の概要.....	20
先端経営学科.....	30
システム情報学科.....	39
医療情報学科.....	48
情報メディア学科.....	66
各 種 規 程 ・ 付 録	85
履修規程.....	87
授業科目一覧表.....	90
卒業に必要な履修科目と修得単位.....	111
ナンバリングのルール.....	114
教職課程履修要項	119

2. 授 業

(1) 授業期間・授業時間

- ① 授業期間
 本学の学期は、前期（4月1日～9月30日）と後期（10月1日～翌年3月31日）の2期に分けられています。
- ② 授業数・授業時間
 授業科目には、前期あるいは後期で終了する半期科目と1年間にわたる通年科目とに分けられ、半期科目の場合15回＋科目試験、通年科目の場合30回＋科目試験となります。
 授業1回あたりの授業時間（1講時）は90分で行い、これは通常2時間として換算されます。
 なお、授業は原則として1日6講時で構成され、各講時の区分は次のとおりです。

	1 講時	2 講時	3 講時	4 講時	5 講時	6 講時
開始時刻	9 : 00	10 : 40	12 : 55	14 : 35	16 : 15	17 : 55
終了時刻	10 : 30	12 : 10	14 : 25	16 : 05	17 : 45	19 : 25

- ③ 休業日
 ・日曜日
 ・国民の祝日に関する法律に規定する休日
 ・春期休業
 ・夏期休業
 ・冬期休業
 ・臨時の休業日および休業日変更は、そのつどこれを定めて掲示します。
 ※土曜日は休業日ではありません（窓口業務は行っていません）。
 特別な科目の集中講義や他の曜日の授業（月曜日授業実施日など）、休講となった授業の振替授業、補講などを実施します。

(2) 科目担当教員

科目担当教員には常勤教員と非常勤教員がいます。非常勤教員は、本学専属の教員ではありませんが、原則として担当科目がある日の時限は大学にいます。

科目担当教員に用事がある時は、以下の方法で問い合わせてください。

常勤教員 研究室に直接行ってください。オフィスアワー（学生からの疑問、質問、相談等を受けるために設定している時間）は、原則として研究室にいます。

非常勤教員 担当科目がある日時の前後に非常勤講師室（本部棟2階）や教室へ行って問い合わせしてください。基本的にそれ以外の方法での問い合わせには対応していませんので、早めに対応するよう心がけてください。

(3) 出席数

原則として科目試験を受験するためには、次の出席が必要となります。

・講義科目 総授業回数の2/3以上
 ・実習・演習・体育実技科目 総授業回数の4/5以上

出欠管理については、学生証・ICカードにより自動化して行っています。操作法等については、掲示でお知らせします。

(4) 公認欠席・特別欠席

公認欠席及び特別欠席の場合は、その回数分を総授業回数から除かれますので、出席数カウント時には注意してください。

公認欠席

- ① サークル等の部活動において、全道大会またはこれに準ずる行事等に本学を代表して参加する場合。顧問の承認印を要する。
- ② 本学が組織するセンターの活動の一環として、本学を代表して行事に参加する場合。各センター長の承認印を要する。
- ③ 就職活動。学生サポートセンターの承認印を要する。
- ④ 教育実習期間・介護体験期間および、教育実習校・介護等施設への訪問の場合。なお、必要な移動日も含む。教務課の承認印を要する。
- ⑤ 学外で行う授業への出席の場合。または、授業・Jゼミの一環として、学外で行われる学会・コンテスト・大会などの行事に参加する場合。当該科目の担当教員の承認印を要する。
- ⑥ ①から⑤にかかわらず、各学部教務委員会が事前に承認した行事等に参加する場合。教務課の承認印を要する。

※①②⑤⑥の理由による申請は、授業科目毎に年合計2回までとする。

●公認欠席届の受付および科目担当教員への提出期間について

○課外活動，学外授業，教育実習など

教務課への提出	欠席日の3日前まで
科目担当教員への提出	欠席日当日まで※

○就職活動

教務課への提出	欠席日から1週間以内※
科目担当教員への提出	欠席日から2週間以内※

※原則として定めます。

※公認欠席届の再発行はできませんので取扱いには十分注意してください。

特別欠席

・忌引き

父母，兄弟等の親族（2親等以内）に不幸があつて授業を欠席する場合には，特別欠席として扱うことができます。

取扱い日数	1親等・・・7日以内
	2親等・・・3日以内

・感染症に伴う出席停止

所定の感染症に罹患した学生が医師の指示で一定期間出席停止となった場合は，指示を受けた期間中の連続7日間（土日祝日含む）まで，特別欠席の対象としますので，教務課にて所定の手続きを行ってください。

※対象となる感染症の種類については，保健センターまたは教務課にお問い合わせください。

<注>それぞれ事由を説明する書類が必要になります。事前に教務課にお問い合わせください。

●特別欠席届の受付および科目担当教員への提出期間について

教務課への提出	事由発生後すみやかに
科目担当教員への提出	当該授業科目の開講期間内 ※

※原則として定めます。

※特別欠席届の再発行はできませんので取扱いには十分注意してください。

(5) 休講及び振替授業

授業科目の担当教員がやむを得ない事由により、授業を休むことがあります。このようなときは、事前に休講通知を掲示します。（大学公式ホームページと携帯電話から休講情報の検索も出来ます。）また、急に休講となったときは、掲示するとともに授業の教室へも通知します。

なお、休講通知の掲示がなく、担当教員が授業開始時刻から30分経過しても教室に来ないときは、休講となりますが、必ず教務課で授業の有無を確認してください。

授業が休講となった場合は、振替授業を行います。振替授業は、履修者が他の授業と重ならない時間帯に実施し、通常の授業時間帯で実施できない場合は、6講時や土曜日の午前中などに実施します。

(6) 補 講

授業時間数がやむを得ない事情により不足した場合は、担当教員の判断でこれを補うための補講を行います。補講は履修者が他の授業と重ならない時間帯に実施し、通常の授業時間帯で実施できない場合は、6講時や土曜日の午前中などに実施します。掲示には十分注意してください。

(7) 集中授業

授業科目の中には、あらかじめ定められた期間（夏期・冬期休業期間等）に連続して授業を行う科目がいくつかあります。これらの科目は事前に実施予定を掲示等で周知します。

(8) 授業時間割表

授業を受けるためには、その科目が開講されている学科、学年、曜日、講時、教室および担当教員等を知らなければなりません。そのため年度始めごとに授業時間割表を配布します。この授業時間割表からそれぞれの履修計画にそって、履修登録を行うことになります。

(9) クラス分け

授業時間割表には、同一の科目で複数の授業を開講している科目があります。このような科目は、クラス別に編成している場合がありますので、授業時間割表に従って必ず指定されたクラスの曜日、講時で受講してください。

(10) 授業評価アンケート

授業をより良くするために「授業評価アンケート」を実施し、結果を公開しています。授業内容の向上につなげるため、率直な意見を記載してください。

3. カリキュラム

(1) カリキュラムとは

カリキュラムとは、教育目標の達成のために、編成された教育内容の計画のことです。

カリキュラムは入学年次のものが卒業まで適用されるため、時間割には学年に応じて複数のカリキュラムが存在します。

2023年度に新1年生となる学生には、次のカリキュラムが適用されます。

	入 学 年 度	カリキュラム
医療情報学部以外	2023年度～	カリキュラム（'22）
医療情報学部		カリキュラム（'23）

(2) カリキュラム改正について

カリキュラム改正が行われると、科目の配当年次に応じて、新カリキュラムへ切り替わります。所属する学年より下の配当年次の科目を履修する場合は、切り替わった新カリキュラムの科目を履修する事になります。新旧の対比は、カリキュラム改正が行われると配付する「科目読み替え対比表」で確認できます。また、履修には次のとおり注意が必要になります。

① 読み替えについて

カリキュラム改正により、切り替わった新カリキュラムの科目を履修する場合、科目の読み替えが行われます。単位修得した新カリキュラムの科目を入学年度に応じたカリキュラムへ読み替えて成績が付与されます。

② 科目の廃止について

カリキュラム改正により廃止になる科目があります。

これらの科目は、新カリキュラムへ切り替わると履修できなくなります。

- ・読み替え対応する科目なし
- ・単位数減少により読み替え不可
- ・科目結合の片方の科目を修得済み

4. 履修登録

履修登録とは、授業を受けて単位を修得するために、年度の始めにその年度に履修しようとする授業科目を決められた期間にあらかじめ登録する手続きのことです。年度の始めに行われるガイダンスおよび履修説明会には必ず出席し、それぞれの説明をよく聞いて、履修登録を行ってください。

(1) 登録上の留意事項

- ・当該年度に履修する科目は、すべて年度始めに登録してください。
ただし、集中授業については、掲示等により別途指示します。
- ・指定された期日までに履修登録を行わなかった場合は、当該年度の履修をすべて放棄したものとみなし、単位は認定されません。
- ・間違った履修登録をした場合には、当該科目について、授業を受けることも、試験を受けることもできないため、単位は認定されません。

(2) 履修登録の時期と流れ（変更になる場合があります。掲示等により別途指示します。）

前期

- ① **履修登録仮登録（1回目）（教務情報Webシステムからの登録）※当該年度履修科目をすべて登録**

前期スタートアップ期間（4月）

履修登録（1回目）
履修登録（1回目）結果確認期間、エラー呼び出し
履修登録（1回目）終了

- ② **履修変更登録仮登録（2回目）（教務情報Webシステムからの登録）**

各曜日の授業1回目以降 3日間

履修変更登録（2回目）
履修変更登録（2回目）結果確認期間、エラー呼び出し
履修変更登録（2回目）終了

- ③ **履修取消削除（教務情報Webシステムからの登録）**

各曜日の授業4回目以降 3日間

履修取消
履修取消結果確認期間、エラー呼び出し
履修取消終了

後期

- ① **後期科目履修変更登録仮登録（1回目）（教務情報Webシステムからの登録）**

後期スタートアップ期間（9月）

後期科目履修変更登録（1回目）
後期科目履修変更登録（1回目）結果確認期間、エラー呼び出し
後期科目履修変更登録（1回目）終了

- ② **後期科目履修登録取消（教務情報Webシステムからの登録）**

後期の各曜日の授業4回目以降 3日間

後期履修取消
後期履修取消結果確認期間、エラー呼び出し
後期履修取消終了

※前期後半科目、後期後半科目の取消期間も設けます。

※各々授業科目の試験期間前までに、履修中止申請期間があります。

(3) 科目の区分

科目には次の区分があります。

区分	内 容
必修科目	単位の修得が義務づけられている科目。卒業するためには必ず単位を修得しなければならない。
選択科目	各自の意思により修得する科目。単位修得の義務はないが、卒業要件に算入される科目。各学科の卒業要件等に十分注意すること。

(4) 履修できる科目・できない科目

① 配当年次

授業科目には、配当年次があります。したがって、決められた年次に履修しなければなりません。やむを得ずその年次に履修することができなかった場合は、自分の年次より下の年次で開講している科目に限り履修することができます。(自分の年次より上の年次で開講している科目は履修することはできません。)

② 再履修

不合格となった科目は、次年度以降に再び履修（再履修）することができます。

(一部後期に再履修できる科目があります。)

科目によっては、再履修者のためのクラスを設けていることがあります。この場合は、そのクラスで履修しなければなりません。

③ 履修制限

科目によっては、施設・設備等の関係により履修者を制限することがあります。履修登録時には、必ず講義概要（シラバス）やその科目の担当教員、または教務課の指示に従ってください。

また、教職課程関連科目（教職に関する科目、教科に関する科目の一部）については、教職課程受講登録者に限り履修できる科目となっています。したがって、教職課程受講登録者ではない学生が誤ってその科目を履修登録した場合は、教務課でその科目について履修を強制的に削除します。

(5) 履修登録の確認

履修登録が行われた後、教務課では登録内容に誤りがないかチェックします。履修登録の確認については、後日掲示でお知らせします。この確認をしっかりと行わないと、異なる科目で登録されたり、不備等により科目を削除されその科目の履修ができないなど、1年間の履修計画が崩れ、卒業ができないなどの重大な問題になることがあります。

なお、履修登録の内容が登録したものと違う場合、履修する科目を変更する場合、履修登録に不備があった場合には、修正期間を設けますので掲示により日時等を確認して修正を行ってください。また、履修取り消しの期間も設けます。

履修登録の不備となる内容には、次の事項があります。

- ・ 同一時限の二重登録
- ・ 同一科目の二重登録
- ・ 通年科目の半期のみの登録
- ・ 履修対象科目以外の登録
- ・ 自分の年次より上の年次で開講している科目の登録
- ・ 既修得科目の登録

※ 集中授業科目については、別途、履修登録期間を設けますので、授業時間割表および掲示で確認してください。集中授業科目の履修登録は、修正期間を設けませんので、登録の際は十分注意してください。

(6) 履修単位数の上限値について

1年間の履修登録については、無計画な履修による過重負担を避けるため、以下のとおり履修単位数の制限を行います。

【2019年度入学生～】

前年度 累積GPA	1年	2年	3年	4年	計
3.5以上	44	48	48	48	188
2.6以上		46	46	46	182
2.6未満		44	44	44	176

〈上限に含めない科目〉

【2023年度入学生～】

・全学科
「教職課程における科目等卒業案件外科目」,「健康とスポーツ」,「夏期・冬期集中授業で設定される科目」, 「本学と協定を結んだ他の大学等で履修する科目」,「本学通信教育課程で履修する科目」

(7) 修得単位数の目標

4年間で卒業する為に、以下のとおり単位修得を目標にしてください。

先端経営学科，システム情報学科
医療情報学科 医療情報専攻
情報メディア学科

学年	1年生	2年生	3年生	4年生
目標	40単位	40単位	40単位	卒業に必要な 残り単位数 + α

医療情報学科 臨床工学専攻

学年	1年生	2年生	3年生	4年生
目標	43*単位	40*単位	32単位	卒業に必要な 残り単位数 + α

※3年生の後期後半は臨床実習のみの科目履修しかできませんので、必ず目標単位数を修得してください。

修得単位が少ないと、次のような支障が出る場合があります。

- ・希望するゼミに入れない
- ・卒業論文，卒業研究の作成時間の確保ができなくなる。
- ・目標の資格の受験資格が得られない（例：臨床工学士）
- ・就職活動が制限される
- ・4年の4月に卒業見込み証明書が発行されない
- ・奨学金が停止される可能性がある
- ・4年間で卒業できない

5. 試験および成績

履修登録した科目の単位認定を受けるためには、原則として試験を受けて合格しなければなりません。単位の認定を受けなければ、進級や卒業ができないこととなりますので、良く読んで理解しておくようにしてください。

(1) 試験の種類

試験には、**試験・追試験・再試験**があり、次のとおりです。

① 試験

・科目の評価を行うための試験は、授業の中で実施します。

試験の実施方法には、通常の筆記試験のほか、レポート試験、複数の小テスト、口頭試問、実習課題の提出など様々な方法があります。

必ず科目教員の指示に従ってください。

② 追試験

・追試験は、事故・病気・その他やむを得ない事由で科目試験を欠席した場合に行います。

・追試験を願い出るときは、定められた期間に以下の表に記載してある証明書等を添えて教務課へ申し出てください。

・追試験は、次の場合に限り願い出ることができます。

病気	1. 医師の「診断書（加療期間明記）」（写し可） 2. 本人氏名・発行日・服用期間が明記されている、薬剤情報提供書（写し可） 3. その他、本人氏名・発行日・加療期間が判断可能な医療機関が発行の書類（写し可） 4. 保健センターの指示で登校禁止とされた期間が確認できる場合（事前に保健センターの指示が必要） 1・2・3・4のいずれかの場合に限りです。近親者等の証明などは認められません。 ただし、発行日・加療期間・服用期間等判断できない場合は、判断可能な期間についてのみ認められます。
交通事故	関係公共機関の発行する「事故証明書」。
公共交通機関の不通および遅延	当該公共交通機関の発行する「不通証明書」または「遅延証明書」。
就職試験	試験日時・会場等が記載された「受験票」またはその写し。または受験した企業の発行する「受験証明書」。
その他やむを得ない事由	その事由を証明するもので、あらかじめ教務課に連絡したときに指示される「証明書」。

※ 自家用車利用者が交通渋滞等の事由により、試験を欠席した場合は、認められませんので注意してください。

また、追試験の追試験は行いません。

③ 再試験

・再試験は、科目試験の結果、不合格となった者に対して再び行う試験であり、1回に限り行うことができます。

・再試験を行う科目とその対象者は、事前に発表します。

・再試験を願い出るときは、定められた期間（掲示により発表）に『再試験受験願』を教務課に提出してください。

・再試験の手続きには、1科目につき1,000円の手数料が必要です。

・手続き完了時には、再試験受験票を交付します。この受験票の再発行はできませんので取扱いには十分

注意してください。再試験をレポートで行う場合には、表紙に受験票のコピーを添付してください。

- ・再試験受験票がない場合は、原則として再試験を受験できません。
- ・再試験に合格した場合の成績評価は、すべて「可（60点）」です。

※ 再試験の追試験および再試験は行いません。

(2) 受験資格

次のいずれかに該当する者は、受験資格がありません。

- ・履修登録をしていない科目
- ・受験無資格となった科目
- ・学生証を所持していない者
- ・追試験および再試験で受験票の交付を受けていない試験科目

※ 学生証を紛失した場合は、学生サポートセンター事務室で学生証の再発行を申請してください。この発行には1日（土・日・祝を除く）かかりますので十分注意してください。

なお、学生証を忘れた者は、**年間2回**までに限り、学生証に代えることができる「**仮受験票**」の発行を教務課で受けることができます。仮受験票は、発行日のみ有効です。

(3) 試験に関する注意

- ・平常の授業において欠席の多い者には、試験の受験を認めないことがあります。
- ・受験にあたっては、監督者の指示に従わなければなりません。
- ・遅刻者の入室は、当該試験開始時刻後20分までとします。
- ・試験室からの退室は、当該試験開始時刻後30分からとします。ただし、科目によっては退室を認めないことがあります。
- ・試験開始時刻前に、特別に持ち込みを許可していないものは、かばん等に入れ椅子の下に置いてください。
- ・学生証は、受験票として扱いますので、監督者から指示される所定の位置に呈示してください。
- ・学生証を忘れたときは、教務課で仮受験票の交付を受けてください。ただし、仮受験票の交付は年間2回までです。
- ・答案は、たとえ白紙であっても、学籍番号および氏名等を明記し、必ず提出しなければなりません。
- ・答案に学科、学年、クラス、学籍番号、氏名の記入のないものは、受験が無効となることがあります。
- ・試験室では、必ず携帯電話、スマートウォッチ等の電源を切ってください。これらを時計として使用することはできません。
- ・試験中に不正行為を行った者は、ただちに受験停止のうえ当該科目の単位が不認定となり、学則により懲戒されます。
- ・再試験を受験するときは、学生証のほかに手続時に交付する受験票が必要となります。

(4) レポート等の提出

レポート等の提出による試験の場合は、指定された期間に指定されたところへ提出してください。**指定場所が教務課の場合は**、教務課前の該当するレポートボックスへ投函してください。**指定期間以外の提出は、一切受理しません。**

また、**期間内であっても窓口受付時間以外は受付できません**ので、十分注意してください。窓口取り扱い時間は、**午前9時から午後5時**までです。

(5) 成績評価

・履修科目の成績評価は、次表のとおりです。

評価	GP	点数	合否
秀	4	100～90	合 格
優	3	89～80	
良	2	79～70	
可	1	69～60	
不可	0	59～0	不合格

※休学の場合等において、不合格の場合は「未評価」とする。なお「未評価」はGP対象外とする。

成績評価指標のひとつとして、GPA（Grade Point Average）を導入しています。

GPAは、「秀」、「優」、「良」、「可」などの成績を、単位数の重みをかけて点数化したもので、一般的に学習指導、進級・卒業判定、奨学金選考、成績優秀表彰などに活用されているものです。

本学では当面、学習指導の基礎資料や成績表への記載などの限定した利用とします。（成績証明書には記載しません。）

計算方法は、次のとおりです。

【GPA 算出方法】

○成績を次の基準で点数化したものを科目の GP とする。

秀＝4，優＝3，良＝2，可＝1，不可＝0

○上記の科目のGPを使用し、GPAを算出する。卒業要件外の科目は算出しません。

学期別GPA（学期単位での算出）

$$GPA = \frac{(\text{科目の履修単位数} \times \text{科目のGP}) \text{の累計}}{\text{履修登録単位数の総和}}$$

年度別GPA（年度単位での算出）

$$GPA = \frac{(\text{科目の履修単位数} \times \text{科目のGP}) \text{の累計}}{\text{履修登録単位数の総和} - \text{再履修で合格した科目の年度内の不可の単位数}}$$

現在GPA

$$GPA = \frac{(\text{科目の履修単位数} \times \text{科目のGP}) \text{の累計}}{\text{履修登録単位数の総和} - \text{再履修で合格した科目のこれまでの不可の単位数}}$$

※成績訂正の時期により、現在GPAの算出に成績訂正が反映されない場合があります。

・履修科目の成績表は、次表のとおり各自に配布します。なお配布日時等は掲示でお知らせします。また、Webからも確認することができます。

前期終了科目	後期開講後（9月下旬～10月上旬）
通年科目・後期終了科目	翌年度4月上旬

※ 成績評価に疑問のある場合は、直接、科目担当教員に確認してください。

6. 卒業

本学を卒業するには、本学に**4年以上在学（休学期間は除く。）**し、所定の科目を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。卒業認定は4年次終了時に行い、卒業を認めた者には、学位記を授与し、**学士の称号**を与えます。

「卒業に必要な履修科目と修得単位数」（卒業要件）は、入学年度、学部・学科により異なります。

卒業に必要な履修科目と修得単位数（卒業要件）を確認してください。

7. 教職課程

教職課程は、教育職員免許法に基づいて、高等学校の教育職員免許状を取得するために必要な単位を修得するための課程です。

教育職員免許状を取得したい学生は、教職課程履修ガイダンス（時期は掲示等により発表）に必ず出席してください。このガイダンスを欠席すると教職課程の登録および履修ができなくなりますので注意してください。

また、教育職員免許状を取得するには、卒業に必要な単位数のほかに教職課程の単位を修得しなければなりません。本学で取得できる免許状の種類および教科は次のとおりです。

学部	学科	免許状の種類	免許教科	
経営情報学部	先端経営学科	高等学校教諭一種免許状	商業	情報
	システム情報学科	中学校教諭一種免許状	数学※	
		高等学校教諭一種免許状	数学※	情報

※教科「数学」では、高等学校教諭一種免許状と中学校教諭一種免許状の同時取得が可能です。

8. その他の留意事項

(1) 修業年限・在学年限

大学に入学し、教育課程を終了するために必要な最小限の在学すべき年数が法律で定められています。これを修業年限といいます。

また、学生が大学の修業年限を超えて在学できる年数の限度を在学年限といいます。

なお、本学の**修業年限は4年**、**在学年限は休学期間を除いて8年**です。1度の休学期間は原則として1年以内で、通算して3年を超えることはできません。この休学期間を超えた場合や在学年限を超えた場合は、学則により除籍となります。

(2) 学生への連絡と掲示

大学から学生への通知や連絡は、**すべて掲示によって行います**。休講、補講、教室変更、学生呼び出し、緊急を要すること等が掲示されますので、掲示板を常に見て確かめる習慣をつけてください。

掲示板は、校舎棟1号館2階のホールにあり、掲示期間は原則1週間です。**掲示の見落としによって受ける本人の不利益等については、一切責任を負いませんので、十分注意してください。**

(3) 卒業見込証明書の発行

4学年に対する「卒業見込証明書」の発行時期について、**3学年終了時の単位数が一定の単位数を満たす者に対しては、4月より発行します。**

また、全対象者について、履修登録の結果当該年度内に、新たに**卒業に必要な履修科目と修得単位数を満たすと判定された時期（5月中旬）**より発行します。発行時期が確定しましたら掲示により発表します。

(4) 教務課窓口取り扱い時間

レポート、履修届等で教務課に提出するよう指示のあるものは、掲示により期限等を確認したうえで提出してください。

なお、**電話等による問い合わせ（行事予定、試験、休講等）や保護者、友人等からの学生の呼び出し依頼については、一切取り扱いできません。**必ず本人が掲示で確認するほか、窓口で直接問い合わせてください。

平日	午前9時～午後5時
次に記載する日は、窓口業務を行っていません。 また、臨時に休業日、取扱時間を定める場合があります。この場合は、掲示によりお知らせします。 ・土曜日 ・日曜日 ・国民の祝日に関する法律に規定する休日 ・本学創立記念日《6月10日》またはその振替日《学年暦により定めた日》 ・入学式《学年暦により定めた日》 ・夏期休業日《掲示により連絡》 ・年末年始休業日《掲示により連絡》 ・学位記授与式《学年暦により定めた日》	

教 育 課 程

1.学部・学科の概要と履修モデル

1.学部・学科の概要と履修モデル

カリキュラム編成の考え方について 経営情報学部

経営情報学とは、企業等の組織が抱える課題を把握・分析する上で必要な情報を的確に収集・処理し、いかに解決に結びつけるかを追究する比較的新しい学際的な分野です。北海道情報大学の経営情報学部は、1989年（平成元年）の本学創設以来、この学問分野について先駆的な研究・教育を推し進めてきました。

経営情報学部が目指すのは、幅広い教養、感受性、モラル、コミュニケーション能力を備えているとともに、情報処理の知識・技術を核として、専門コース（経営、システム）に関わる実践的な力を備えた人材です。専門の学問のみを学ぶことに甘んずることなく、人間として社会人として必要な素養を磨くために、4年間に渡って教養科目が用意されています。さらに、専門科目においては、現代の職業人として、単一の専門コースに止まらず、複合的に広く学ぶことが成功への道であるとの考えでカリキュラムが組まれています。

このような意味から、先端経営学科は、経営分野のみに偏らず、情報の知識技術を身につけた将来の経営管理者たる人材の育成を目標に掲げています。システム情報学科では、情報技術はもとより、経営の知識を備えた情報技術者の育成を目標に掲げています。

これらの目標を実現するために、経営情報学部のカリキュラムは以下の特徴を備えています。

- カリキュラムは、教養教育系科目と二分野の専門科目（経営学系科目、情報学系科目）によって編成しています。
- 学生の個性を生かすために、選択科目（あるいは必修選択科目）を多く配置しています。
- 専門科目では、経営学および情報学に関する科目の多くを、先端経営とシステム情報両学科共通に履修可能な科目として配置しています。
- 4年間を通して、次のような少人数のゼミナール・プロジェクト形式の科目を配置し、コミュニケーション力を伸ばすこと、個性と能力に応じてスキルアップと研究活動に取り組むことを目指しています。

先端経営学科

- | | |
|-----|--|
| 1年生 | ビギナーズセミナーⅠ・Ⅱ（前期・後期）
自己発見ゼミナール（後期） |
| 2年生 | プロジェクトゼミナールⅠ・Ⅱ（前期・後期） |
| 3年生 | ゼミナールⅠ・Ⅱ（前期・後期）
プロジェクトトライアル（冬期集中授業） |
| 4年生 | ゼミナールⅢ（前期）、卒業論文（後期） |

システム情報学科

- | | |
|-----|--|
| 1年生 | ビギナーズセミナーⅠ・Ⅱ（前期・後期） |
| 2年生 | プロジェクト基礎（後期） |
| 3年生 | ゼミナールⅠ・Ⅱ（前期・後期）
プロジェクトトライアル（冬期集中授業） |
| 4年生 | ゼミナールⅢ（前期）、卒業論文（後期） |

科目が多いため、選択に迷うことがあると思いますので、皆さんが自分の履修科目を選ぶ指針として、各学科ともコースを用意しています。スタートアッププログラムなどのガイダンスには必ず出席して、後で悔むことのないようにしてください。

単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム
履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
績
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要付
各
種
規
程
録

医療情報学部

医療情報学部は、2013年（平成25年）より設置された、北海道情報大学の中で最も新しい学部です。学部構成は、医療情報学科単学科・2専攻・4コースで、医療とその周辺に関わる多くの分野に対応しています。

医療情報学部が目指すのは、専門性の高い医学・医療や、生命維持管理装置を始めとする高度医療機器、及び健康科学・生命科学に関する深い知識を持ちつつ、実践的な高度情報処理技術やデータ解析技術を修得し、人々の健康と福祉に貢献できる人材の育成です。

上に挙げた専門的知識・技術の修得だけではなく、自律的な問題発見とそれを協力して解決に導くコミュニケーション能力、医療に携わることを志す者としての人間性・倫理観を涵養し、それらを総合的に活用できる人材を育成するための特徴的なカリキュラムが組まれています。

医療情報学科は2つの専攻から構成されます。医療事務、診療情報管理、医療情報エンジニア、健康科学などを主体とする医療情報専攻と、臨床工学技士養成を主体とする臨床工学専攻です。

医療情報専攻には診療情報管理コースと健康情報科学コース、及び医療情報エンジニアコースが用意されています。ただし、入学年次にはコース別のクラス編成をとらず、一律、医療情報学科としての教育体制にて講義・実習を行います。専門ゼミナール選択と共にいずれかのコースに属することになりますが、コースにまたがった科目選択も可能となっています。したがって、学科で薦めている各種の資格試験については、必要な科目の単位を取得さえすれば、在学中にコース間を超えた複数の資格を取得することができます。

臨床工学専攻には臨床工学技士コースが用意されます。臨床工学専攻の学生は、国家試験合格を最終目標とした独自の教育カリキュラムに沿って履修を進めていくとともに、本学ならではの高度情報処理技術系科目を選択し履修していくことになります。

上記の学修目標達成のためのカリキュラムは、以下のような特徴を持ちます：

- (a) 授業科目は、共通・教養教育科目と、専門科目によって構成されています。
- (b) 共通・教養教育科目では、外国語、人文科学、社会科学、自然科学等を学修します。
医療に携わる人間としての倫理観や広い視野を養います。

- (c) 専門科目では、医療と情報の両分野にわたり、必要十分な科目を配置しています。

それぞれの将来への希望や学びたい分野に合わせた履修モデルとして、医療情報専攻では3つのコースを設けてあります。臨床工学専攻は、1コースのみですが、全員の国家試験合格を目指した適切なカリキュラムが組まれています。

- (d) 少人数のゼミナール・演習形式の科目を配置し、問題設定、解決能力と共にコミュニケーション能力を伸ばすことを目指します。それぞれの個性や能力、志向に応じた適切なスキルアップへの道筋を示し、望む将来像へ向けた着実な歩みを支援します。

それぞれの興味関心や将来への希望に応じた、適切な科目選択を行うために、スタートアッププログラムなどのガイダンスやオリエンテーションには必ず出席し、説明を聞いてください。

情報メディア学部

情報メディア学部情報メディア学科では、進展する情報化社会の中で必要不可欠な存在となっているICT（情報通信）基盤技術分野、この基盤の上で動作する多種多様なシステムの構築、およびインターネット上で社会が共有すべきデジタルコンテンツの創造と制作に関する分野の専門的な知識と技術を学修します。幅広い分野を体系的に学べるように、メディアデザインとメディアテクノロジーの二つの専攻を設置しています。

メディアデザイン専攻では、映像、動画像、画像、音声などで表現されたデジタルコンテンツを制作するのに必要な知識、手法、技術を習得します。

メディアテクノロジー専攻では、映像、動画像、音声などのデジタルコンテンツを体系的にコンピュータに格納し、それらを必要に応じて高速に検索・加工するための知識と技術、およびこのようなコンテンツをインターネット上で共有するために必要な技術を習得します。

上記の学習目標を実現するために、情報メディア学部のカリキュラムは下記の特徴を備えています。

- (a) 授業科目には、教養科目と専門科目があります。
- (b) 各専攻のカリキュラムはそれぞれの目標を達成するために必要な科目体系で構成されています。学びたい専門コースに対応した履修モデルであるコースを設定しています。コースは、修得した科目に応じて認定されます。
- (c) 4年間を通して、少人数のゼミナール形式科目や講義を配置し、コミュニケーション力を伸ばすこと、個性と能力に応じたスキルアップと研究活動に取り組むことを目指しています。

選択科目が多いため、履修科目に迷うこともあると思います。オリエンテーションやガイダンスなどの説明会には必ず出席して説明を聞いてください。

単位制度

業
カリ
キ
ユ
ラ
ム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
績
び

卒

業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
学
部
学
科
の
概
要
程付
各
種
規
程
録

共通教育の概要

1. 共通教育で学ぶこと

共通教育では、みなさんが教養を身に着けるための教育を行います。それでは、教養とはなんでしょうか。また、北海道情報大学の教養教育は、どのようなものでしょうか。先に結論を言えば、皆さんが生きていく中で直面する様々な困難な問題を解決していく力のことを教養といいます。少し長くなりますが、説明しましょう。

みなさんは、もう選挙権をもつ社会人です。大学に進学せずに、社会に出る道もありましたが、大学に進学しました。もっと色々な知識を獲得したかったから、社会人として有利な生活を送るために専門知識や技術を学びたかったから、資格を取りたかったから、あるいは、社会に出る前に、もっと自由に過ごす自分の時間をもちたかったから、などなど、理由は様々ですね。いずれにしても、せっかく大学に入ったのだから、少しステップアップして大学教育の意味を考えてみましょう。

みなさんは、卒業後、周りから「大学卒」という目でみられます。そして、「大学卒」のみなさんは、社会を担う役割が大きいと期待されます。古代から続く歴史の流れの延長に、未来という私たちが作り上げていく世界があります。その世界に私たちが望む大事なものは、平和、豊かさ、安全ではないでしょうか。しかし、これらは、それぞれが簡単に両立するものではありません。例えば、自分の国の安全だけを考えると、平和が保てなくなることがあります。平和を優先すると、自分の国の豊かさが保てなくなるかもしれません。また、自分の国だけの豊かさを考えると、平和や安全が保てなくなることがあります。もっと身近なことでは、家庭のことだけを考えると、仕事がうまくいかず、家庭の収入が減り家族関係がうまくいかななくなることがあるかもしれません。家庭も仕事もうまくいくことは一番いいのですが、実際には難しい場合もあるでしょう。このように、社会で生きて行くということは、相反する要求にどのように折り合いをつけるかという問題に答えを求めていくことの連続なのです。平和で豊かで安全な社会をつくる日々の営みは、家庭内の問題、職場での問題、そして社会や政治にかかわる問題に、日常的に取り組んでいくことです。

みなさんは、大学で学んだという実績を持って、セミや蝶が脱皮して新しい生命を生きるように、やがて古い世代に代わって未来の世界をつくる営みに参画していくことになります。そして、そのための力を大学で養わなければなりません。それはすなわち、みなさんが将来、仕事で活躍するために必要となる基礎的な知識・技術、専門的な知識・技術はもちろんのこと、上で述べたような難問に対して、一つとは限らない答えの中から、一つの答えを自分で見つける力を身につけることなのです。

家庭内の問題、職場での問題、そして社会や政治にかかわる問題、これらは、ユルゲン・ハーバーマスというドイツの哲学者によると、それぞれ親密圏、私有圏、公共圏と呼ぶようです。これまで、みなさんが直面した問題は、おもに親密圏すなわち家庭内の問題ではなかったでしょうか。これは、ある意味で簡単です。難しいと思うかもしれませんが、簡単です。かかわってくるのは、気心が知れた家族ですし、筋道立てて説得しなくても、深い信頼に裏付けられた感情のかかわりで解決することも多いと思います。しかし、難しいのは、社会に出たときです。社会に出ると、一人の人間が、家庭、職場、政治の3つの生活圏にかかわり、それぞれの問題についての解答が、両立したり、三つとも支障なく解決したりすることはないのが普通です。しかも、職場（私有圏）や社会・政治（公共圏）の難問は、一人で答えを見つけ、それを実行に移すのが不可能なことが多いのです。つまり、みなさんは、ほかの人と話し合ったり、協力したり、説得したりする力をつけなければ、社会人として上手に生きて行くことができません。

結論を急ぎましょう。このような難問の答えを見つけるには、系統的に筋道立てて考える力や批判的に考える力、つまりクリティカルシンキングが必要です。また、ほかの人とのかかわり、一緒に難問に取り組むためには、コミュニケーション力がとても大事になります。

みなさんがかかわる問題をさらに難しくしていることがあります。それは、情報です。現代は、人類の歴史上、類を見ないほど膨大な情報を個人が手に入れたり、発信したりできる時代になっています。みなさんがかかわる3つの生活圏のすべてに、膨大な情報が押し寄せてきます。みなさんが必要とする価値のある情報は、信頼できない情報を含む膨大な情報の中に埋もれています。その中から、価値のある情報を見出すのは、容易なことではありません。

もう一つ、これまでの歴史にはなかったことがあります。グローバル化の進行です。インターネットにより、現在は紙幣・貨幣という形態から高度に抽象化されたお金が瞬時に国境を超える時代になっていま

す。また、交通手段の発達により、国境を超える人の移動もかつてないほど容易になりました。世界規模で行われるネットショッピングにより、さまざまな商品が国境を越えて売買されます。現代は、ヒト、モノ、カネが容易に国境を超える知識基盤社会に突入しているのです。みなさんが生活する場でも、海外の人たちが、日常的に活動するようになっていきます。そのようなグローバル社会で生きるには、国際的な視野と感覚も大事になってきます。

2. 共通教育の目的と目標

氾濫する情報とグローバル化の波が押し寄せている3つの生活圏（親密圏、私有圏、公共圏）でさまざまな難問を解決していく力のことを**教養**と呼びます。北海道情報大学の教養教育は、「**情報社会で価値ある情報を見極める能力を高め、国際的な視野と感覚をもった人材の育成**」を目的として、特色ある教養教育を行っています。みなさんが目指す人材像とそのために獲得してもらいたい能力（コンピテンシー）を表1にまとめました。表2に示すように、この人材像とコンピテンシーは、北海道情報大学のディプロマポリシーと関連付けられています。図1に示すように、コンピテンシーのA、Bは、クリティカルシンキングの養成、C、Dはコミュニケーション力の養成にかかわるものです。これらを目標とし、3つの生活圏の難問を解決する力を身につけ、生涯にわたって主体的に学ぶ力を培ってください。

表1 共通教育の人材像とコンピテンシー

①人材像	
(a)	物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考力を備えた人材
(b)	情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材
(c)	異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人材
(d)	市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人材
(e)	学ぶ意義を理解できる人材
②コンピテンシー	
A	学問の方法と論理的思考力を身に付け、問題解決に生かすことができる。
B	得られた情報を批判的に分析し、自己の考えを構築・表現することができる。
C	人類の歴史や文化の多様性を認め、その担い手としての自覚をもつことができる。
D	様々な意見をもつ人々とのコミュニケーションの重要性を自覚し、社会生活への展望をもつことができる。
E	クリティカルシンキング（批判的思考）により、主体的に学びを深めることができる

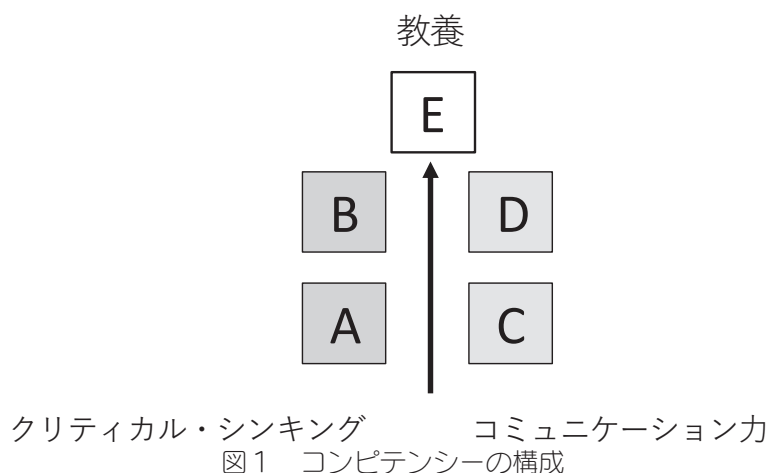


表2 共通教育の人材像とコンピテンシー

共通教育の コンピテンシー	北海道情報大学のディプロマポリシー					
	①	②	③	④	⑤	⑥
A						●
B						●
C			●			
D				●		
E	●					

北海道情報大学のディプロマポリシー

- ① 生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力
- ② IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識
- ③ 国際感覚やモラルなど豊かな人間性
- ④ コミュニケーションとプレゼンテーション能力
- ⑤ 自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力
- ⑥ 知識のみではなく生きるための知恵

上に述べたように、教養教育の主要な目的の一つは、**価値ある情報を見極める能力を高める**ことです。すなわち、各学科で行う専門科目が情報の知識・技術の修得に深く関連しているのに対して、北海道情報大学の教養教育では、情報の意味を考えることを学修の中心に据えています。そのための主要な科目群が、「情報とクリティカルシンキング」の3つの科目です。また、そのための基礎となる様々な知識や学問の方法を「人間」「自然」「社会」のいくつかの科目で学修します。

教養教育のもう一つの目的は、**国際的な視野と感覚**を身につけることです。英語をはじめとする外国語教育はもとより、「国際コラボレーション」や「海外事情」などの国際交流科目により、海外へ出かけて実践的な場で国際的な視野と感覚を身につける機会を提供しています。

3. 共通教育で学ぶ科目

共通教育で学ぶ科目について、説明しましょう。科目の構成は、上に述べた教養を養成する**人間教育科目**と、大学での学修に必要な基礎を学修する**基礎教育科目**に分けられます（図2）。基礎教育科目は、教養教育だけでなく、専門教育の基礎となる学力を養成する科目です。それぞれの科目は、上に述べたコンピテンシーに関連付けられていて、1年生から3年生までかけて学修します。それぞれの科目の間の関係や科目とコンピテンシーの関連付けは、後のページに掲載した**共通教育科目履修系統図**と**学位認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と科目との関連マップ及びコンピテンシーマップ**にまとめられています。

3-1 基礎教育科目

(1) 教養基礎

大学生として必要な日本語表現力・読解力、基礎的な英語力、数学力、調査・分析・まとめ・発表・討論の基礎などを学修します。これらは、高校の学修を大学の学修にスムーズにつなぐ初年次教育といわれるものです。

(2) 外国語

国際的な視野と感覚を養成するための基礎となる外国語として、英語、中国語、ドイツ語を学びます。

3-2 人間教育科目

(1) 情報とクリティカルシンキング

本学のカリキュラムのコアにある「情報」について、その意味を考えるとともに、知識と技能の基礎・基本を身に付ける科目です。「ヘルスリテラシー」は、日本人と情報、データリテラシー、情報リテラシー、

メディアリテラシー、高度情報社会と心身の健康の5つの分野を学ぶことで、価値ある情報をどのように見極めるかを学修します。「情報倫理」は、あふれる情報が社会に及ぼす影響とそれによるトラブルへの対策を学修します。「情報の世界」は、デジタル社会における数理・データサイエンス・AIに関する基本的素養を身に付け、さらにその知識と技能について適切に活用することを学修します。

(2) 人間・社会・自然

個としての人を理解するための「人間」、人が集まって生きるための仕組みを理解するための「社会」、そして、ヒトが生きて行くうえでどうしても考えなければならない人を取り巻く自然について理解するための「自然」、これらについて学修する科目を用意しています。これらの科目は、「情報とクリティカルシンキング」の基礎となります。これらの科目を学修することで、価値ある情報を見極める能力を高める能力を高め、物事を幅広い視野からとらえる力と論理的に考える力を獲得する基礎を学修してください。

(3) 総合

「健康とスポーツ」では、主体的に行動する基盤となる体力と、身体の動きを科学的にとらえる視点を獲得します。また、国際交流科目により、異文化を理解し、豊かな国際感覚を身につけます。さらに、キャリア教育により市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人となるための基礎を学びます。

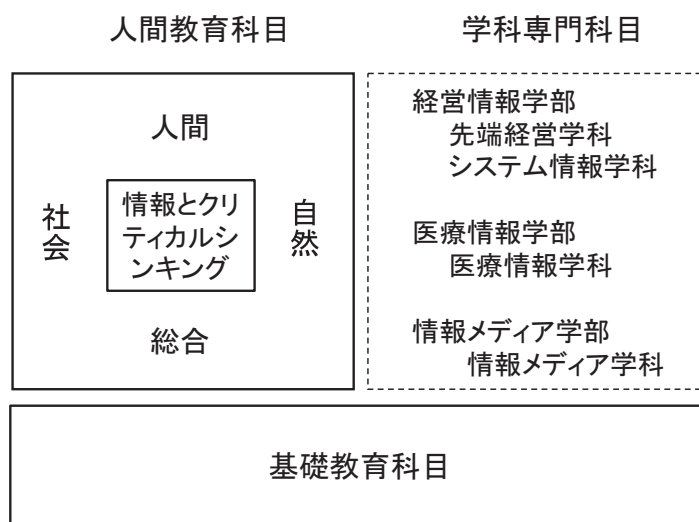


図2 共通教育科目の構成

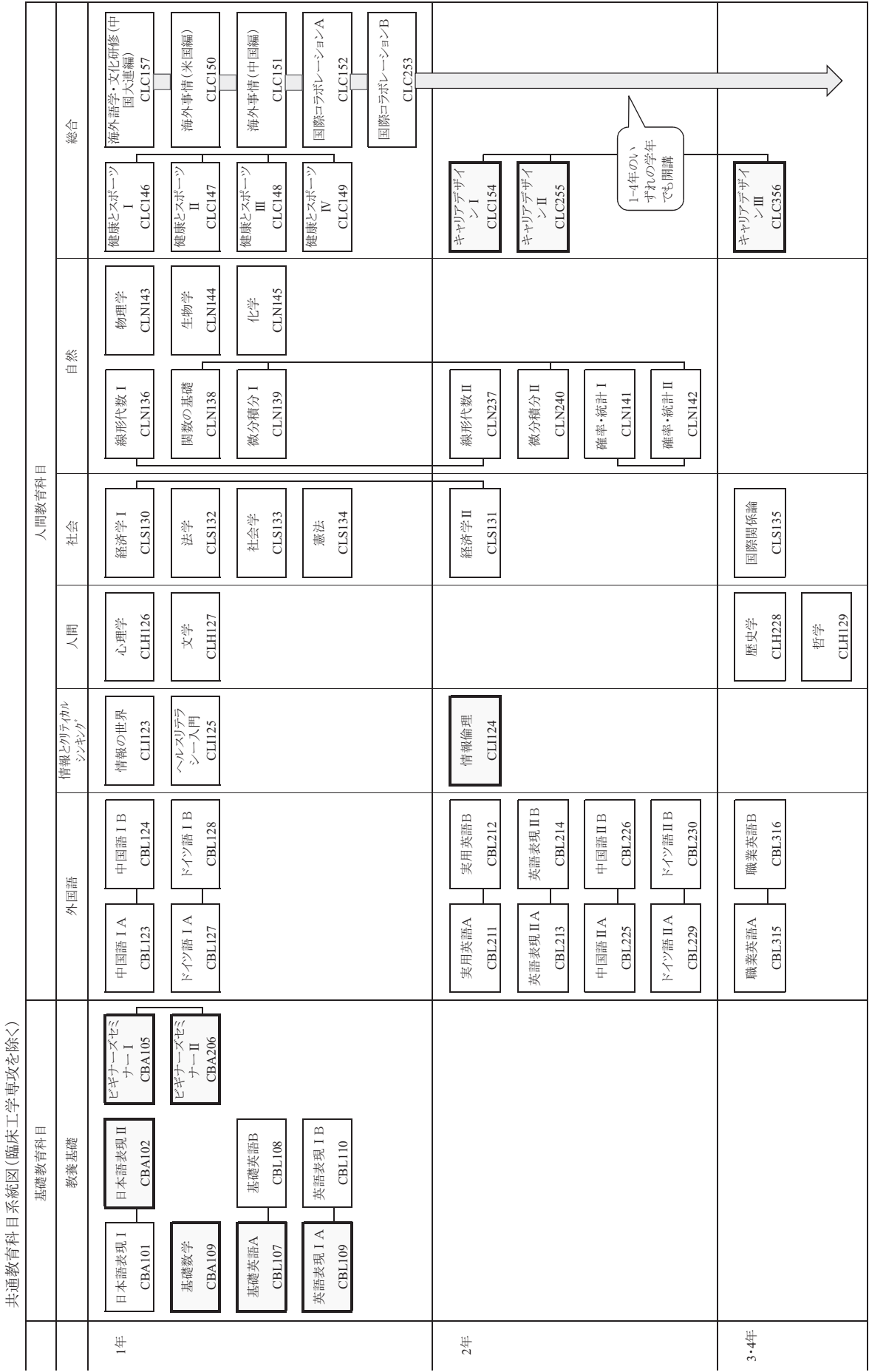
4. 専門科目の基礎および関連科目

共通教育のいくつかの科目は、各学科で専門科目を学ぶ上で基礎となる科目あるいは関連する科目として位置づけられています。これらについては、あとに掲載されている各学科の説明を参考にしてください。

5. 教職科目

共通教育の科目のいくつかは、教職課程を履修するために必要な科目（教科に関する科目）に指定されています。詳しい説明は、教職課程履修要項を参考にしてください。

共通教育科目履修系統図（臨床工学専攻を除く）



上段は科目名；下段はナンバリング

選択科目

必修科目

共通教育科目履修系統図（臨床工学専攻）

人間教育科目							総合	
基礎教育科目							自然	
基礎教育科目							社会	
基礎教育科目							人間	
基礎教育科目							情報とデジタルシキング	
基礎教育科目							外国語	
基礎教育科目							総合	
1年	基礎数学 CBA109	基礎英語A CBL107	英語表現 I A CBL109	基礎数学 CBA109	基礎英語A CBL107	英語表現 I A CBL109	健康とスポーツ I CLC146	海外語学・文化研修(中国大連編) CLC157
	基礎数学 CBA109	基礎英語A CBL107	英語表現 I A CBL109	基礎数学 CBA109	基礎英語A CBL107	英語表現 I A CBL109	健康とスポーツ II CLC147	海外事情(米国編) CLC150
	基礎数学 CBA109	基礎英語A CBL107	英語表現 I A CBL109	基礎数学 CBA109	基礎英語A CBL107	英語表現 I A CBL109	健康とスポーツ III CLC148	海外事情(中国編) CLC151
	基礎数学 CBA109	基礎英語A CBL107	英語表現 I A CBL109	基礎数学 CBA109	基礎英語A CBL107	英語表現 I A CBL109	健康とスポーツ IV CLC149	国際コラボレーションA CBL123
	基礎数学 CBA109	基礎英語A CBL107	英語表現 I A CBL109	基礎数学 CBA109	基礎英語A CBL107	英語表現 I A CBL109	健康とスポーツ CLC154	国際コラボレーションB CLC253
2年							線形代数 I CLN136	
							関数の基礎 CLN138	
							微分積分 I CLN139	
							線形代数 II CLN237	
							微分積分 II CLN240	
							確率・統計 I CLN141	
							確率・統計 II CLN142	
							経済学 II CLS131	
							経済学 I CLS130	
							法学 CLS132	
							社会学 CLS133	
							憲法 CLS134	
							心理学 CLH126	
							文学 CLH127	
							情報倫理 CLI124	
							実用英語A CBL211	
							実用英語B CBL212	
							英語表現 II A CBL213	
							英語表現 II B CBL214	
							中国語 II A CBL225	
							中国語 II B CBL226	
							ドイツ語 II A CBL229	
							ドイツ語 II B CBL230	
							職業英語A CBL315	
							職業英語B CBL316	
3・4年							歴史学 CLH228	
							哲学 CLH129	
							国際関係論 CLS135	
							キャリアデザイン I CLC154	
							キャリアデザイン II CLC255	
							キャリアデザイン III CLC356	

上段は科目名;下段はナンバリング

選択科目

必修科目

単位制度

授業カリキュラム

履修登録

成績および試験

卒業

業教職課程

留その事項の

履修モデル

付各種規程

共通教育科目履修系統図（臨床工学専攻を除く）【外国人留学生】

共通教育科目系統図（臨床工学専攻を除く）		【外国人留学生】					
	基礎教育科目		人間教育科目				総合
	教養基礎		外国語	情報とキャリア シキング	人間	社会	自然
1年	日本語表現Ⅰ CBA101	日本語表現Ⅱ CBA102	日本語Ⅰ CBL160	情報の世界 CLI123	心理学 CLH126	経済学Ⅰ CLS130	線形代数Ⅰ CLN136
	基礎数学 CBA109		日本語Ⅱ CBL161	ヘルスリテラシー入門 CLI125	文学 CLH127	法学 CLS132	関数の基礎 CLN138
	基礎英語A CBL107	基礎英語B CBL108	日本語Ⅲ CBL262			社会学 CLS133	微分積分Ⅰ CLN139
	英語表現ⅠA CBL109	英語表現ⅠB CBL110				憲法 CLS134	
2年			日本語Ⅳ CBL263	情報倫理 CLI124		経済学Ⅱ CLS131	線形代数Ⅱ CLN237
			実用英語A CBL211				微分積分Ⅱ CLN240
			実用英語B CBL212				確率・統計Ⅰ CLN141
			英語表現ⅡA CBL213				確率・統計Ⅱ CLN142
			英語表現ⅡB CBL214				
3・4年			職業英語A CBL315		歴史学 CLH228	国際関係論 CLS135	
			職業英語B CBL316		哲学 CLH129		キャリアデザインⅢ CLC356
							キャリアデザインⅠ CLC154
							キャリアデザインⅡ CLC255
							日本事情 CLC364

上段は科目名；下段はナンバリング

選択科目

必修科目

共通教育科目履修系統図（臨床工学専攻）【外国人留学生】

【外国人留学生】									
基礎教育科目					人間教育科目				
	教養基礎			外国語	情報とリテラシー	人間	社会	自然	総合
1年	日本語表現Ⅰ CBA101	日本語表現Ⅱ CBA102	ビギナーズセミナーⅠ CBA105	日本語Ⅰ CBL160	情報の世界 CLI123	心理学 CLH126	経済学Ⅰ CLS130	線形代数Ⅰ CLN136	健康とスポーツⅠ CLC146
	基礎数学 CBA109		ビギナーズセミナーⅡ CBA206	日本語Ⅱ CBL161	ヘルスリテラシー入門 CLI125	文学 CLH127	法学 CLS132	関数の基礎 CLN138	健康とスポーツⅡ CLC147
	基礎英語A CBL107	基礎英語B CBL108		日本語Ⅲ CBL262			社会学 CLS133	微分積分Ⅰ CLN139	健康とスポーツⅢ CLC148
	英語表現ⅠA CBL109	英語表現ⅠB CBL110					憲法 CLS134		健康とスポーツⅣ CLC149
2年				日本語Ⅳ CBL263	情報倫理 CLI124		経済学Ⅱ CLS131	線形代数Ⅱ CLN237	キャリアデザインⅠ CLC154
				実用英語A CBL211				微分積分Ⅱ CLN240	キャリアデザインⅡ CLC255
				英語表現ⅡA CBL213				確率・統計Ⅰ CLN141	
				英語表現ⅡB CBL214				確率・統計Ⅱ CLN142	
3・4年				職業英語A CBL315		歴史学 CLH228	国際関係論 CLS135		キャリアデザインⅢ CLC356
				職業英語B CBL316		哲学 CLH129			

上段は科目名; 下段はナンバリング

選択科目

必修科目

単位制度
授

業
カリキュラム

履
修
登
録

成
試
験
お
よ
び
卒

業
教
職
課
程

留
そ
意
の
事
他
項
の

履修モデル
学部・学科の概要

付
各
種
規
程
録

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と科目との 関連マップ及びコンピテンシーマップ

単位
制度
授

業
カリ
キュ
ラム

履
修
登
録

成
試
験
お
よ
び
績
び

卒

業
教
職
課
程

留
意
の
事
他
項
の
履
修
モ
デ
ル

付
各
種
規
程
・

授 業 科 目 の 名 称					卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー				
					①	②	③	④	⑤	⑥	A	B	C	D	E
授 業 履 修 登 録 成 績 お よ び 卒 業 教 職 課 程 留 意 の 事 他 項 の 履 修 モ デ ル 付 各 種 規 程 ・	教 養 科 目 の 概 要	基 礎 教 育 科 目	教 養 基 礎	日本語表現Ⅰ				○		○		○		○	
				日本語表現Ⅱ						○	○	○			
				基礎数学						○	○				
				基礎英語A			○	○					○	○	
				基礎英語B			○	○					○	○	
				英語表現ⅠA			○	○					○	○	
				英語表現ⅠB			○	○					○	○	
				ビギナーズセミナーⅠ	○					○	○	○			○
				ビギナーズセミナーⅡ	○			○		○		○		○	○
			外 国 語	実用英語A			○	○					○	○	
				実用英語B			○	○					○	○	
				英語表現ⅡA			○	○					○	○	
				英語表現ⅡB			○	○					○	○	
				職業英語A			○	○					○	○	
				職業英語B			○	○					○	○	
				中国語ⅠA			○	○					○	○	
				中国語ⅠB			○	○					○	○	
				中国語ⅡA			○	○					○	○	
				中国語ⅡB			○	○					○	○	
				ドイツ語ⅠA			○	○					○	○	
				ドイツ語ⅠB			○	○					○	○	
				ドイツ語ⅡA			○	○					○	○	
				ドイツ語ⅡB			○	○					○	○	
			情 報 と ク リ ティ カ ル シ ン ギ ン グ	情報の世界			○			○	○		○		
				情報倫理	○			○		○		○		○	○
				ヘルスリテラシー入門	○			○		○		○		○	○
			人 間	心理学				○		○	○			○	
				文学			○			○	○		○		
				歴史学			○			○		○	○		
				哲学						○	○				
			社 会	経済学Ⅰ						○	○	○			
				経済学Ⅱ						○	○	○			
				法学						○	○	○			
				社会学						○	○	○			
				憲法						○	○	○			
				国際関係論			○			○	○		○		
			自 然	線形代数Ⅰ						○	○				
				線形代数Ⅱ						○	○				
				関数の基礎						○	○				
				微分積分Ⅰ						○	○				
				微分積分Ⅱ						○	○				
				確率・統計Ⅰ						○	○				
				確率・統計Ⅱ						○	○				
				物理学						○	○	○			
				生物学						○	○				
				化学						○	○				
			総 合	健康とスポーツⅠ				○		○	○			○	
				健康とスポーツⅡ				○		○	○			○	
				健康とスポーツⅢ				○		○	○			○	
				健康とスポーツⅣ				○		○	○			○	
				海外語学・文化研修（中国大連編）			○	○					○	○	
				海外事情（米国編）			○	○					○	○	
				海外事情（中国編）			○	○					○	○	
				国際コラボレーションA			○	○					○	○	
				国際コラボレーションB			○	○					○	○	
				キャリアデザインⅠ	○			○		○		○		○	○
				キャリアデザインⅡ	○			○		○		○		○	○
				キャリアデザインⅢ						○	○				
			留 学 生 向 け 科 目	日本語Ⅰ			○	○					○	○	
				日本語Ⅱ			○	○					○	○	
				日本語Ⅲ				○		○		○		○	
				日本語Ⅳ				○		○		○		○	
				日本事情			○	○					○	○	

単
位
制
度

業
カ
リ
キ
ュ
ウ
ム

履
修
登
録

成
試
験
お
よ
び
績
び
卒

業
教
職
課
程

留
そ
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル

付
各
種
規
程
録

教
育
課
程
の
概
要

先端経営学科

学科の理念

先端経営学科では、現代における情報技術の重要性を理解し、それをビジネスに応用することを学びます。IoTやAI、ビッグデータなどに関する知識をもとに、新しい価値を生み出し、社会が求める新たなビジネスモデルの創造とイノベーションの実現を担える人材を育成します。

学科の概要

現代はあらゆる物事がデジタル化され、ビジネスの形態が大きく変容しています。このような時代において求められるのは、情報技術の本質と可能性を理解し、それをいかにビジネスに取り入れ、応用していくかを考える力です。

このような観点から本学科では、理論としての経営学や経済学、会計学、法学などをベースにしつつ、実際にマーケットで展開されているデジタルビジネスについて、その構築のノウハウと可能性を学びます。そのための科目として「デジタルビジネス概論」、「情報システム学概論Ⅰ・Ⅱ」、「Webビジネス論」、「デジタルマーケティング」、「BIとビッグデータ」などの情報学系科目が配置されています。

また本学科では、現代ビジネスで求められる課題解決能力やコミュニケーション能力、提案力を身につけた人材の育成にも力を入れています。1年次から4年次まで、少人数ゼミによる一貫専門教育を実施し、特に3・4年次の「ゼミナール」では、学生が主体的に学外プロジェクトへ参画できる機会を多数提供しています。これらのゼミ教育を通じて、学生は地域や企業の課題解決を目指し、さまざまな学外活動に参加して実践的な力を磨いていきます。4年間のゼミを通じた少人数一貫専門教育は、他大学においても例を見ないカリキュラムであり、学生が自ら学び、考え、行動する場を提供します。洗練されたカリキュラムで鍛えられる力は、主体的に課題を発見し、解決・提案ができる能力に結びつき、将来へつながります。

ゼミの他にも、地域が抱える問題の調査を実践する学外教育の機会や、学内コンテストである「ビジネスプレゼンテーションコンテスト」が用意されています。学生はこれらの活動に参加することを通じ、社会で求められている能力や自らの役割を自覚したうえで、積極的に学び、行動する姿勢を身につけることが期待されています。

取得を推奨する資格

本学科では以下の資格の取得を推奨しています。

- ・日商簿記検定
- ・リテールマーケティング（販売士）検定
- ・ITパスポート
- ・G検定（ジェネラリスト検定）

教育目標

- ① 経営の専門知識と情報技術を活用して、デジタルビジネスの仕組みを広く学び、企業経営の課題を発見し解決できるコンピテンシーを身につけた人材の育成
- ② 社会や産業界のニーズを考慮した先進的なカリキュラムの実施、少人数一貫専門教育の充実、学習者適応型e-Learningを活用した教育の推進、および地域の活性化やまちづくりなどにおける社会との連携
- ③ 上記の人材育成カリキュラムの効果を高めるための方法について、常にビジネスの変化とテクノロジーの進化に応じて見直し、時代の求める関連資格取得の支援を行う。

教育の方法

主体的にアクティブラーニングの効果を上げるために、4年間の一貫した少人数専門教育（ゼミナール）を配置し、次のようにデジタルビジネスの基本を修得する工夫をしています。

- ① 主体的に学ぶ科目の配置

先端経営学科で学ぶ意義・心構えを確立するため、またそれぞれのコースに則したコンピテンシーを意識させる科目として1年次に「自己発見ゼミナール（必修）」を配置しています。これは、少人数の

クラスを単位として教員と対話する形で行ないます。1年次に続き、2年次の「プロジェクトゼミナールⅠ・Ⅱ」、3年次～4年次前期の「ゼミナールⅠ～Ⅲ」及び4年次後期の「卒業論文」を通じて専門知識を活用した経営課題の発見・解決の方法の修得をPBL（Project Based Learning）などで図り、学生の能力を引き出します。

② 経営学と情報技術の基礎の徹底

コンピテンシーを達成するための基本科目として、「デジタルビジネス概論」、「経営学への招待」、「流通の仕組み」、「自己発見ゼミナール」、「ICT入門」及び「ビジネスアプリケーションⅠ」を1年次に配置し、経営学と情報技術の基礎を早期に学習できる環境を提供します。

③ 専門性を高める実践教育

コア選択科目の「情報システム学概論Ⅰ」、「情報システム学概論Ⅱ」では学習者適応型eラーニングによって各自のペースで着実に企業情報システムの核心を修得します。また、「簿記原理システム論Ⅰ・Ⅱ」、「経営戦略論」、「マーケティングリサーチ」、「デジタルマーケティング」などの科目でデジタルビジネスに求められる実践知識を修得し、ビジネスへの応用を考える力を養います。地域や企業の課題を発見し、それを解決する能力を養うために、1年次から参加可能な「地域活性化プロジェクト」を、また3・4年次には「プロジェクトトライアル」を実施します。

④ 社会連携

3年次には実社会での就労を経験する科目「インターンシップ」を提供します。また学外プロジェクトへの参加の環境を提供することを通して、社会性と実務遂行能力の修得をサポートします。

⑤ 教職系専門科目

教職「商業」（高校）および教職「情報」（高校）の免許を取得するために必要な専門科目を配置しています。

コースの概要

先端経営学科は、ビジネスデザイン専攻ビジネスデザインコースと地域ビジネス専攻地域ビジネスコースの2つの専攻・コースを設置しています。

ビジネスデザインコースの概要

現在は医療も、教育も、ビジネスが大きくIT化、デジタル化しています。

今後さらに生活、医療、教育、ゲーム、スポーツ観戦を始めあらゆる産業がデジタル化します。

そこで人工知能など新しいテクノロジーを活用して新たなビジネスを創り出し、業界をリードできる能力の取得と実践経験の場を提供します。全ての企業が必要とし、広く社会が求める魅力ある人材を育成するコースです。

地域ビジネスコースの概要

北海道を訪れる海外の観光客は年々増え続けています。また、地元企業を中心に豊かな「食」を生かした商品開発が活発に行われており、北海道は大きな可能性に満ちているといえます。

その一方、少子高齢化が進み、地域の過疎化が進行するなど、解決すべき問題もたくさんあります。

地域の可能性を引き出すと同時に、地域課題を解決できるような新しいビジネスを生み出し、地域の活性化につなげることを学ぶコースです。

コース別カリキュラムポイント

① ビジネスデザインコースのカリキュラムポイント

ビジネスデザインコースは、経営学の専門教育科目を学修するにあたり、経営と情報技術の関連性からコンピテンシーを達成する科目として、1年次に地域ビジネスコースと共通する必修科目の他、2年次に「経営管理論」を、3年次・4年次には「プロジェクトマネジメント」、「SCM」を推奨するコア選択科目として配置し、広い視野から経営課題を発見し、改善・改革を主体的に企画・推進できる人材を育成します。

② 地域ビジネスコースのカリキュラムポイント

地域ビジネスコースは、地域ビジネスと情報技術の関連性からコンピテンシーを達成する科目として、1年次にビジネスデザインコースと共通する必修科目の他、「ビジネスプラン」を、2年次に「ベンチャービジネス論」、3年次・4年次には「地域連携論」を推奨するコア選択科目として配置し、マーケットの動向分析、ビジネスの創造や地域の活性化を推進できる人材を育成します。

単位
制
度
授業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム
履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
績
び

卒

業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要付
各
種
規
程
録

先端経営学科
人材像とコンピテンシー

先端経営学科 コース別人材像とコンピテンシー	
ビジネスデザイン専攻 ビジネスデザインコース	
①人材像	
(a)	生涯にわたり常に社会の動向を意識し、経営と情報技術との関連性からマネジメントの課題に関心を持ち主体的・持続的に学ぶ力を備えた人材
(b)	多様な意見や資料から必要な情報を収集・選択し、自分の考えを的確に表現でき、周りに感動を与え、行動を引き出せる人材
(c)	IT社会における高度な情報技術と経営の専門知識を活用して経営課題を解決し、豊かな社会の実現に寄与できる人材
②コンピテンシー	
A	情報技術の本質を理解してデジタルビジネスを生涯にわたり主体的に企画・推進できる
B	経営の専門知識と情報技術の活用方法を理解して、広い視野から豊かな社会を実現するデジタルビジネスを創造できる
C	経営の専門知識と情報技術を活かして、広い視野から経営課題を発見し、改善・改革を主体的に企画・推進できる
地域ビジネス専攻 地域ビジネスコース	
①人材像	
(a)	生涯にわたり常に社会の動向を意識し、経営と情報技術との関連性からマネジメントの課題に関心を持ち主体的・持続的に学ぶ力を備えた人材
(b)	多様な意見や資料から必要な情報を収集・選択し、自分の考えを的確に表現でき、周りに感動を与え、行動を引き出せる人材
(d)	IoTなどの情報技術を活用して自ら進んで経営課題を解決し、地域の活性化や街づくりなど幅広く社会との連携を深めてビジネスを創造できる人材
②コンピテンシー	
A	情報技術の本質を理解してデジタルビジネスを生涯にわたり主体的に企画・推進できる
B	経営の専門知識と情報技術の活用方法を理解して、広い視野から豊かな社会を実現するデジタルビジネスを創造できる
D	経営の専門知識と情報技術を活用してマーケットの動向を分析し、ビジネスの創造や地域の活性化を推進できる

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と科目との関連マップ及びコンピテンシーマップ

科 目 名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー					
	①	②	③	④	⑤	⑥	ビジネスデザインコース			地域ビジネスコース		
							A	B	C	A	B	D
経営学への招待		○			○				○			○
流通の仕組み		○			○				○			○
デジタルビジネス概論	○	○			○		○		○	○		○
自己発見ゼミナール		○			○				○			○
プロジェクトゼミナールⅠ	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
プロジェクトゼミナールⅡ	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
ゼミナールⅠ	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
ゼミナールⅡ	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
ゼミナールⅢ	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
卒業論文	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
簿記原理システム論Ⅰ		○			○				○			○
簿記原理システム論Ⅱ		○			○				○			○
経営戦略論		○			○				○			○
経営管理論		○			○				○			○
Webビジネス論	○	○			○		○		○	○		○
ベンチャービジネス論	○	○			○		○		○	○		○
知的財産権論		○			○				○			○
民法		○			○				○			○
ビジネスプラン	○	○			○		○		○	○		○
サービスマネジメント	○	○			○		○		○	○		○
マーケティング論	○	○			○		○		○	○		○
マーケティングリサーチ	○	○			○		○		○	○		○
現代の財務会計論Ⅰ		○			○				○			○
現代の財務会計論Ⅱ		○			○				○			○
情報システム学概論Ⅰ	○	○			○		○		○	○		○
情報システム学概論Ⅱ	○	○			○		○		○	○		○
インターンシップ	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
デジタルマーケティング	○	○			○		○		○	○		○
コンピュータ会計		○			○				○			○
コストマネジメント		○			○				○			○
企業倫理		○			○				○			○

単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
績

卒

業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要付
各
種
規
程
録

経営情報学部

先端経営学科（2023年度入学生～）

単位 制度 授 業 カリ キュ ラム 履 修 登 録 成 試 験 お よ び 卒 業 教 職 課 程 留 意 の 事 項 の 履 修 モ デ ル 付 各 種 規 程 録	科 目 名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー					
		①	②	③	④	⑤	⑥	ビジネスデザインコース			地域ビジネスコース		
								A	B	C	A	B	D
	商法		○			○				○			○
	流通システム論	○	○			○		○		○	○		○
	マネジメントサイエンス	○	○			○		○		○	○		○
	プロジェクトマネジメント	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	SCM	○	○			○		○		○	○		○
	地域活性化プロジェクト		○			○				○			○
	国際経営論		○			○				○			○
	地域連携論		○			○				○			○
	中小企業経営論		○			○				○			○
	職業指導		○			○				○			○
	ICT入門	○	○			○		○		○	○		○
	ビジネスアプリケーションⅠ	○	○			○		○		○	○		○
	Web技術基礎		○							○			
	コンピュータシステムⅠ		○							○			
	コンピュータシステムⅡ		○							○			
	ビジネスアプリケーションⅡ		○							○			
	情報科学基礎		○							○			
	IT戦略とマネジメントの基礎	○						○			○		
	観光情報学入門	○						○			○		
	システム開発基礎Ⅰ		○							○			
	システム開発基礎Ⅱ		○							○			
	ネットワークとセキュリティⅠ		○							○			
	Webアプリケーション開発		○							○			
	情報社会論	○						○			○		
	情報職業論	○						○			○		
	情報システム特別講義	○	○					○		○	○		
	BIとビッグデータⅠ	○	○			○		○		○	○		○
	BIとビッグデータⅡ	○	○			○		○		○	○		○
	プロジェクトトライアル	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○

先端経営学科 コース別履修推薦科目

【専門教育科目】

			授業科目の名称	授業を 行う 年次	単位数		ビジネス デザイン コース	地域 ビジネス コース
					必修	選択		
授業科目の概要	専門教育科目	経営学系科目	経営学への招待	1年	2		必修	必修
			流通の仕組み	1年	2		必修	必修
			デジタルビジネス概論	1年	2		必修	必修
			自己発見ゼミナール	1年	2		必修	必修
			プロジェクトゼミナールⅠ	2年	2		必修	必修
			プロジェクトゼミナールⅡ	2年	2		必修	必修
			ゼミナールⅠ	3年	2		必修	必修
			ゼミナールⅡ	3年	2		必修	必修
			ゼミナールⅢ	4年	2		必修	必修
			卒業論文	4年	2		必修	必修
			簿記原理システム論Ⅰ	1年		2	○	○
			簿記原理システム論Ⅱ	1年		2		
			経営戦略論	2年		2	○	○
			経営管理論	2年		2	○	
			We bビジネス論	2年		2	○	○
			ベンチャービジネス論	2年		2		○
			知的財産権論	2年		2		
			民法	2年		2		
			ビジネスプラン	1年		2		○
			サービスマネジメント	3・4年		2		
			マーケティング論	2年		2		
			マーケティングリサーチ	1年		2	○	○
			デジタルマーケティング	3・4年		2	○	○
			現代の財務会計論Ⅰ	2年		2		
			現代の財務会計論Ⅱ	2年		2		
			コンピュータ会計	2年		2		
			コストマネジメント	3・4年		2		
			企業倫理	3・4年		2		
			商法	3・4年		2		
			流通システム論	3・4年		2		
			マネジメントサイエンス	2年		2		

単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び

卒

業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要付
各
種
規
程
録

経営情報学部

先端経営学科（2023年度入学生～）

単位 制度 授 業 カリ キュ ラム 履 修 登 録 成 試 験 お よ び 卒 業 教 職 課 程 留 意 の 事 項 の 履 修 モ デ ル 付 各 種 規 程 録	授 業 科 目 の 概 要	専 門 教 育 科 目	経 営 学 系 科 目	プロジェクトマネジメント	3・4年		2	○	
				インターンシップ	3・4年		2		
				SCM	3年		2	○	
				地域活性化プロジェクト	1・2・3・4年		2		○
				国際経営論	3・4年		2		
				地域連携論	3・4年		2		○
				中小企業経営論	3・4年		2		
				情報システム学概論Ⅰ	2年		2	○	○
				情報システム学概論Ⅱ	2年		2	○	○
				職業指導	3・4年		2		
			情 報 学 系 科 目	ICT入門	1年	2		必修	必修
				ビジネスアプリケーションⅠ	1年	2		必修	必修
				Web技術基礎	1年		2		
				コンピュータシステムⅠ	1年		2		
				コンピュータシステムⅡ	2年		2		
				ビジネスアプリケーションⅡ	2年		2		
				情報科学基礎	2年		2		
				IT戦略とマネジメントの基礎	2年		2		
				観光情報学入門	2年		2		
				システム開発基礎Ⅰ	3・4年		2		
				システム開発基礎Ⅱ	3・4年		2		
				ネットワークとセキュリティⅠ	3・4年		2		
				Webアプリケーション開発	3・4年		2		
				情報システム特別講義	2年		2		
				情報社会論	1年		2		
				情報職業論	3・4年		2		
				学 部 横 断 科 目	BⅠとビッグデータⅠ	3・4年		2	○
			BⅠとビッグデータⅡ		3・4年		2		
			プロジェクトトライアル		3・4年		2		

○印は、選択したコースで推奨されているコア選択科目、無印は、関心に応じて選択すべき選択科目。

先端経営学科の卒業要件

87ページの要件を満たし124単位以上を修得する必要があります。

単
位
制
度
授

業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム

履
修
登
録

試
験
お
よ
び
成
績
評
定

業
教
職
課
程

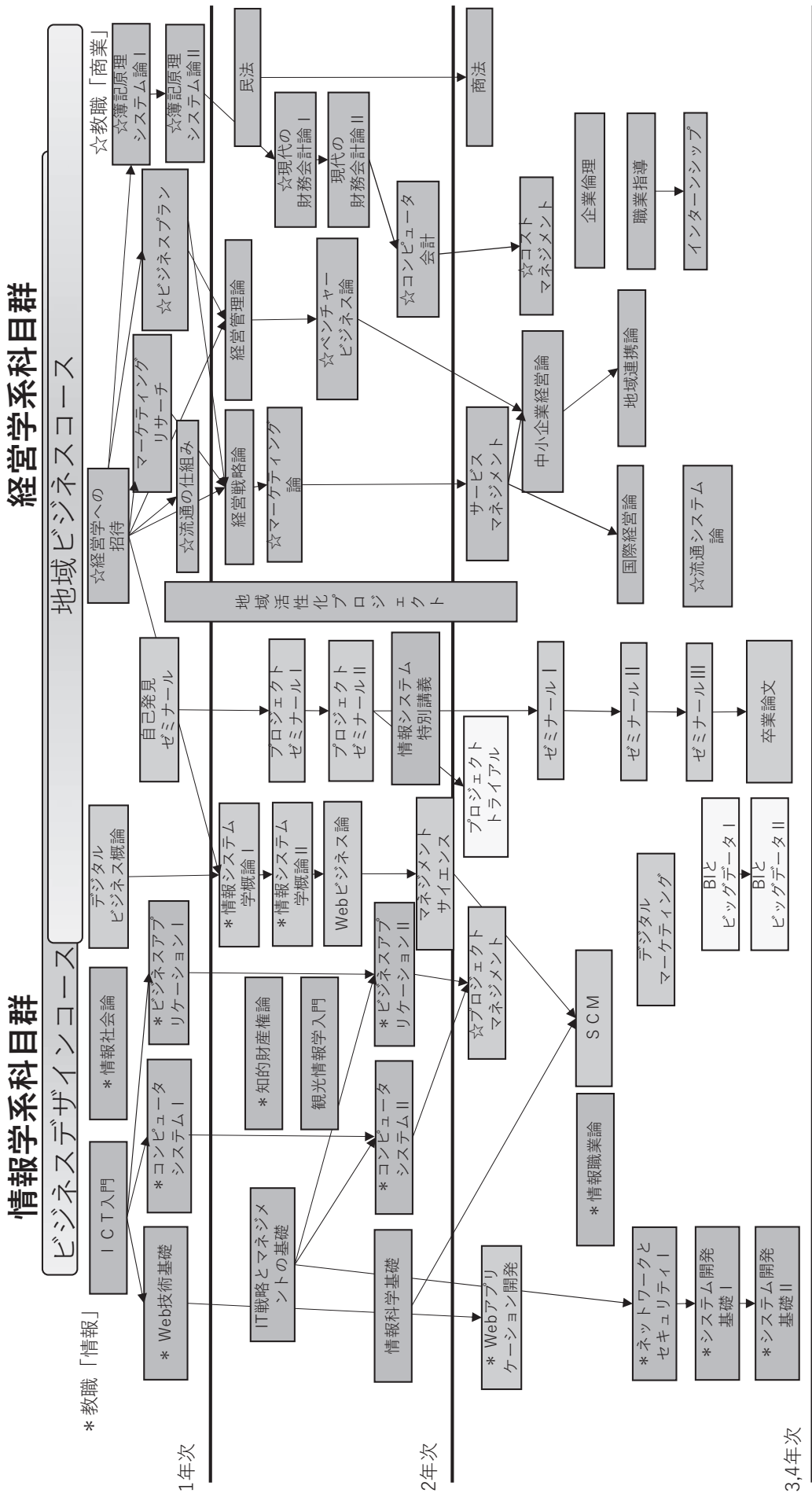
留
学
意
の
事
他
項
の

学
部
履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要

付
各
種
規
程
録

単位 制度	授	業 カリ キュ ラム	履 修 登 録	成 試 験 お よ び 績 び	卒	業 教 職 課 程	留 意 の 事 項	そ の 他 の 留 意 事 項	履 修 モ デ ル	付 各 種 規 程	録
----------	---	---------------------	------------------	--------------------------------------	---	-----------------------	-----------------------	--------------------------------------	-----------------------	-----------------------	---

先端経営学科 専門科目履修系統図



2021年度 先端経営学科 科目体系図

システム情報学科

概要

情報処理技術者は、社会、企業、消費動向、人間を理解し、それぞれのニーズに合わせたソフトウェア開発やシステム設計及び的確な情報を提供できる専門性が求められています。当学科では、情報技術やICT（情報通信技術）の基礎と経営学の基礎を系統的に学び、実践的な教育を行い、プレゼンテーションやコミュニケーション能力を養うようにカリキュラムを編成します。学ぶ方向性を示すため、目指すべき人材像と結びついた4つのコースを履修モデルとして設けています。

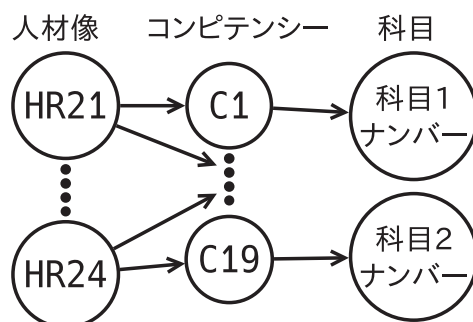
選択科目が多くなる2年次以降、履修する科目を決める際に、自分の進む方向（コース）を考えてください。なお、コースを明示的に選択する必要はなく、自由に履修する科目を選択できます。1つのコースに軸足を置いて学ぶことも、バランスよく学ぶこともできます。

- ・システムエンジニアコース：世の中を支える情報システムの設計・構築・運用に関わる幅広い知識と技術を身につけた、情報システムの専門家を育成します。
- ・ネットワーク・セキュリティコース：ITサービスに欠かせない、ネットワーク・セキュリティに関する深い知識と技術を身につけた、システム構築・見守り（監視）の専門家を育成します。
- ・AIコース：AIに詳しいAIエンジニアや、膨大なデータを分析してビジネスに生かす情報を取り出すデータサイエンティストを育成します。
- ・宇宙情報システムコース：宇宙情報と情報通信技術の知識と技術を習得し、社会のさまざまな分野で活躍できる人材を育成します。

本学科のカリキュラムには、コースに関連する知識やスキルを学ぶ科目、コミュニケーション力や課題発見能力などを身につけるための科目、および経営系の科目があります。それぞれについて紹介します。

コースに関連する科目

上記コースと関連する科目を見つける方法について具体的に説明します。まず、それぞれのコースは、システム情報学科が設定している目指すべき人材像（Human Resource image）のHR21～HR24に対応します。そして、これら人材像に必要なコンピテンシー（高い成果につながる行動特性。広義には能力やスキルを含む）があり、各科目はコンピテンシー（C1～C19）と結びついています（下図）。



この関係性があるので、コースに対応する人材像から関連するコンピテンシー、そのコンピテンシーから科目を探せば、コースと関連する科目が見つかります。コースの人材像に結びつくコンピテンシーは、

- ・システムエンジニアコースと結びつくのはC2, C3, C4, C6, およびC11, C12
- ・ネットワーク・セキュリティコースと結びつくのはC3, C4, およびC11, C12
- ・AIコースと結びつくのはC4, C5, C7, C10, およびC11, C12
- ・宇宙情報システムコースと結びつくのはC5, C8, C10, およびC11, C12

です。C11（コンピュータシステム）とC12（アルゴリズムとプログラミング）は、すべてのコースに関わるコンピテンシーとなります。人材像とコンピテンシーの一覧、科目とコンピテンシーの関連については、後のページで示します。科目とコースあるいは技術分野との関係をわかりやすく表すため、科目には「ナンバー」がつけられています（「ナンバリング」とよびます）。図1は、システム情報学科の情報系科目を履修する順番や依存関係を表した科目マップ（履修系統図）です（科目は「ナンバー」で表しています）。

図1 上部の網がけされた科目は1年次に学ぶ必修科目で、これらを「情報系基礎科目」と呼びます。図1 下部中央（共通分野）の網がけされた科目は、ゼミナールと呼ばれる必修科目で、3, 4年次に専門教員の研究室に所属して学ぶ科目になっています。これら以外が、「情報系選択科目」と呼ばれる科目です。以下、各コースの科目とコース推奨科目について紹介します。

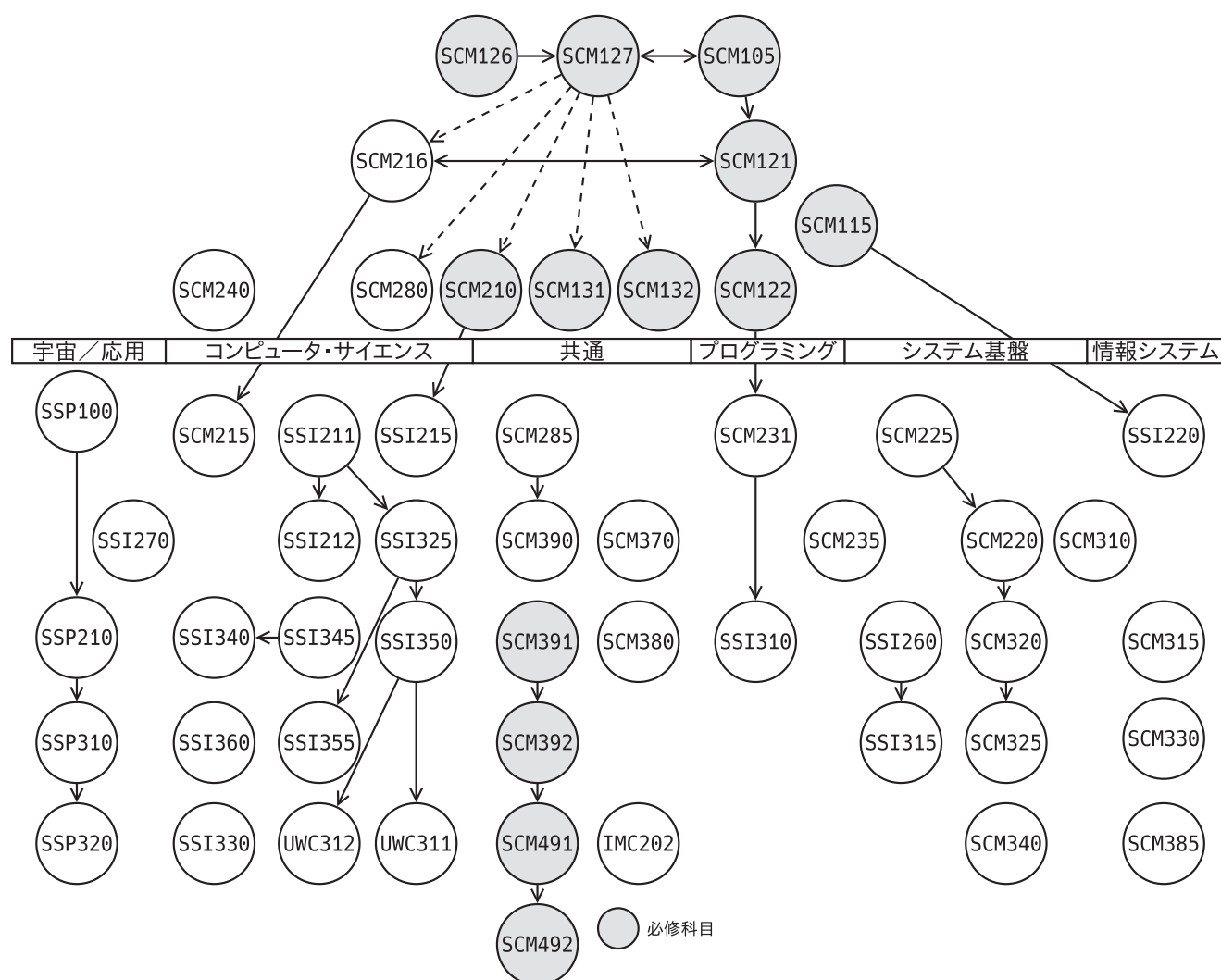


図1 システム情報学科情報系専門科目の科目マップ

宇宙情報システムコースと関連する科目

図1の「宇宙／応用」分野の中の宇宙に関する科目が関連します。

AIコースと関連する科目

図1の「コンピュータ・サイエンス」分野に属する科目が関連します。なお、どのコースも共通教育の数学科目の知識を持った上で学ぶのが望ましいですが、本コースは、より数学の知識が必要となります。

ネットワーク・セキュリティコースと関連する科目

図1の「システム基盤技術」分野に属する科目が関連します。システム基盤技術は、情報システムの構築・運用に欠かせない技術です。

システムエンジニアコースと関連する科目

まず関連するのは、図1の「情報システム」分野に属する科目です。ここにはシステム設計や設計の核となるデータモデルに関係するデータベースの科目が含まれます。また、システムを構築・運用するのに必要な「システム基盤」分野や構築するのに用いる「プログラミング」分野の技術も関わります。

コース推奨科目

コースとの関連がある科目を推奨科目として示します。履修計画を立てるときの参考としてください。また、科目に結びつくコンピテンシー（後ろのページ）やシラバス（学修目標、学修項目の説明）の情報も役に立つでしょう。

表1 コース推奨科目。表中、コースを以下の記号で表します。（S：宇宙情報システムコース）、（A：AI コース）、（N：ネットワーク・セキュリティコース）、（E：システムエンジニアコース）

ナンバー	科目名	S	A	N	E	ナンバー	科目名	S	A	N	E
SSP100	宇宙への挑戦	○				UWC311	BIとビッグデータⅠ		○		
SSP210	宇宙工学基礎	○				UWC312	BIとビッグデータⅡ		○		
SSP310	宇宙情報利用概論	○				SCM231	Javaプログラミング				○
SSP320	宇宙開発情報学	○				SSI310	モバイルシステム開発演習				○
SSI211	離散数学Ⅰ		○			SCM225	オペレーティングシステム			○	○
SSI215	情報理論		○			SCM235	システムプログラミング入門			○	○
SSI212	離散数学Ⅱ		○			SCM220	ネットワークとセキュリティⅠ			○	○
SSI325	人工知能		○			SCM320	ネットワークとセキュリティⅡ			○	○
SSI340	コンピュータグラフィックス		○			SCM325	ネットワークの構成と管理			○	○
SSI345	画像処理		○			SCM340	IoT技術総論			○	○
SSI350	データマイニング		○			SSI220	Webアプリケーション基礎				○
SSI360	数値計算		○			SCM310	データベース				○
SSI355	オペレーションズリサーチ		○			SCM315	ソフトウェア工学				○
SSI330	計算機科学論		○			SCM330	情報システムの設計				○

共通の科目

次に、特定のコースのためでなく、コミュニケーション力や課題発見能力など共通に身につけるべきコンピテンシーに関わる科目について紹介します。

情報系基礎科目と基本情報技術者試験

図1 上部の網がけされた科目は1年次に学ぶ必修科目（「情報系基礎科目」と呼びます）で、コースに関連する科目に必要な知識・スキルを学ぶための科目群です。例えば、「ICT入門」では、officeツールの使い方や情報リテラシーを学びます。「コンピュータシステムⅠ、Ⅱ」では、コンピュータシステムの基礎が学べ、選択科目の「IT戦略とマネジメント」と合わせて、基本情報技術者試験の出題範囲をカバーします。他の科目も、資格試験に関わるITスキルを身につける上で欠かせません。

ゼミナールとプロジェクト科目

「ゼミナールⅠ、Ⅱ、Ⅲ」、および「卒業論文」は、3、4年次に専門教員の研究室に所属して学ぶ科目で、「目的意識を持ち、主体的に考え、新しい知識や技術を学ぶことができる」というコンピテンシーC1や、レポートとしてまとめる力C16、課題発見力C18、課題解決力C19、などと結びついています。コースに関連する科目を縦系とすれば、横系に相当する科目群と言えます。また、「プロジェクト基礎」や「プロジェクトトライアル」というプロジェクト科目も、チームとして協働する力とコミュニケーション力C17と結びつく「横系」科目です。

教職科目

本学科には、数学（中学と高校）と情報（高校）の教職課程があります。教職に関わる科目の詳細は、本ガイドの最後の章にありますので、詳しくはそちらを見てください。図1の中で教職に必要な科目は、コンピテンシーのC13（情報）とC14（数学）、さらに目指すべき人材像の1つであるHR26（情報や数学において教員として従事できる人材）に結びついています。

単位制度
授
業
カリキュラム
履修登録
成試験および成績
卒
業
教職課程
留意の事項
履修モデル
付各種規程

経営系の科目

最後に、経営系の科目について紹介します。システム情報学科では、先端経営学科で開講されている経営科目群を学べます。これらの科目は、コンピテンシー C9（経営とマネジメント）と目指すべき人材像の1つであるHR25（情報技術と経営の専門知識活用して、経営やマネジメントの分野で活躍できる人材）と結びついています。

経営科目群のうちの8科目を「情報系選択必修科目」としています。この中から2科目（4単位）以上を修得することが卒業要件になっています。

システム情報学科 人材像とコンピテンシー

単位制度
授業
カリキュラム
履修登録
成試験および
卒業
教職課程
留そ
意の
事他
項の履修モデル
学部・学科の概要
教育課程付各種
規程
録・

人材像

システム情報学科において設定している目指すべき人材像は、大学における卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の①，②，④，⑤に対応しています。人材像をこれらの関係と共に示します。

表2 システム情報学科の人材像

①	(HR11)	目的意識を持ち、主体的に考え、新しい知識や技術を学ぶことができる人材
②	(HR21)	情報システムの設計・構築・運用に関わる幅広い知識と技術を有し、システムエンジニアとして活躍できる人材
	(HR22)	ネットワーク、セキュリティ、データベースなどの技術に詳しく、さまざまな分野で活躍できる人材
	(HR23)	人工知能、機械学習に関する知識と技術を身につけ、データサイエンティストとして活躍できる人材
	(HR24)	宇宙情報と情報通信技術の知識と技術を身につけ、社会のさまざまな分野で活躍できる人材
	(HR25)	情報技術と経営の専門知識を活用して、経営やマネジメントの分野で活躍できる人材
	(HR26)	情報や数学において教員として従事できる人材
④	(HR41)	事実・データ・知見・意見を論理的かつ相手に理解させる形でまとめたり発表したりすることができる人材
	(HR42)	チームの目的達成のために様々な人々と協働することができるコミュニケーション力のある人材
⑤	(HR51)	システムエンジニア、AI、ネットワークセキュリティ、宇宙情報の知識や技術を生かし、課題を発見して解決できる人材

コンピテンシー

システム情報学科では、C1～C19まで19のコンピテンシー（高い成果につながる行動特性。広義には能力やスキルを含む）を設けています。人材像との関係は下表のようになります。

表3 人材像とコンピテンシーの関係

	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15	C16	C17	C18	C19
HR11	○																		
HR21		○	○	○		○					○	○							
HR22			○	○							○	○							
HR23				○	○		○			○	○	○							
HR24					○			○		○	○	○							
HR25									○										
HR26													○	○					
HR41															○	○			
HR42																	○		
HR51																		○	○

コンピテンシーについて示します。

表4 システム情報学科のコンピテンシー

C1	目的意識を持ち、主体的に考え、新しい知識や技術を学ぶことができる。
C2	情報システムの設計に関わる知識と技術を持ち、システムの設計ができる。
C3	ネットワークやセキュリティについての知識と技術を持ち、関連する問題に適用できる。
C4	データベースについての知識と技術を持ち、関連する分野で活用できる。
C5	人工知能や機械学習についての知識と技術を持ち、関連する問題に適用できる。
C6	組込みシステムについての知識と技術を持ち、設計や実装ができる。
C7	データサイエンスに必要な数学（確率統計、微分積分、線形代数）と統計数理の知識と技能を持ち、関連する問題に適用できる。
C8	宇宙情報とそれを理解するための知識を持ち、関連する問題の理解に活用できる。
C9	経営やマネジメントに関する知識を持ち、関連する問題に適用できる。
C10	画像処理やコンピュータグラフィックスについての知識と技術を持ち、利用できる。
C11	コンピュータシステムについての知識を持ち、関連する問題が理解できる。
C12	アルゴリズムとプログラミングについての知識と技術を持ち、関連する問題に適用できる。
C13	教職（情報）に必要な専門知識を持ち、説明できる。
C14	教職（数学）に必要な専門知識を持ち、説明できる。
C15	文書、発表資料、表作成などのツールを、レイアウト、デザイン、表現効果、目的に合った分析、わかりやすい可視化に配慮して使いこなすことができる。
C16	事実・データ・知見・意見を論理的かつ相手に理解させる形で論文やレポートとしてまとめたり発表したりすることができる。
C17	コミュニケーションを通して、チームの目的達成のために様々な人々と協働することができる。
C18	システムエンジニア、AI、ネットワークセキュリティ、宇宙情報の知識や技術を生かし、文献・資料・データを収集して分析し、課題を発見できる。
C19	システムエンジニア、AI、ネットワークセキュリティ、宇宙情報の知識や技術を生かし、課題を解決できる。

コンピテンシー対応表（システム情報学科）

ナンバー	科 目 名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー																		
		①	②	③	④	⑤	⑥	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15	C16	C17	C18	C19
SCM105	I C T入門		○																	○	○	○	○			
SCM126	コンピュータシステムⅠ		○															○		○						
SCM127	コンピュータシステムⅡ		○															○		○						
SCM210	情報科学基礎		○											○				○			○					
SCM121	プログラミング入門		○																○	○						
SCM122	プログラミング基礎		○																○							
SCM115	Web技術基礎		○						○									○		○						
SCM131	システム開発基礎Ⅰ		○								○									○						
SCM132	システム開発基礎Ⅱ		○								○							○		○						
BBZ100	経営学への招待		○													○										
BBZ101	デジタルビジネス概論		○								○						○									
BBZ102	流通の仕組み		○														○									
BBZ103	簿記原理システム論Ⅰ		○														○									
BBZ104	簿記原理システム論Ⅱ		○														○									
BBZ210	Webビジネス論		○														○									
BBZ311	サービスマネジメント		○														○									
BBZ300	デジタルマーケティング		○														○									
SCM391	ゼミナールⅠ	○			○	○		○															○		○	○
SCM392	ゼミナールⅡ	○			○	○		○															○		○	○
SCM491	ゼミナールⅢ	○			○	○		○															○		○	○
SCM492	卒業論文	○			○	○		○															○		○	○
SSP100	宇宙への挑戦		○													○										
SCM240	幾何学入門		○												○						○					
SCM216	アルゴリズム基礎		○																○							
SSP210	宇宙工学基礎		○													○										
SSI270	観光情報学入門				○	○																	○			○
SSI260	組込みシステム基礎		○										○													
SCM215	アルゴリズムとプログラム設計		○																○							
SCM231	Javaプログラミング		○						○										○							
SSI211	離散数学Ⅰ		○												○						○					
SCM220	ネットワークとセキュリティⅠ		○							○										○						
SSI215	情報理論		○												○											
SSI220	Webアプリケーション基礎		○						○	○	○							○		○						
SCM235	システムプログラミング入門		○							○									○							
SCM225	オペレーティングシステム		○							○									○							
SCM280	IT戦略とマネジメントの基礎		○						○										○							
SCM285	プロジェクト基礎				○																		○	○		
SCM380	インターンシップ	○						○																		
SCM370	情報職業論		○														○			○						
SCM375	情報社会論		○														○									
SCM385	情報システム特別講義	○				○		○																	○	
IMC202	メディアデザイン特別講義	○				○		○																	○	
SSP320	宇宙開発情報学		○													○										
SSP310	宇宙情報利用概論		○													○										
SSI310	モバイルシステム開発演習		○																○							
SCM310	データベース		○						○		○															
SCM315	ソフトウェア工学		○						○																	
SCM320	ネットワークとセキュリティⅡ		○							○																
SCM325	ネットワークの構成と管理		○							○										○						
SCM330	情報システムの設計		○						○											○						
SSI315	組込みシステム開発		○											○												
SSI325	人工知能		○									○									○					
SSI330	計算機科学概論		○												○						○					
SSI212	離散数学Ⅱ		○												○						○					
SSI340	コンピュータグラフィックス		○														○			○						
SSI345	画像処理		○														○									
SSI350	データマイニング		○									○									○					

単位制度
授業
カリキュラム履修
登録成試験
および
成績

卒

業
教職
課程留
意の
事項履修モデル
教育課程
の概要付
各種
規程
録

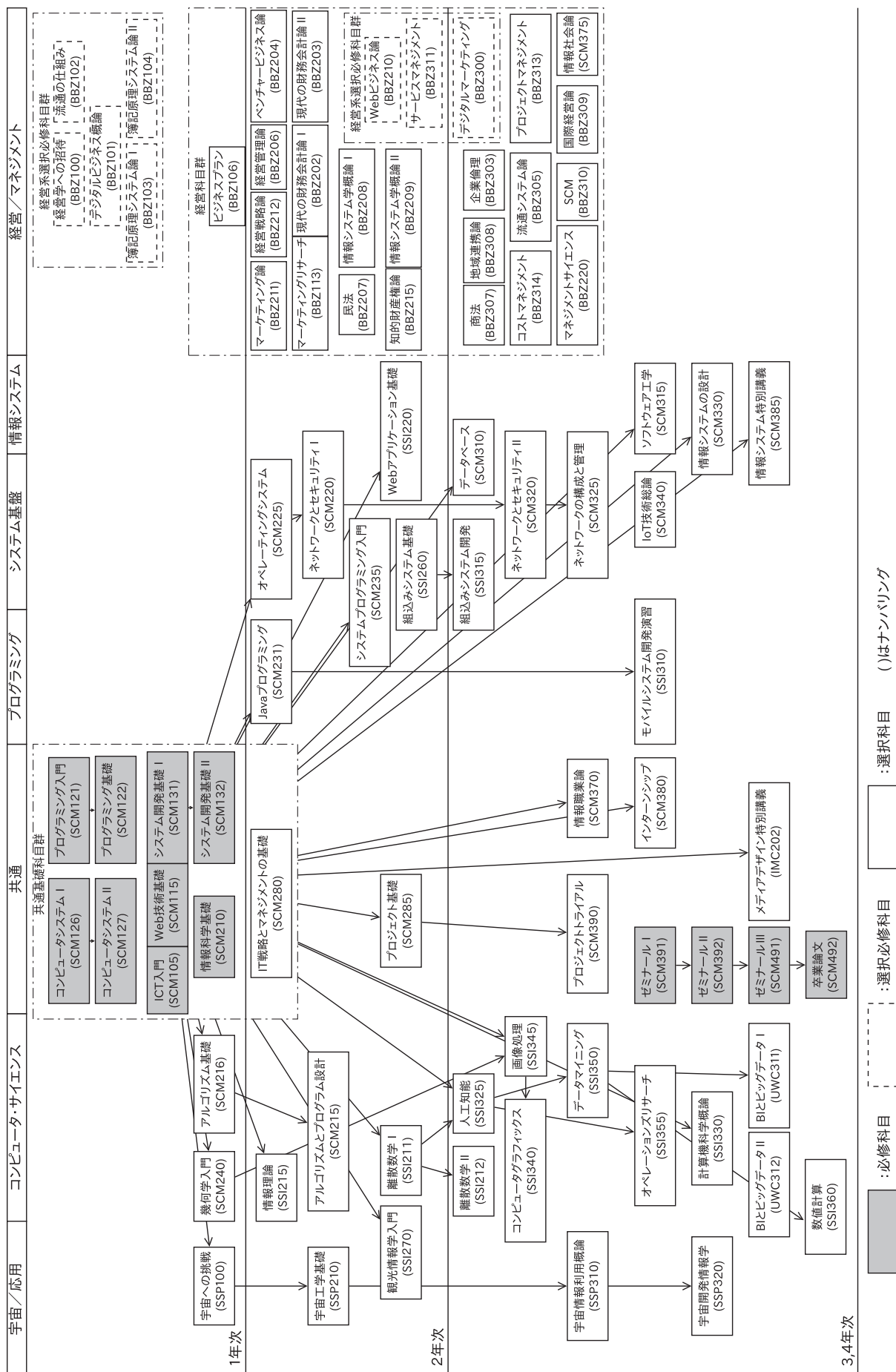
経営情報学部

システム情報学科（2023年度入学生～）

単位 制度	ナンバ	科 目 名	卒業認定・学位 授与の方針と科 目との関連						コンピテンシー																		
			①	②	③	④	⑤	⑥	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15	C16	C17	C18	C19
授	SSI355	オペレーションズリサーチ		○									○		○							○					
	SSI360	数値計算		○											○												
業	SCM340	I o T 技術総論		○						○	○			○													
	UWC311	B I とビッグデータ I		○									○		○												
業	UWC312	B I とビッグデータ II		○									○		○												
	SCM390	プロジェクトトライアル				○																		○	○		
カリ キュ ラム	BBZ106	ビジネスプラン		○													○										
	BBZ208	情報システム学概論 I		○						○																	
履 修 登 録	BBZ209	情報システム学概論 II		○						○																	
	BBZ212	経営戦略論		○													○										
成 試 験 お よ び 成 績 の 履 修 モ デ ル	BBZ206	経営管理論		○													○										
	BBZ204	ベンチャービジネス論		○													○										
卒	BBZ215	知的財産権論		○													○										
	BBZ207	民法		○													○										
業	BBZ211	マーケティング論		○													○										
	BBZ113	マーケティングリサーチ		○													○										
教 職 課 程	BBZ202	現代の財務会計論 I		○													○										
	BBZ203	現代の財務会計論 II		○													○										
留 意 の 事 項 の 履 修 モ デ ル	BBZ314	コストマネジメント		○													○										
	BBZ303	企業倫理		○													○										
付 各 種 規 程 録	BBZ307	商法		○													○										
	BBZ305	流通システム論		○													○										
業	BBZ220	マネジメントサイエンス		○													○										
	BBZ313	プロジェクトマネジメント		○													○										
教 職 課 程	BBZ310	S C M		○													○										
	BBZ309	国際経営論		○													○										
留 意 の 事 項 の 履 修 モ デ ル	BBZ308	地域連携論		○													○										

システム情報学科 専門科目履修系統図

システム情報学科専門科目履修系統図



医療情報学科

1. 概要

高齢化および少子化の進むわが国において、医療の崩壊を防ぎ質の高い医療サービスを提供することは、今後ますます重要になってくるでしょう。そのためには、医師や看護師だけではなく、チームとしての医療体制の確立とその効率化が重要な課題となってきます。情報技術の相応な利用は、こうした課題に対し核となるソリューション（問題解決方法）を提供します。

医療の現場およびその周辺における情報には様々なものがあります。そのようなものの中には例えば、カルテに記載される診療情報、検査結果の医療画像、高度医療機器の利用記録、個々人の遺伝子情報や、食品や健康に関わる個人情報など、機密事項を伴う取扱いが難しい情報や、適切な統計処理により大きな付加価値が得られる情報があります。医療情報学科は、医療とその周辺で発生する様々な種類の情報に対し、その意味を深く理解し、適切な処理を施すことで、医療の効率化に貢献できる人材の育成を目指します。

医療情報学科には、医療とその周辺に関する様々な情報について学修を進める医療情報専攻と、医療の現場で高度医療機器を取り扱う臨床工学を学ぶ臨床工学専攻の2つがあります。医療情報専攻においては、各々の希望や興味に応じて、診療情報管理コース、健康情報科学コース、医療情報エンジニアコース3つの履修コースを、臨床工学専攻においては、臨床工学技士国家試験合格を目指す臨床工学技士コース1つの履修コースを設けています。

様々な資格取得を目指すことができるのも医療情報学科の特徴の1つです。診療情報管理コースでは、医療事務技能審査試験、医療事務作業補助者技能認定、診療報酬請求事務能力検定、診療情報管理士認定試験、医療情報技師能力検定などの資格が取得できます。これらは、医療機関や医療関係の企業への就職に有利に働く資格となるでしょう。健康情報科学コースでは、健康食品管理士、登録販売者等の資格が取得できます。これらの資格取得者は、近年重要視されているセルフメディケーションや食による健康維持に関する深い知識を得ることで、食品系企業や健康関連企業での活躍が期待されています。医療情報エンジニアコースでは、医療情報技師、基本情報技術者、応用情報技術者試験等の資格取得が可能です。医学・医療の専門知識を持つ技術者は貴重であり、どちらの分野に進んでも重要な役割を果たす人材となることでしょう。臨床工学技士コースは、学会認定試験の第1種、第2種ME技術実力検定取得とともに、臨床工学技士国家試験の合格を目指します。

どのコースにおいても、各々に関心のある医学・医療系専門分野と共にそれらに対する情報処理技術について学んでいくことになります。

2. 履修モデルコース概要

	コース名	コース概要	主な進路	関連資格
医療情報専攻	診療情報管理コース	基礎的医学知識、医療事務、診療情報管理、医療情報システム、医療管理について体系的かつ横断的に学習します。具体的には、臨床医学などの基礎的医学知識、医療事務総論や病院管理論などの医療事務、診療情報管理学やがん登録概論などの診療情報管理、コンピュータシステムやネットワークセキュリティなどの医療情報システム、医療経営戦略論などの医療管理の知識を身につけます。さらに、コミュニケーション能力や実践力を高めるために、病院実習およびゼミナールにおける体験的学習のカリキュラムが組まれています。	診療情報管理士	診療情報管理士（日本病院会認定資格） 統計検定2級 準1級
			医療事務スタッフ 医療情報担当者	診療報酬請求事務能力検定（日本医療保険事務協会認定資格） ITパスポート試験（国家資格）
			医師事務作業補助者	医師事務作業補助者技能認定（全日本病院協会・日本医療教育財団認定資格）
			メディカル・クラーク	医療事務技能審査認定（日本医療教育財団認定資格）
			医療秘書	医療秘書技能検定（医療秘書教育全国協議会認定資格）
			医療情報技師 医療技術開発研究スタッフ	医療情報技師能力検定（日本医療情報学会認定資格）
			ソフトウェア会社スタッフ	基本情報技術者試験（国家資格）
			医療情報管理会社スタッフ	
	健康情報科学コース	医学および栄養、食品など、人の健康に関わる科学とそこから生まれる多様な情報の解析技術を学んでいきます。具体的には、基礎として幅広い医学知識を習得するとともに、栄養学や食品化学、食品関係法規といった人々の健康の基盤となる食品系科学、また、生化学・分子生物学、生命情報科学などの生命系科学の学習を通じてヘルスケアの実践に必要な専門的知識を身につけていきます。それと並行し、高度な情報技術者になるための数理的基礎科目や、コンピュータシステム、データベース、セキュリティといったシステム開発に必要な知識や技術を得ることになります。いくつかのプログラミング言語を使い、コンピュータを使った統計処理技術を身につけることもできます。このコースで学ぶことで、医療・食と健康・情報分野を横断的に理解し、幅広い視点で健康増進や疾病予防に関わるヘルスケア領域の課題に取り組むことが出来るようになるでしょう。	食品関連会社スタッフ	健康食品管理士（日本食品安全協会） 食品衛生責任者（北海道食品衛生協会）
			医薬品関連会社スタッフ	中・上級バイオ技術認定（日本バイオ技術教育学会） 登録販売者
			医薬情報担当者	バイオイノフォマティクス技術者認定（日本バイオイノフォマティクス学会認定資格） ITパスポート（国家資格）
	医療情報エンジニアコース	エンジニアとして必要な情報技術を体系的に学ぶと共に、エンジニアリングの応用先としての医学、医療、生命科学について、情報技術との関わりを中心に学んでいきます。データベース、ネットワーク、セキュリティ等の基本的な情報処理技術・理論を学び、画像解析、文書処理、機械学習といった応用的課題へと進んでいきます。情報技術の医学医療、そして生命科学への応用は、我々にとって最も重要な課題の一つであり、医療画像を用いた画像解析、電子カルテの文書を用いた文書処理、これらのデータから診断や治療方針の提案を通じて医療のサポートを行う機械学習といった、様々な応用分野についての学習を行っていきます。この他にも、遺伝子のコンピュータを使った解析やシミュレーションなど、情報技術によって解決される様々な興味深い問題があり、これらについても専門的講義で自らの興味に応じて深く学んでいくことができます。こうした実践を通じて、社会で即戦力となるプログラミングスキルや問題解決の方法を学んでいくことになります。	システムエンジニア プログラマー	ITパスポート（国家資格） 基本情報技術者試験（国家資格） 応用情報技術者試験（国家資格）
			医療情報担当者	医療情報技師
			医療機器開発関連会社 スタッフ	
			病院内情報部門技術者	

単位
制度

授

業

カリ
キュ
ラム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
課
程
要
綱付
各
種
規
程
録

単位 制度	臨床工学専攻	コース名	コース概要	主な進路	関連資格
授		臨床工学技士 コース	臨床工学技士国家試験受験のために必要な医学、工学のカリキュラムに加え情報の内容をそれぞれ基礎から応用に向けて配置しています。それぞれのカリキュラムは講義による基礎的な内容の学習からはじまり、より臨床に近い応用的な内容となっており、さらに実験・実習により深く理解できるよう配置されています。これらの学内における講義・実習をもとに病院実習および卒業研究において将来に向けて発展できる能力を高めるカリキュラムが組まれています。	臨床工学技士（CE） メディカルエンジニア（ME）	臨床工学技士国家試験（国家資格） 第1種ME技術実力検定試験（日本生体医工学会認定資格） 第2種ME技術実力検定試験（日本生体医工学会認定資格）
業				医療機器開発会社スタッフ 医療機器販売会社スタッフ	第2種ME技術実力検定（日本生体医工学会認定資格） 医療情報コミュニケーター MDIC（日本医療機器学会認定資格）
カリ キュ ラム					
履 修 登 録					
成 試 験 お よ び 績 び					
卒					
業					
教 職 課 程					
留 意 の 事 他 項 の					
履 修 モ デ ル	学部・学科の概要				
付 各 種 規 程 録					

3. 教育方法

医療情報学科では、単に知識の導入と専門技術の修得に止まることなく、幅広い医学・医療の知識と深い専門知識を修得し、さらには専門技術を身につけることを前提とした教育を行います。以下に、本学科の目指す主たる教育を列記します。

- ・ 講義、演習、実習による総合教育
- ・ 各コースの専門的特徴を生かした知識と技術の修得を目指す教育
- ・ 卒後進路の拡大を目指す教育
- ・ 専門能力の涵養と資格取得を目指す教育

4. コース別カリキュラムポイント

医療情報専攻では、ゼミ配属時より将来の希望に沿って3つの履修コースに分かれますが、学科内で開講されているすべての講義は受講可能であり、どのコースにおいても幅広い知識と技術を修得することができ、また医療や情報に関わる多くの資格を受験することができます。臨床工学専攻の学生は、臨床工学士コースに進み国家試験の合格を目指します。

●診療情報管理コース

診療情報・病院情報・医学の専門的知識を習得し、診療情報管理学や高度医療維持管理についての知識を学び、これらのデータを用いて有益な情報を見出すデータサイエンス技術についても学びます。また、電子カルテなど病院特有の情報管理システム運用とその管理、経営資源やICTを活用した経営管理についても学びます。

●健康情報科学コース

医学・健康・食・情報についての基礎的かつ実践的な知識と技術を幅広く学びます。健康や病気との関わりが大きい食品や栄養、遺伝子、さらにはそれらの情報の利活用について学びます。知識や情報を健康増進と維持に役立てる力（ヘルスリテラシー）を高め、それらの社会還元について実践的な科目や活動を通して学びます。

●医療情報エンジニアコース

まずは、情報処理技術の土台となる理論やプログラミング等の基礎技術について学んでいきます。個々の興味に応じて、医学医療、食と健康といった分野の専門知識を、これらの情報技術への応用という観点から深く学んでいきます。ただ机に座って学ぶだけではなく、それぞれの分野での問題点を見つけ出す気概を持って学び、プログラミング技術等を駆使して実現していくことで、社会に出てからも活躍出来る実践的なスキルが得られるでしょう。

●臨床工学技士コース

臨床工学技士育成のための基礎科目および専門科目からなる教育カリキュラムと、本学ならではの情報教育、基礎教養科目を学びます。臨床工学に関する教育カリキュラムでは物理・化学・生物・数学といった基礎科目から学習し、解剖学や生理学から臨床医学に関する医学系科目、電気工学から医療機器につながる工学系の科目へと進んでいきます。また、学内での実験実習に続き、病院での臨床実習に移り、臨床工学技士への心構えと実践的内容を学びます。基礎教養科目は社会人として必要な語学や人文社会といった幅広い科目を学びます。

単位
制
度業
力
キ
ュ
ム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
績
び業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要付
各
種
規
程
録

5. コース別履修推薦科目

●診療情報管理コース

1年次においては、語学や数学などの教養科目、医学概論・臨床医学総論・解剖学・生理学などの基礎医学関連科目、さらにICT入門やコンピューターシステム・プログラミング入門などの情報科目を履修します。2年次においては、医療制度論・診療情報管理学・医学用語概説・医療倫理概説・ネットワークとセキュリティ・臨床医学などの専門科目を履修します。3年次においては、臨床医学・国際医療統計分類・診療情報管理学演習・DPCマネジメント概説・医療情報システム演習・がん登録概論などの専門科目を履修します。

4年次においては、専門課程における集大成として卒業論文を中心に専門科目を履修します。

●健康情報科学コース

1年次においては、語学や数学などの教養科目、医学概論・臨床医学総論・解剖学・生理学・病理学などの基礎医学関連科目、さらにICT入門やコンピューターシステム・プログラミング入門などの情報科目を履修します。2年次においては、医療倫理概説・ネットワークとセキュリティ・臨床医学・食品保健科学・分子栄養学などの専門科目を履修します。3年次においては、バイオテクノロジー・公衆衛生学・生命情報科学・食品関係法規・ヘルスケアIT演習などの専門科目を履修します。4年次においては、専門課程における集大成として卒業論文を中心に専門科目を履修します。

●医療情報エンジニアコース

1年次：語学、数学などの教養科目、医学概論・臨床医学総論等の基礎医学関連科目と共に、プログラミング入門・コンピュータシステム等の情報基礎科目を中心に履修します。

2年次：ネットワークとセキュリティ・システム開発基礎・機械学習の基礎等情報系の専門科目を学びます。必要な教養科目と共に、興味がある医学・医療系、食品系科目を履修しても良いでしょう。情報系の資格試験を受験を目指すとともに、ゼミにてプロジェクト型実践的学習をはじめていきます。

3年次：引き続き医学・医療系、食品系と情報技術に関わる専門科目を履修していきます。バイオテクノロジー、生命情報科学・画像処理・データサイエンスなど専門の実習科目で技術の実践を行います。医療情報技師の試験を受けます。

4年次：専門科目の履修とともに、4年間の集大成として卒業研究を行います。

●臨床工学技士コース

1年次においては、語学や数学などの共通・教養科目、解剖学・生理学・病理学などの基礎医学関連科目や臨床医学総論、電子・電気・材料・物性工学などの臨床工学関連科目、医用情報処理工学などの情報科目を履修します。2年次においては、1年次に引き続き臨床医学総論、計測・機械工学などを履修し、さらに医用治療機器学、生体計測装置学、生体機能代行技術学などの専門科目を履修します。3年次においては、生体機能代行装置学、生体機能代行技術学実習を履修し、後期からは臨床実習を履修します。4年次においては、臨床工学関連法規、などを履修するとともに、臨床工学技士国家試験に向けた科目を履修し、集大成としての卒業論文を中心に専門科目を履修します。

6. 取得可能資格試験

本学科で取得可能もしくは受験可能な主な資格は以下の表の通りです。いくつかの資格については、それぞれの資格試験に対する対策講座が開講されています。

分 野	資 格 名	種 類	指定科目の受講	注
診療情報	診療情報管理士認定試験	民間資格	必要	医療情報専攻のみ
	診療報酬請求事務能力検定	民間資格		
	ITパスポート試験	国家資格		
	医師事務作業補助者技能検定	民間資格		
	医療秘書技能検定	民間資格		
エンジニア	医療情報技師能力検定	民間資格		
	ITパスポート試験	国家資格		
	基本情報技術者試験	国家資格		
	応用情報技術者試験	国家試験		
健康情報	健康食品管理士	公的資格	必要	医療情報専攻のみ
	登録販売者	国家資格		
	バイオインフォマティクス技術者認定	民間資格		
	ITパスポート試験	国家資格		
	中級・上級バイオ検定	民間資格		
	食品衛生責任者	公的資格		
臨床工学	第2種ME技術実力検定試験	民間資格		
	第1種ME技術実力検定試験	民間資格		
	医療機器情報コミュニケーター MDIC	民間資格		
	ITパスポート試験	国家資格		
	臨床工学技士国家試験	国家資格	必要	臨床工学専攻のみ

（注：公的資格：認定は民間だが、根拠となる法律がある資格）

単位制度

業カリキュラム

履修登録

成試験および

業教職課程

留その他項の

学部・学科の概要

付各種規程録

医療情報学科 人材像とコンピテンシー（専門教育）

学科名	医療情報学科	医療情報専攻	診療情報管理コース
①人材像			
(a)	専門的医学知識や医療情報システムを基盤とした情報処理技術を活用して，診療情報や医療情報の管理・運営ができる人材		
(b)	生涯にわたり最新の医学・診療情報学，医療情報技術を学び社会に還元できる人材		
(c)	幅広い医療や健康分野に直面する問題を見出し，解決するために実践的知識および医療や健康情報資源を活用し，主体的に問題を解決することができる人材		
(d)	医療情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材		
(e)	物事を幅広い視野からとらえ，論理的思考を備えた人材		
(f)	医療人として人命の尊厳と人格を尊重し，自己洞察ができる人材		
(g)	人間についての幅広い専門知識を用いて，対象者が持つ背景や価値観の多様性を理解し，医療人としての自覚を持ち，チームの一員として行動ができる人材		
(h)	円滑なコミュニケーションをとることができ，他職種との連携・協働を行うことができる人材		
②コンピテンシー			
A-1	診療情報の管理ができ高度医療事務に対応できる		
A-2	診療情報および医療情報を管理・分析し総合的に活用ができる		
A-3	最新のIT技術を駆使して適切な医療情報システムの構築・運営ができる		

学科名	医療情報学科	医療情報専攻	健康情報科学コース
①人材像			
(a)	食と健康に関する専門的知識をもとに、健康情報を管理・分析ができ、ヘルスリテラシー向上を推進できる人材		
(b)	生涯にわたり最新の医学・診療情報、医療情報技術、食と健康と情報を学び社会に還元できる人材		
(c)	幅広い医療や健康分野に直面する問題を見出し、解決するために実践的知識および医療や健康情報資源を活用し、主体的に問題を解決することができる人材		
(d)	医療人として人命の尊厳と人格を尊重し、自己洞察ができる人材		
(e)	人間についての幅広い専門知識を用いて、対象者が持つ背景や価値観の多様性を理解し、医療人としての自覚を持ち、チームの一員として行動ができる人材		
(f)	円滑なコミュニケーションをとることができ、他職種との連携・協働を行うことができる人材		
②コンピテンシー			
B-1	食品の機能性・安全性、栄養について理解し、情報技術を医療および健康分野へ応用できる		
B-2	バイオイノフォマティクスの基礎知識を理解し、情報技術を医療および健康分野へ応用できる		
B-3	ICT技術を用いて健康情報の処理・管理を実践し、ヘルスリテラシー向上に貢献できる		

学科名	医療情報学科	医療情報専攻	医療情報エンジニアコース
①人材像			
(a)	専門的医学知識や医療情報システムを基盤とした情報処理技術を活用して、診療情報や医療情報管理・運営ができる人材		
(b)	生涯にわたり最新の医学・診療情報、医療情報技術を学び社会に還元できる人材		
(c)	幅広い医療や健康分野に直面する問題を見出し、解決するために実践的知識および医療や健康情報資源を活用し、主体的に問題を解決することができる人材		
(d)	医療人として人命の尊厳と人格を尊重し、自己洞察ができる人材		
(e)	人間についての幅広い専門知識を用いて、対象者が持つ背景や価値観の多様性を理解し、医療人としての自覚を持ち、チームの一員として行動ができる人材		
(f)	円滑なコミュニケーションをとることができ、他職種との連携・協働を行うことができる人材		
②コンピテンシー			
C-1	専門的医学知識を最新の情報技術に応用できる		
C-2	医療情報システムを管理・分析し総合的に活用できる		
C-3	最新のICT技術を駆使して、情報システム開発の一端を担うことができる		

学科名	医療情報学科	臨床工学専攻
①人材像		
(a)	専門的医学知識、高度かつ多様化する医療機器に対応できる基礎的知識を修得し、指導的立場となる臨床工学技術を駆使できる人材	
(b)	生涯にわたり最新の生命維持管理を学び社会に還元できる人材	
(c)	幅広い医療や健康分野に直面する問題を見出し、解決するために実践的知識および医療や健康情報資源を活用し、主体的に問題を解決することができる人材。	
(d)	医療人として人命の尊厳と人格を尊重し、自己洞察ができる人材。	
(e)	人間についての幅広い専門知識を用いて、対象者が持つ背景や価値観の多様性を理解し、医療人としての自覚を持ち、チームの一員として行動ができる人材。	
(f)	円滑なコミュニケーションをとることができ、他職種との連携・協働を行うことができる人材。	
②コンピテンシー		
D-1	臨床工学技士に必要な基礎的な医学知識や臨床医学に関する知識を応用できる	
D-2	臨床工学技士に必要な基礎的な工学的知識を理解し、生命維持装置や医療計測・治療機器の保守管理を安全に行うことができる能力に加え、IT技術を基盤とした医療情報技術を実践できる	
D-3	医療機関におけるマネジメントに関する知識や、患者の健康維持に必要な食品・栄養に関する知識を有しており、患者や他の職種との円滑なコミュニケーションをとることができ、医療の高度化に貢献できる	

単位制度

業カリキュラム

履修登録

成試験および

成績

業教職課程

留その他事項

学部・学科の概要

付各種規程

医療情報専攻

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と科目との関連マップ及びコンピテンシーマップ

科 目 名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー								
	①	②	③	④	⑤	⑥	A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3
医学概論	○	○			○	○	○	○		○			○		
臨床医学総論	○	○			○	○	○	○		○			○		
解剖学	○	○					○	○		○			○		
生理学	○	○					○	○		○	○		○		
医学用語概説	○	○			○	○	○	○		○			○		
医療制度論	○	○			○	○	○	○							
医療倫理概説	○	○					○	○		○			○		
病理学	○	○					○	○		○	○		○		
生化学	○	○								○	○		○		
チーム医療概論	○	○					○	○		○			○		
福祉総論	○	○					○	○		○			○		
薬理学	○	○			○			○		○		○	○		
免疫学	○	○					○	○		○			○		
医用工学概論Ⅰ	○	○			○										○
医用機械学概論	○	○			○										○
医用工学概論Ⅱ	○	○			○										○
臨床医学Ⅰ	○	○	○		○	○	○	○		○			○		
臨床医学Ⅱ	○	○	○		○	○	○	○		○			○		
臨床医学Ⅲ	○	○	○		○	○	○	○		○			○		
臨床医学Ⅳ	○	○	○		○	○	○	○		○			○		
臨床医学Ⅴ	○	○	○		○	○	○	○		○			○		
臨床医学Ⅵ	○	○	○		○	○	○	○		○			○		
公衆衛生学Ⅰ	○	○				○	○	○		○					
公衆衛生学Ⅱ	○	○				○	○	○		○					
医療安全管理学Ⅰ	○	○				○	○	○	○					○	
生命情報科学Ⅰ	○	○							○		○	○	○	○	
生命情報科学Ⅱ	○	○							○		○	○	○	○	
分子栄養学	○	○								○	○		○	○	
食品保健科学	○	○								○			○		
食品関係法規	○	○								○			○		
ヘルスケアIT演習	○	○								○	○	○			
認知症総論	○	○	○	○	○	○		○				○	○		
医療情報学概論	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	
医療事務総論	○	○					○	○							
病院管理論	○	○					○	○							
診療情報管理学Ⅰ	○	○					○	○					○		
診療情報管理学Ⅱ	○	○					○	○					○		
診療情報管理学Ⅲ	○	○			○		○	○	○				○		
診療情報管理学演習Ⅰ	○						○	○							
診療情報管理学演習Ⅱ	○	○					○	○					○		
診療報酬請求事務論	○	○					○	○							
診療報酬請求事務論演習	○	○					○	○							
医療統計学Ⅰ	○	○			○		○	○	○	○	○	○		○	○

科 目 名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー								
	①	②	③	④	⑤	⑥	A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3
医療統計学Ⅱ	○	○			○		○	○	○					○	○
疾病分類概論	○	○					○	○							
国際医療統計分類Ⅰ	○	○					○	○	○						
国際医療統計分類Ⅱ	○	○					○	○	○						
国際疾病分類(ICD11)演習	○	○					○	○	○						
がん登録概論	○	○					○	○	○						
医療情報演習応用Ⅰ	○	○	○		○	○	○	○	○					○	○
医療情報演習応用Ⅱ	○	○	○		○	○	○	○	○					○	○
薬学基礎演習	○	○			○			○		○		○	○		
DPCマネジメント概説	○	○				○	○	○	○						
医療情報システム演習	○	○					○	○							
医療マーケティング論	○	○					○	○							
医療経済学概論	○	○					○	○		○					
ICT入門		○			○	○			○			○			○
コンピュータシステムⅠ		○			○	○			○			○			○
コンピュータシステムⅡ		○			○	○			○			○			○
プログラミング入門		○			○	○			○			○			○
プログラミング基礎演習		○			○	○			○			○			○
ITストラテジ		○			○	○	○	○	○			○		○	○
ITマネジメント		○			○	○	○	○	○			○		○	○
基本情報演習Ⅰ		○			○	○		○	○			○		○	○
基本情報演習Ⅱ		○			○	○		○	○			○		○	○
機械学習の基礎		○			○	○					○	○		○	○
機械学習プログラミング演習		○			○	○					○	○		○	○
Web技術基礎		○			○	○			○			○			○
システム開発基礎		○			○	○			○			○			○
ネットワークとセキュリティⅠ		○			○	○			○			○			○
ネットワークとセキュリティⅡ		○			○	○			○			○			○
情報社会論	○	○	○			○	○	○	○						
情報職業論	○	○	○	○		○	○	○	○						
画像処理		○			○	○	○		○			○			○
データサイエンス	○	○			○	○		○	○		○	○		○	○
医療情報特別講義	○	○	○		○	○	○	○				○		○	○
病院実習	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
インターンシップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
医療情報演習	○	○				○		○	○	○				○	○
バイオテクノロジー実習	○	○								○	○				
基礎ゼミナール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゼミナールⅠ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゼミナールⅡ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゼミナールⅢ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
卒業論文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロジェクトトライアル	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○			○
BⅠとビッグデータⅠ		○			○	○		○	○			○			○
BⅠとビッグデータⅡ		○			○	○		○	○			○			○

単位
制
度
授業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履修モデル
教育部
門
の
課
程
要
綱付
各
種
規
程
録

臨床工学専攻

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と科目との関連マップ及びコンピテンシーマップ

単位 制度 授	業 カリ キュ ラム	履 修 登 録	成 試 験 お よ び 卒	業 教 職 課 程	留 意 の 事 項	履 修 モ デ ル	付 各 種 規 程 録	科 目 名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー		
									①	②	③	④	⑤	⑥	D-1	D-2	D-3
								医学概論	○	○			○	○	○		
								解剖学	○	○					○		
								生理学	○	○					○		
								病理学	○	○					○		
								医療倫理概説	○	○					○		
								生化学Ⅰ	○	○			○	○	○		
								生化学Ⅱ	○	○					○		
								チーム医療概論	○	○					○		
								福祉総論	○	○					○		○
								薬理学	○	○					○		○
								免疫学	○	○					○		
								認知症総論	○	○	○	○	○	○	○		○
								医療安全管理学Ⅰ	○	○					○	○	
								医療安全管理学Ⅱ	○	○				○	○	○	
								医療安全管理学Ⅲ	○	○				○	○	○	
								臨床医学総論Ⅰ（内科・外科・検査）	○	○	○		○	○	○		
								臨床医学総論Ⅱ（麻酔・集中・救急・手術）	○	○	○		○	○	○		
								臨床医学総論Ⅲ（呼吸器・感染症）	○	○	○		○	○	○		
								臨床医学総論Ⅳ（消化器・血液）	○	○	○		○	○	○		
								臨床医学総論Ⅴ（内分泌・神経・筋肉）	○	○	○		○	○	○		
								臨床医学総論Ⅵ（循環器・代謝）	○	○	○		○	○	○		
								臨床医学総論Ⅶ（腎臓・泌尿器・生殖器）	○	○	○		○	○	○		
								医用工学概論Ⅰ	○	○			○		○		
								医用工学概論Ⅱ	○	○			○		○		
								臨床工学関係法規Ⅰ	○						○		
								臨床工学関係法規Ⅱ	○	○				○	○	○	
								公衆衛生学Ⅰ	○	○				○	○		
								公衆衛生学Ⅱ	○	○				○	○		
								分子栄養学	○	○					○		○
								食品保健科学	○	○					○		○
								臨床工学基礎演習Ⅰ	○						○		
								臨床工学基礎演習Ⅱ	○						○		
								臨床工学演習Ⅰ	○						○		
								臨床工学演習Ⅱ	○						○		
								医療情報学概論	○	○	○		○	○		○	
								医療統計学	○	○			○		○	○	
								医療経済学概論			○	○		○		○	○
								病院情報システム概説	○	○				○	○	○	○
								医療情報システム演習	○	○					○	○	○
								医療マーケティング論	○	○					○	○	○
								医用情報処理工学Ⅰ		○			○	○		○	
								医用情報処理工学Ⅱ		○			○	○		○	
								医用情報処理工学Ⅲ		○			○	○		○	
								医用情報処理工学Ⅳ		○			○	○		○	

科 目 名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー		
	①	②	③	④	⑤	⑥	D-1	D-2	D-3
プログラミング入門		○			○	○		○	
基本情報演習Ⅰ		○			○	○		○	
プログラミング基礎演習		○			○	○		○	
ITストラテジ		○			○	○		○	
ITマネジメント		○			○	○		○	
Web技術基礎		○			○	○		○	
システム開発基礎Ⅰ		○			○	○		○	
ネットワークとセキュリティⅠ		○			○	○		○	
ネットワークとセキュリティⅡ		○			○	○		○	
情報社会論	○	○			○	○		○	
画像処理		○			○	○		○	
医療情報特別講義	○	○	○		○	○	○	○	○
応用数学Ⅰ		○						○	
応用数学Ⅱ		○						○	
電子工学Ⅰ		○						○	
電子工学Ⅱ		○						○	
電気工学Ⅰ		○						○	
電気工学Ⅱ		○						○	
臨床工学基礎実験（電子・電気）		○	○			○		○	
機械工学		○						○	
物性工学		○						○	
材料工学		○						○	
計測工学		○						○	
医用機器学概論	○	○			○		○	○	
医用治療機器学Ⅰ	○	○					○	○	
医用治療機器学Ⅱ	○	○					○	○	
医用治療機器学Ⅲ	○	○					○	○	
生体計測装置学Ⅰ	○	○					○	○	
生体計測装置学Ⅱ	○	○					○	○	
生体計測装置学Ⅲ	○	○					○	○	
臨床支援技術学	○	○				○	○	○	
生体機能代行技術学Ⅰ	○	○					○	○	
生体機能代行技術学Ⅱ	○	○					○	○	
生体機能代行技術学Ⅲ	○	○					○	○	
生体機能代行技術学Ⅳ	○	○					○	○	
生体機能代行技術学実習Ⅰ	○	○					○	○	
生体機能代行技術学実習Ⅱ	○	○					○	○	
臨床実習	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゼミナール	○	○	○	○	○	○	○	○	○
卒業論文	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロジェクトトライアル	○	○		○	○	○		○	○
BIとビッグデータⅠ		○			○	○		○	○
BIとビッグデータⅡ		○			○	○		○	○

単位
制
度
授業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
要
綱付
各
種
規
程
録

各コースの履修推薦科目

網掛けは必修科目

○は各コースでの履修推薦科目

●は各コースにおける資格試験受験のための修得必須科目

診療：診療情報管理士，健康：健康食品管理士，エンジニア：医療情報技師

分野	科 目 名	配当年次と単位数				診療情報管理				健康情報科学				医療情報エンジニア			
		1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
医 学	医学概論	2				●				○				○			
	臨床医学総論	2				●				●				○			
	解剖学	2				●				●				○			
	生理学	2				○				●				○			
	医学用語概説		1				●				○				○		
	医療制度論		2				●				○				○		
	医療倫理概説		2				○				○				○		
	病理学	1				○				●							
	生化学		2				○				●						
	チーム医療概論		1				○										
	福祉総論		2				○										
	薬理学		1								●						
	免疫学		1								●						
	医用工学概論Ⅰ		1														
	医用機械学概論		1														
	医用工学概論Ⅱ			2													
	臨床医学Ⅰ		1				●				●						
	臨床医学Ⅱ		1				●				●						
	臨床医学Ⅲ		1				●										
医 療 科 目	臨床医学Ⅳ			1				●									
	臨床医学Ⅴ			1				●									
	臨床医学Ⅵ			2				●									
	公衆衛生学Ⅰ			1				○				●					
	公衆衛生学Ⅱ			1				○				●					
	医療安全管理学Ⅰ		1					●									
	生命情報科学Ⅰ			1								●				○	
	生命情報科学Ⅱ			1								●				○	
	分子栄養学		2								●						
	食品保健科学		2								●						
	食品関係法規			1								●					
	ヘルスケアIT演習			1								○					
医 療 情 報 シ ス テ ム 科 目	認知症総論	2															
	医療情報学概論	2				●				○				○			
	医療事務総論	2				●				○				○			
	病院管理論		2				●								○		
	診療情報管理学Ⅰ		2				●										
	診療情報管理学Ⅱ		2				●										
	診療情報管理学Ⅲ			1				●									
	診療情報管理学演習Ⅰ			2				●									
	診療情報管理学演習Ⅱ			2				●									
	診療報酬請求事務論	2				●											
	診療報酬請求事務論演習		2				○								○		
	医療統計学Ⅰ		2				●				○				○		

網掛けは必修科目

○は各コースでの履修推薦科目

●は各コースにおける資格試験受験のための修得必須科目

診療：診療情報管理士，健康：健康食品管理士，エンジニア：医療情報技師

分野	科目名	配当年次と単位数				診療情報管理				健康情報科学				医療情報エンジニア			
		1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
医療情報システム科目	医療統計学Ⅱ			1				●									
	疾病分類概論		1				●										
	国際医療統計分類Ⅰ		2				●										
	国際医療統計分類Ⅱ			2				●									
	国際疾病分類（ICD11）演習			1				○									
	がん登録概論			1				○									
	医療情報演習応用Ⅰ		1													●	
	医療情報演習応用Ⅱ		1													●	
	薬学基礎演習		1								●						
	DPCマネージメント概説			2				○									
	医療情報システム演習			2				○								●	
	医療マーケティング論			2				○									
	医療経済学概論			2				○									
情報科目	ICT入門	2				○				○				○			
	プログラミング入門	2				○				○				○			
	コンピュータシステムⅠ	2				○				○				○			
	コンピュータシステムⅡ		2				○				○				○		
	プログラミング基礎演習	2												○			
	ITストラテジ		2												●		
	ITマネジメント		2												●		
	基本情報演習Ⅰ		2												○		
	基本情報演習Ⅱ		2												○		
	機械学習の基礎		2												○		
	機械学習プログラミング演習		2												○		
	Web技術基礎		2												○		
	システム開発基礎		2												○		
	ネットワークとセキュリティⅠ		2				○				○				○		
	ネットワークとセキュリティⅡ			2												○	
	情報社会論			2												○	
	情報職業論			2												○	
	画像処理			2												○	
	データサイエンス			2								○				○	
	医療情報特別講義			2				○				○				○	
演習科目	病院実習		2				●										
	インターンシップ			2				○				○				○	
	医療情報演習		2				○				○				○		
	バイオテクノロジー実習			2								●					
	基礎ゼミナール		2				○				○				○		
	ゼミナールⅠ			2				○				○				○	
	ゼミナールⅡ			2				○				○				○	
	ゼミナールⅢ				2				○				○				○
	卒業論文				2				○				○				○
学部横断科目	プロジェクトトライアル		2		2		○										
	BIとビッグデータⅠ			2					○							○	
	BIとビッグデータⅡ			2					○							○	

専門教育科目からの卒業に必要な単位数77単位以上

各コースの履修推薦科目

分野	科 目 名	配当年次と単位数				臨床工学技士			
		1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
医 学 ・ 医 療 科 目	医学概論	2				●			
	解剖学	2				●			
	生理学	2				●			
	病理学	1				●			
	医療倫理概説			2					
	生化学Ⅰ		2				●		
	生化学Ⅱ		1				●		
	チーム医療概論		1				●		
	福祉総論		2				●		
	薬理学		1				●		
	免疫学		1				●		
	認知症総論		2				○		
	医療安全管理学Ⅰ		1				●		
	医療安全管理学Ⅱ		1				●		
	医療安全管理学Ⅲ				2				●
	臨床医学総論Ⅰ（内科・外科・検査）	1				●			
	臨床医学総論Ⅱ（麻酔・集中・救急・手術）		1				●		
	臨床医学総論Ⅲ（呼吸器・感染症）		1				●		
	臨床医学総論Ⅳ（消化器・血液）		1				●		
	臨床医学総論Ⅴ（内分泌・神経・筋肉）		1				●		
シ ス テ ム 科 目	臨床医学総論Ⅵ（循環器・代謝）			1				●	
	臨床医学総論Ⅶ（腎臓・泌尿器・生殖器）			1				●	
	医用工学概論Ⅰ	1				●			
	医用工学概論Ⅱ		2				●		
	臨床工学関係法規Ⅰ				1				●
	臨床工学関係法規Ⅱ				1				●
	公衆衛生学Ⅰ				1				●
	公衆衛生学Ⅱ				1				
	分子栄養学			2					
	食品保健科学			2					
情 報 科 目	臨床工学基礎演習Ⅰ		2				○		
	臨床工学基礎演習Ⅱ			2				○	
	臨床工学演習Ⅰ				2				○
	臨床工学演習Ⅱ				2				○
	医療情報学概論	2				○			
	医療統計学		2						
	医療経済学概論			2					
	病院情報システム概説			2					
	医療情報システム演習			2					
	医療マーケティング論			2					
情 報 科 目	医用情報処理工学Ⅰ	2				●			
	医用情報処理工学Ⅱ	2				●			
	医用情報処理工学Ⅲ		2				●		
	医用情報処理工学Ⅳ		1				●		
	プログラミング入門		1				○		
	基本情報演習Ⅰ		2						

分野	科 目 名	配当年次と単位数				臨床工学技士			
		1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
情報科目	プログラミング基礎演習		2						
	ITストラテジ		2						
	ITマネジメント		2						
	Web技術基礎			2					
	システム開発基礎		2						
	ネットワークとセキュリティⅠ		2						
	ネットワークとセキュリティⅡ			2					
	情報社会論			2					
	画像処理			2					
	医療情報特別講義			2					
医工学医科目	応用数学Ⅰ	2				●			
	応用数学Ⅱ	2				●			
	電子工学Ⅰ	2				●			
	電子工学Ⅱ		2				●		
	電気工学Ⅰ	2				●			
	電気工学Ⅱ		2				●		
	臨床工学基礎実験（電子・電気）		1				●		
	機械工学		2				●		
	物性工学	2					●		
	材料工学	2				●			
	計測工学		1				●		
	医用機器学概論	1				●			
	医用治療機器学Ⅰ		2				●		
	医用治療機器学Ⅱ			2				●	
	医用治療機器学Ⅲ			1				●	
	生体計測装置学Ⅰ		2				●		
	生体計測装置学Ⅱ			2				●	
	生体計測装置学Ⅲ			1				●	
	臨床支援技術学			2				●	
	生体機能代行技術学Ⅰ		2				●		
	生体機能代行技術学Ⅱ		2				●		
	生体機能代行技術学Ⅲ			2				●	
	生体機能代行技術学Ⅳ			2				●	
	生体機能代行技術学実習Ⅰ			2				●	
	生体機能代行技術学実習Ⅱ			2				●	
演習科目	臨床実習			7				●	
	ゼミナール				2				○
	卒業論文				2				○
学部横断科目	プロジェクトトライアル			2					○
	BIとビッグデータⅠ			2					○
	BIとビッグデータⅡ			2					○

専門教育科目からの卒業に必要な単位数101単位以上

単位制度
授業
カリキュラム

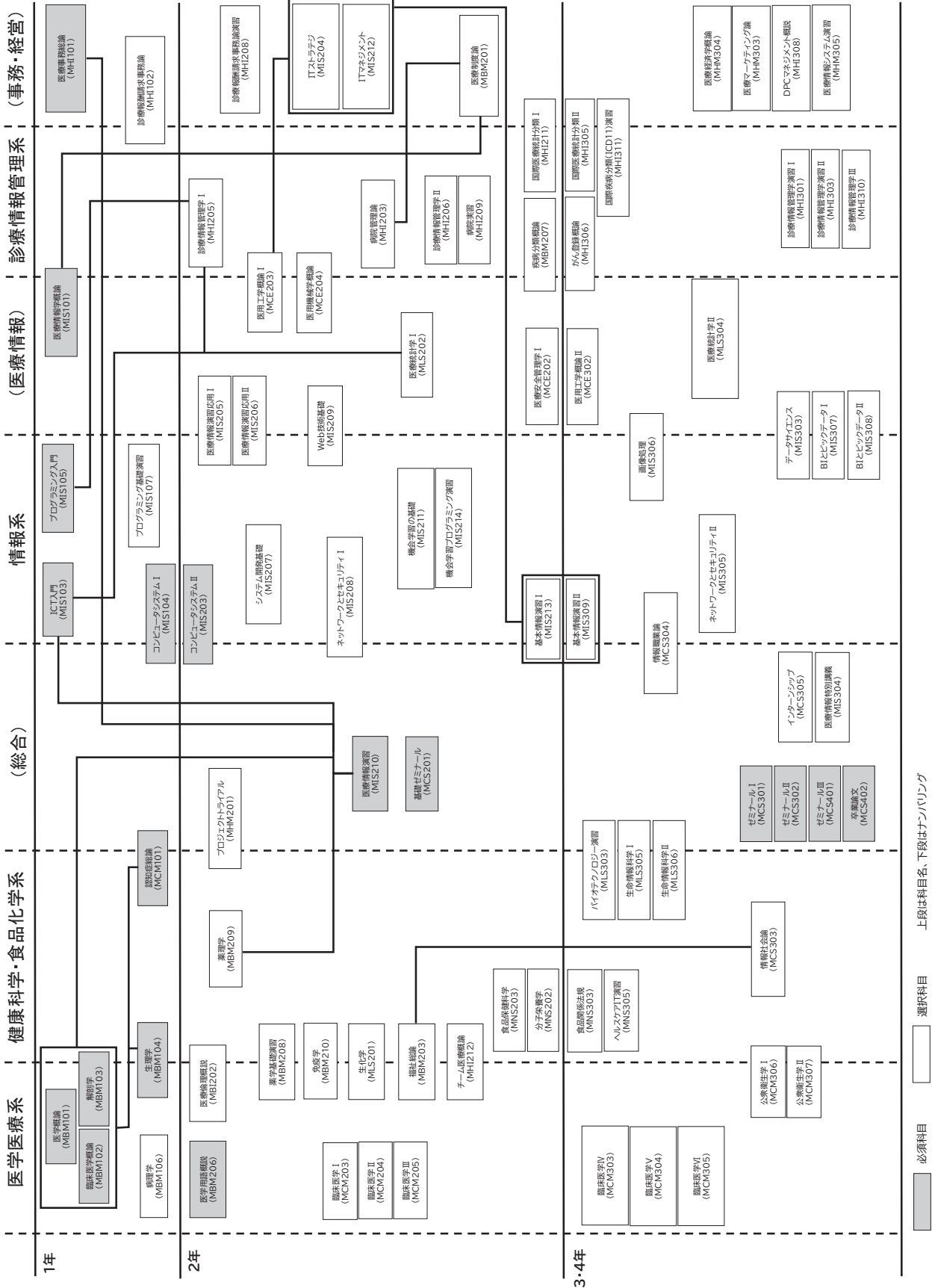
履修登録

成試験および
成績業
教職課程留その他
事項履修モデル
教育部門の
概要付各種
規程
録

単位 制度	授	業	カリ キュ ラム	履 修 登 録	成 試 験 お よ び 績 び	卒	業	教 職 課 程	留 そ 意 の 事 他 項 の	履 修 モ デ ル	教育課程 の概要	付 各 種 規 程 ・ 録
----------	---	---	----------------	------------------	--------------------------------------	---	---	------------------	--------------------------------------	-----------------------	-------------	---------------------------------

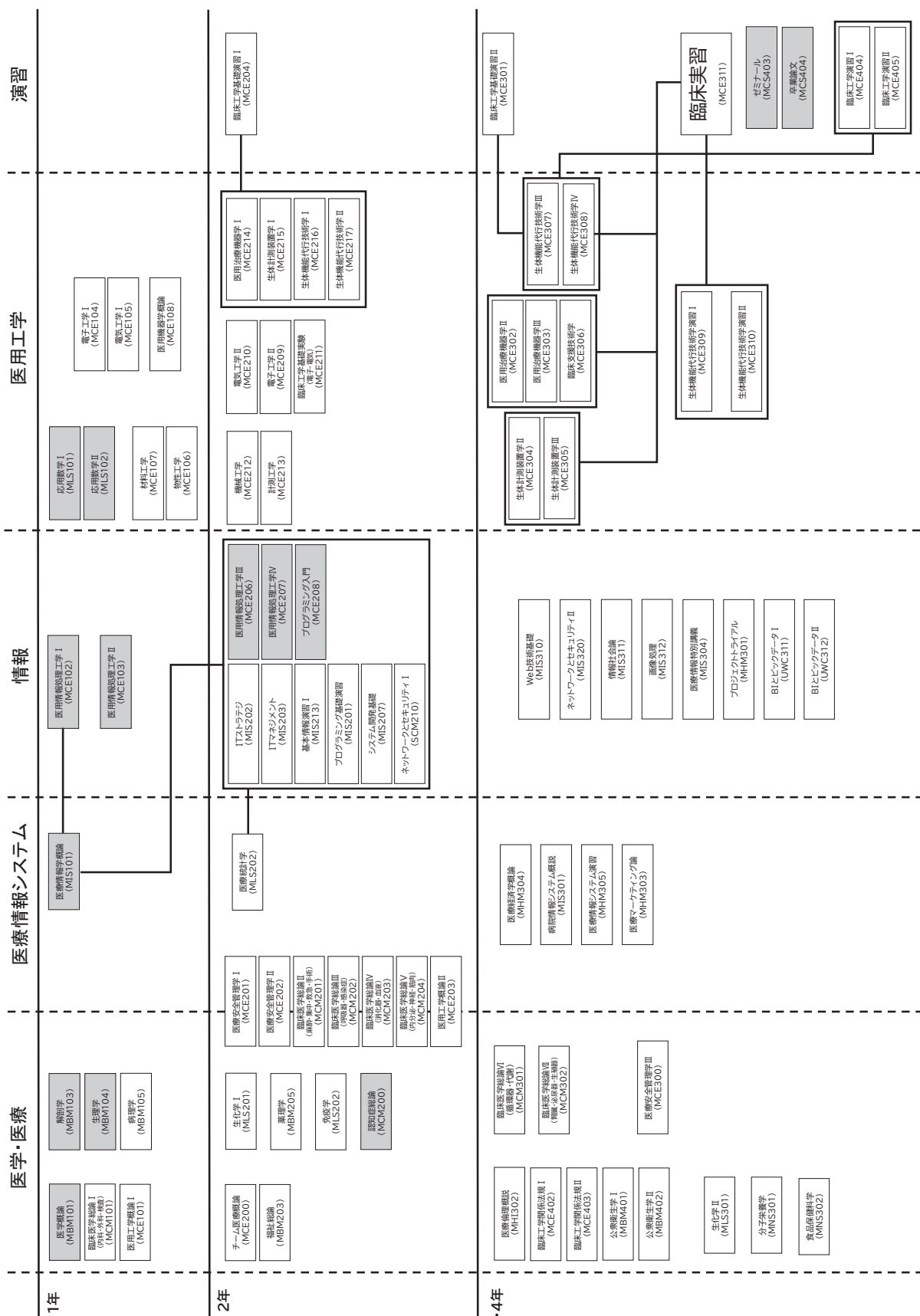
医療情報学科 医療情報専攻 専門科目履修系統図

医療情報学科 医療情報専攻 専門科目履修系統図



医療情報学科 臨床工学専攻 専門科目履修系統図

医療情報学科 臨床工学専攻 専門科目履修系統図



上段は科目名、下段はナンバリング

必修科目

選択科目

単位制度

業カリキリム

履修登録

成績および卒業

業教職課程

留その他事項

履修モデル

付各種規程

録

情報メディア学科

1. 学科の概要

現在のIT社会の基盤は、コンピュータとモバイル端末、そしてネットワークが融合したインターネットである。

インターネット上で多彩なコミュニケーションを効果的に実現するためには、情報を正確にそして安心安全にやりとりするための技術に加え、受け手にとって価値のある情報となるように、文章やイラスト、映像などの表現も重要となる。また、インターネット関連の技術分野でも、Webアプリケーション開発、Webサーバの構築、ネットワーク管理とセキュリティに関連する技術者に対するニーズが一層増加しているだけでなく、ホームページであるWebをはじめ、情報コンテンツである3DCG、アニメーション、映像、そしてユーザーの体験と技術をつなぐUI・UX、つまりメディア表現を理解したメディアエンジニアとテクノロジーを理解したメディアクリエイターの育成が必要となってきた。

情報メディア学科には、上記目的を実現するために、カリキュラムの基本的構成として、「メディアデザイン専攻」と「メディアテクノロジー専攻」が設けられている。また、専攻により認定されるコースにも違いがある。両専攻の具体的な特徴と学習目標は以下のとおりである。

【メディアデザイン専攻】

メディアデザイン専攻は、多様なデジタルコンテンツのデザインとこれらを作成する手法を学ぶ。つまり、見る人が魅力を感じ、興味を持つコンテンツを作成するアイデアと技術を身につけた人材を育成することを目標としている。

この専攻のカリキュラム構成は、将来就きたい職業あるいは学びたい専門コースに対応した履修モデルとして、下記の7コースが目安となる。

- ・映像・アニメーションコース
- ・グラフィックデザインコース
- ・イラスト・キャラクターデザインコース
- ・3DCGコース
- ・ゲームデザインコース
- ・メディアアートコース
- ・UI・UXデザインコース

【メディアテクノロジー専攻】

見る人に魅力的と感じてもらえるコンテンツを届けるためには、コンテンツの内容だけではなく仕組みも重要である。たとえば、見ている人の動きに合わせた映像の表示や、人や環境の状態を測るIoT技術を組み合わせるなどである。また、こういったコンテンツを安全・安心に使うためのセキュリティ技術も重要となる。このような仕組みをアイデアだけではなく、Webやモバイルアプリケーションなど、実際に動くものとして実現できる技術者を育成することが目標である。この専攻のカリキュラム構成は、将来就きたい職業あるいは学びたい専門コースに対応した履修モデルとして、下記の6コースが目安となる。

- ・Webサイト制作コース
- ・VR・ARコース
- ・ゲームプログラミングコース
- ・モバイルアプリケーションコース
- ・Webアプリケーションコース
- ・インターネットセキュリティコース

2. コースの認定

履修した科目に応じて、卒業時に下記の13コースの中から認定します。科目の組み合わせによって、複数のコースを認定することも可能です。専攻によっては履修できない科目があるため、認定されるコースが制限される場合があります。

●映像・アニメーションコース

ショートフィルムなどの実写映像制作技術、アニメーションの原理・技術、さらに新時代の映像制作技術と表現、考え方を学びます。

●グラフィックデザインコース

使いやすさ、見やすさを考慮した上で、ポスターなどの広告のデザイン、コンピュータを使った本のデザイン技法と考え方などを学びます。

●イラスト・キャラクターデザインコース

ゲームや映画で使われるキャラクターや、ホームページなどで使われるイラストを制作する知識と技術を学びます。

●3DCGコース

映画やゲームだけではなく、医療、建築などあらゆる分野で必要となった3DCG。その原理と作り方、魅せ方を学びます。

●ゲームデザインコース

やりたくなるゲームは技術だけでは実現できません。世界観などの技術以外の様々な要素が重要です。ゲーム制作の技術を知り、ゲームの企画方法を学びます。

●メディアアートコース

映像やグラフィック、CGなどとICT技術を組み合わせ、対話的な作品やプロジェクションマッピング等の見る人に興味と驚きを与える新しい作品制作の考え方と表現技術を学びます。

●UI・UXデザインコース

見やすい・使いやすいWebページやスマホアプリは、UI・UXがきちんとデザインされています。その考え方、モノ、コトの体験とデザインを学びます。

●Webサイト制作コース

新しい技術を取り入れたWebサイトの制作方法や、人を惹きつける斬新なWebデザインの考え方について学びます。

●VR・ARコース

VR・ARコンテンツの市場は今後拡大していくことが予想されています。VR・ARで何ができるか、その表現や考え方、仮想の世界を創り制御する技術を学びます。

●ゲームプログラミングコース

ゲームプログラムの基礎から応用まで、さらに制御技術と新しいアイデアをゲームに反映するプログラムを学びます。

●モバイルアプリケーションコース

スマートフォンや携帯端末上で動作するアプリケーションシステムを構築するために必要な知識とプログラミング技術を学びます。

単位
制
度
授業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要付
各
種
規
程
録

●Webアプリケーションコース

インターネットやLAN上で動作するアプリケーションシステムを構築するために必要な知識とプログラミング技術を学びます。

●インターネットセキュリティコース

ネットワークの設計、管理、運用、ネットワークプログラミング、さらに現在もっとも必要とされているセキュリティ技術を学びます。

3. ゼミナールⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳと卒業研究Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳの説明

3，4年を通して行われるこれらの科目は、ゼミナール教育の形式で行われる。3年に進級した4月に、全学生が情報メディア学科の専門教育を担当する教員のもとに配属される。配属人数は1教員あたり10名程度である。

3年のゼミナールⅠ，Ⅱでは、卒業研究あるいは卒業作品を完成させる上で必要となる基礎的な知識および技術を学修し、4年のゼミナールⅢ，Ⅳおよび卒業研究Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳへと継続、発展させる。完成した研究あるいは作品は、2月に行われる公開発表会の場で報告・説明する。

このように、ゼミナールⅠ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳおよび卒業研究Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳは、自分で選んだテーマについて積極的に調査、学修あるいは作品を制作し、その結果を発表するもので、大学における専門教育の根幹となるものである。したがって、この機会に是非、果敢に新しいことに挑戦し、学ぶことの楽しさを経験することを期待している。

4. 取得可能資格試験

両専攻ともに、各科目をきちんと学修し理解できれば、下記に示す資格を取得するための基礎を習得できる。

- ① CGクリエイター検定（ベーシック／エキスパート）
- ② Webデザイナー検定（ベーシック／エキスパート）
- ③ 色彩検定1級
- ④ ITパスポート試験
- ⑤ 基本情報技術者試験
- ⑥ 応用情報技術者試験
- ⑦ ネットワークスペシャリスト試験
- ⑧ LPIC試験（Linux Professional Institute Japan）（LPIC-1 / LPIC-2）
- ⑨ 情報セキュリティマネジメント試験

なお、指定した資格を取得した学生は、あらかじめ指定した科目の単位を取ることができる。指定した資格と免除される科目はガイダンスのときに説明する。

5. プレゼンテーション能力の育成

自分の考え、学修してきたこと、制作した作品について、第三者に分かりやすく伝えることの重要性は一層増してきている。本学科ではこのことに対処するために、1年のビギナーズセミナーⅠ，Ⅱ，2年以降のプロジェクト系科目，3，4年のゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ，卒業研究Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳの4年間を通してプレゼンテーションの仕方を訓練し、その能力を向上させる。

情報メディア学科 人材像とコンピテンシー

学科名	情報メディア学科 メディアデザイン専攻
①人材像	
(a)	自らの目標を持ち、生涯にわたりその実現のために行動できる人材 対応コンピテンシー A, C, G
(b)	ICTを積極的に活用し、デジタルコンテンツを制作できる人材 対応コンピテンシー B, E
(c)	ひとつの専門技術を持ち、多くの周辺技術を理解できる人材 対応コンピテンシー D, E
(d)	ビジネス、デジタルコンテンツ等の発想力、企画力、計画力、実行力、評価力を備える人材 対応コンピテンシー B, E, F
(e)	高度なコミュニケーション能力を備え、チームワークを得意とする人材 対応コンピテンシー C, G
(f)	社会、文化、倫理的な側面を理解し、行動できる人材 対応コンピテンシー F
②コンピテンシー	
A	創造力・企画力・計画力・実行力を備えるコンピテンシー
A-1	コンテンツをアイデアから発想し、企画としてまとめられる。
A-2	コンテンツをつくるためのプロセスを理解し、スケジュールリングできる。
A-3	コンテンツ制作にあたり、進捗を計りながら、最後まで作り上げることができる。
B	問題解決のためのデザイン提案力を持つコンピテンシー
B-1	ある事象を論理的に分析し、問題点を明確にできる。
B-2	ICTを活用し、問題解決に必要な情報を収集し、取捨選択できる。
B-3	問題解決のために複数の解決策を考案でき、最適な解決策を提案できる。
C	高度なコミュニケーション能力を備えるコンピテンシー
C-1	自分のアイデア・企画を他者に明快に説明できる。
C-2	他者のアイデア・意見を理解し、建設的に討論できる。
C-3	ICTを活用し、企画や成果物をプレゼンテーションできる。
C-4	国際的なコミュニケーションができる基礎的英語力をもつ。
D	専門技術をもち、実践的に活用できるコンピテンシー
D-1	制作に関する基礎的な知識と制作スキルをもつ。
D-2	主となる専門分野を持ち、その技術を用いてコンテンツを制作できる。
D-3	制作分野において最適なハードウェア、ソフトウェアを選択し、活用できる。
D-4	画像、映像、音声、文章をもちいた統合的なコンテンツを個人またはチームで制作できる。
D-5	制作したコンテンツをビジネス的な視点でプロデュースできる。
E	ICTをコンテンツ制作に活用できるコンピテンシー
E-1	ICTの原理を理解し、制作技術を工学的に説明できる。
E-2	広くICTに関する基礎知識を持ち、制作に組み合わせることができる。
E-3	コンテンツ制作に関する最先端の情報を説明できると共にその可能性について意見を持てる。
F	社会、文化、倫理的な側面を理解し、行動できるコンピテンシー
F-1	日本、あるいは国際社会における歴史的背景、文化的価値観を理解できる。
F-2	コンテンツ制作やICTが社会、自然、文化に与える影響を理解し、ICTクリエイティブ人材としての倫理観をもつ。
G	チームワークを得意とするコンピテンシー
G-1	目的達成のためにチームに積極的に参加し、互いに協力することができる。
G-2	リーダーシップを発揮し、ヒト・モノ・時間をマネジメントできる。
G-3	チーム内で役割を分担し、それぞれの責務をまっとうできる。
G-4	問題が起きた場合でも前向きに問題解決にあたり、相互に協調できる。

単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要付
各
種
規
程
録

情報メディア学部

情報メディア学科（2023年度入学生～）

単位
制度
授

業
カリ
キュ
ラム

履
修
登
録

成
試
験
お
よ
び
績

卒

業
教
職
課
程

留
意
の
事
他
項

履
修
モ
デ
ル

付
各
種
規
程
録

学科名	情報メディア学科 メディアテクノロジー専攻
①人材像	
(a)	自らの目標を持ち、生涯にわたりその実現のために行動できる人材 対応コンピテンシー A, E
(b)	映像、動画像、音声などのデジタルコンテンツを処理できる人材 対応コンピテンシー A, B, C, E
(c)	IoT（モノのインターネット）やゲームプログラムの開発に従事できる人材 対応コンピテンシー A, B, C, E
(d)	ウェブアプリケーションやモバイルシステムを開発できる人材 対応コンピテンシー A, B, D, E
(e)	ネットワークの構築、運営、管理、セキュリティに代表されるインターネット基盤技術を修得した人材 対応コンピテンシー A, B, D, E
②コンピテンシー	
A	変化するICT社会を生きる市民としてのコンピテンシー
A-1	コンピュータシステム（ハードウェア、基本ソフトウェア）について理解し、基本的な動作原理を説明できる。
A-2	コンピュータシステム（ハードウェア、基本ソフトウェア）を活用するための基本操作ができる。
B	システムエンジニア、プログラマーとしてのコンピテンシー
B-1	問題をモデル化し、数理的、図形的な取扱ができる。
B-2	問題解決のプロセスをプログラム化（設計）することができる。
B-3	問題解決のための必要な手段として適切なツールを選択、駆使できる。
B-4	問題解決のための必要な手段として適切なハードウェアを選択、駆使できる。
B-5	問題解決のための必要な手段として適切なアプリケーションを選択、駆使できる。
C	各種メディア処理に関わる技術者としてのコンピテンシー
C-1	画像データに対する処理（加工、配信、蓄積）技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-2	2DCG、3DCGデータに対する処理（加工、配信、蓄積）技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-3	音声データに対する処理（加工、配信、蓄積）技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-4	映像データに対する処理（加工、配信、蓄積）技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-5	コンピュータの様々な機能（グラフィックスやサウンド）を組み合わせ活用するソフトウェアを作成できる。
D	Web、ネットワーク系技術者としてのコンピテンシー
D-1	ネットワーク通信機能を備えたソフトウェアを作成できる。
D-2	小規模オフィスにLAN環境を構築できる。
D-3	セキュリティを考慮したWebサイトを構築できる。
E	実践的な技術者としてのコンピテンシー
E-1	共同作業を通して、適正なコミュニケーションを行える。
E-2	ICTを有効に活用しながら、効果的なプレゼンテーションを行える。
E-3	進化する情報技術に関心を持って学習し、その特性を説明できると共に、その可能性について意見を持てる。
E-4	情報技術や情報処理技術者の役割を理解し、進化する情報社会に参画するために実践力を高めようとする意欲を持てる。
E-5	情報技術者倫理の意義を説明できると共に、それに則った行動をとることができる。

情報メディア学科
コンピテンシー 科目関連マップ（専門教育）
メディアデザイン専攻 コンピテンシー一覧

記号	コンピテンシー
A	創造力・企画力・計画力・実行力を備えるコンピテンシー
A-1	コンテンツをアイディアから発想し、企画としてまとめられる。
A-2	コンテンツをつくるためのプロセスを理解し、スケジューリングできる。
A-3	コンテンツ制作にあたり、進捗を計りながら、最後まで作り上げることができる。
B	問題解決のためのデザイン提案力を持つコンピテンシー
B-1	ある事象を論理的に分析し、問題点を明確にできる。
B-2	ICTを活用し、問題解決に必要な情報を収集し、取捨選択できる。
B-3	問題解決のために複数の解決策を考案でき、最適な解決策を提案できる。
C	高度なコミュニケーション能力を備えるコンピテンシー
C-1	自分のアイディア・企画を他者に明快に説明できる。
C-2	他者のアイディア・意見を理解し、建設的に討論できる。
C-3	ICTを活用し、企画や成果物をプレゼンテーションできる。
C-4	国際的なコミュニケーションができる基礎的英語力をもつ。
D	専門技術をもち、実践的に活用できるコンピテンシー
D-1	制作に関する基礎的な知識と制作スキルをもつ。
D-2	主となる専門分野を持ち、その技術を用いてコンテンツを制作できる。
D-3	制作分野において最適なハードウェア、ソフトウェアを選択し、活用できる。
D-4	画像、映像、音声、文章をもちいた統合的なコンテンツを個人またはチームで制作できる。
D-5	制作したコンテンツをビジネス的な視点でプロデュースできる。
E	ICTをコンテンツ制作に活用できるコンピテンシー
E-1	ICTの原理を理解し、制作技術を工学的に説明できる。
E-2	広くICTに関する基礎知識を持ち、制作に組み合わせることができる。
E-3	コンテンツ制作に関する最先端の情報を説明できると共にその可能性について意見を持てる。
F	社会、文化、倫理的な側面を理解し、行動できるコンピテンシー
F-1	日本、あるいは国際社会における歴史的背景、文化的価値観を理解できる。
F-2	コンテンツ制作やICTが社会、自然、文化に与える影響を理解し、ICTクリエイティブ人材としての倫理観をもつ。
G	チームワークを得意とするコンピテンシー
G-1	目的達成のためにチームに積極的に参加し、互いに協力することができる。
G-2	リーダーシップを発揮し、ヒト・モノ・時間をマネジメントできる。
G-3	チーム内で役割を分担し、それぞれの責務をまっとうできる。
G-4	問題が起きた場合でも前向きに問題解決にあたり、相互に協調できる。

単位制度

業カリキ

履修登録

成試験および

卒

業教職課程

留そ意の事他項の

履修モデル

付各種規程録

単位制度	授	業	カリキュラム	履修登録	成績	卒業	業	教職課程	留	その他	履修モデル	付	各種	規程	録
					試験および				その	事項の	教育課程の概要	各種規程			

メディアデザイン専攻 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と科目との関連マップ及びコンピテンシーマップ

科目名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー																備考									
	①	②	③	④	⑤	⑥	A				B				C				D					E	F	G						
							A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5	E-1				E-2	E-3	F-1	F-2	G-1	G-2	G-3
共通基礎科目	情報メディア入門Ⅰ	○	○	○	○						○	○	○	○							○											
	情報メディア入門Ⅱ	○	○	○	○						○	○	○	○								○										
	情報メディア入門Ⅲ	○	○	○	○						○	○	○	○								○										
	情報メディア入門Ⅳ	○	○	○	○						○	○	○	○								○										
	情報メディア学Ⅰ	○	○	○	○						○	○	○	○								○										
	情報メディア学Ⅱ	○	○	○	○						○	○	○	○								○										
	情報メディア学Ⅲ	○	○	○	○						○	○	○	○								○										
	情報メディア学Ⅳ	○	○	○	○						○	○	○	○								○										
	発想法演習	○	○	○	○						○	○	○	○														○	○			
	ICT入門		○				○									○	○					○										
情報メディアの数学Ⅰ		○													○	○					○											
デザイン系基礎科目	芸術論			○																								○	○			
	芸術演習	○	○											○	○																	
	デザインプログラミング演習		○													○																
	情報メディア特別演習Ⅰ		○				○															○	○	○								
	経営系科目A		○																			○	○									
	経営系科目B		○																				○									
	経営系科目C		○																				○									
	経営系科目D		○																					○								
	Webデザイン基礎演習		○													○																
	デッサン	○	○											○	○																	
テクノロジー系基礎科目	メディアデザインの基礎演習	○	○		○					○	○	○	○	○																		
	デザインエレメンツ・演習		○																													
	図形科学の基礎		○																									○				
	特別実習B	○	○							○	○																					
	HTMLコーディング演習	○	○										○																			
	メディア技術演習		○							○	○																					
	コンピュータ		○																									○				
	プログラミング演習Ⅰ		○																													
	プログラミング演習Ⅱ		○																													
	IoT時代のセキュリティ		○		○						○	○	○	○															○			
共通応用科目	情報メディアの数学Ⅱ		○																													
	特別実習A	○	○		○								○	○																		
	ゼミナールⅠ	○	○	○	○	○																					○	○				
	ゼミナールⅡ	○	○	○	○	○																					○	○				
	ゼミナールⅢ	○	○	○	○	○																					○	○				
	ゼミナールⅣ	○	○	○	○	○																					○	○				
	情報システム特別講義	○	○		○																							○				
	メディアデザイン特別講義	○	○	○	○	○																					○					
	行動とデザイン		○				○																				○					
	メディアプログラミング演習		○													○																
Webプログラミング演習		○													○																	
インターンシップ	○	○	○	○	○																						○	○				
CGプログラミング		○																										○	○			

2023年度履修のガイド
ー2023年度入学生（1年生）対象ー

情報メディア学科
コンピテンシー 科目関連マップ（専門教育）
メディアテクノロジー専攻 コンピテンシー一覧

記号	コンピテンシー
A	変化するICT社会を生きる市民としてのコンピテンシー
A-1	コンピュータシステム（ハードウェア，基本ソフトウェア）について理解し，基本的な動作原理を説明できる。
A-2	コンピュータシステム（ハードウェア，基本ソフトウェア）を活用するための基本操作ができる。
B	システムエンジニア、プログラマーとしてのコンピテンシー
B-1	問題をモデル化し，数理的，図形的な取扱ができる。
B-2	問題解決のプロセスをプログラム化（設計）することができる。
B-3	問題解決のための必要な手段として適切なツールを選択，駆使できる。
B-4	問題解決のための必要な手段として適切なハードウェアを選択，駆使できる。
B-5	問題解決のための必要な手段として適切なアプリケーションを選択，駆使できる。
C	各種メディア処理に関わる技術者としてのコンピテンシー
C-1	画像データに対する処理（加工，配信，蓄積）技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-2	2DCG，3DCGデータに対する処理（加工，配信，蓄積）技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-3	音声データに対する処理（加工，配信，蓄積）技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-4	映像データに対する処理（加工，配信，蓄積）技術を活用するソフトウェアを開発できる。
C-5	コンピュータの様々な機能（グラフィックスやサウンド）を組み合わせ活用するソフトウェアを作成できる。
D	Web、ネットワーク系技術者としてのコンピテンシー
D-1	ネットワーク通信機能を備えたソフトウェアを作成できる。
D-2	小規模オフィスにLAN環境を構築できる。
D-3	セキュリティを考慮したWebサイトを構築できる。
E	実践的な技術者としてのコンピテンシー
E-1	共同作業を通して，適正なコミュニケーションを行える。
E-2	ICTを有効に活用しながら，効果的なプレゼンテーションを行える。
E-3	進化する情報技術に関心を持って学習し，その特性を説明できると共に，その可能性について意見を持てる。
E-4	情報技術や情報処理技術者の役割を理解し，進化する情報社会に参画するために実践力を高めようとする意欲を持てる。
E-5	情報技術者倫理の意義を説明できると共に，それに則った行動をとることができる。

単位
制度
授

業
カリ
キュ
ラム

履
修
登
録

試験
およ
び
成績
評価

業
教
職
課
程

留
意
の
事
項
の
項

学部
履修
モ
デル
の
概
要

付
各
種
規
程
録

単位制度	授	業	カリキュラム	履修登録	成績	試験および	卒業	業	教職課程	留	その他	項の	履修モデル	教育課程	付	各種	規程	録
------	---	---	--------	------	----	-------	----	---	------	---	-----	----	-------	------	---	----	----	---

メディアテクノロジー専攻 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と科目との関連マップ及びコンピテンシーマップ

科目名	卒業認定・学位授与の方針と科目との関連						コンピテンシー										備考																
	①	②	③	④	⑤	⑥	A					B						C					D					E					
							A-1	A-2	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	C-1	C-2	C-3		C-4	C-5	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	E-3	E-4	E-5						
共通基礎科目	情報メディア入門Ⅰ	○						○	○																								
	情報メディア入門Ⅱ	○	○					○	○																								
	情報メディア入門Ⅲ	○	○					○	○																								
	情報メディア入門Ⅳ	○	○					○	○																								
	情報メディア学Ⅰ	○	○					○	○																								
	情報メディア学Ⅱ	○	○					○	○																								
	情報メディア学Ⅲ	○	○					○	○																								
	情報メディア学Ⅳ	○	○					○	○																								
	発想法演習		○						○																								
	ICT入門		○					○	○																								
	情報メディアの数学Ⅰ	○	○					○	○																								
芸術論	○																																
芸術演習	○																																
デザインプログラミング演習		○						○	○																								
情報メディア特別演習Ⅰ		○						○	○																								
経営系科目A		○																															
経営系科目B		○																															
経営系科目C		○																															
経営系科目D		○																															
デザイン基礎科目系	Webデザイン基礎演習		○					○	○																								
	デザイン		○						○																								
	メディアデザインの基礎演習	○	○					○	○																								
	デザインエレメンツ・演習	○	○					○	○																								
	図形科学の基礎	○	○					○	○																								
	特別実習B	○	○					○	○																								
	HTMLコーディング演習	○	○					○	○																								
	メディア技術演習		○					○	○																								
	コンピュータ		○					○	○																								
	プログラミング演習Ⅰ		○					○	○																								
プログラミング演習Ⅱ		○					○	○																									
テクノロジー基礎科目系	IoT時代のセキュリティ		○						○																								
	情報メディアの数学Ⅱ		○						○																								
	特別実習A	○	○					○	○																								
	ゼミナールⅠ	○	○					○	○																								
	ゼミナールⅡ	○	○					○	○																								
	ゼミナールⅢ	○	○					○	○																								
	ゼミナールⅣ	○	○					○	○																								
	情報システム特別講義	○	○																														
	メディアデザイン特別講義	○	○																														
	行動とデザイン		○																														
共通応用科目	メディアプログラミング演習		○						○																								
	Webプログラミング演習		○						○																								
	インターンシップ	○	○																														
	CGプログラミング		○						○																								
	e-ラーニング	○	○						○																								

単位制度	業 カリキュラム
授	履修登録
	試験および成績
	卒業
	業 教職課程
	その他の事項の留意
	学部・学科の概要
	履修モデル
	各種規程・付録

情報メディア学科 専攻別・コース別履修推奨科目

メディアデザイン専攻 コース別履修推奨科目

科目区分	授業科目の名称	授業を 行年	単位 数	必修 選択	映像・アニメーション	グラフィックデザイン	イラスト・キャラクターデザイン	3DCG	ゲームデザイン	メディアアート	UI/UX
共通基礎科目	情報メディア入門Ⅰ	1	2		必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	情報メディア入門Ⅱ	1	2		必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	情報メディア入門Ⅲ	1	2		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	情報メディア入門Ⅳ	2	2		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	情報メディア学Ⅰ	2	1		必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	情報メディア学Ⅱ	2	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	情報メディア学Ⅲ	2	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	情報メディア学Ⅳ	2	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	発想法演習	2	2		○	○	○	○	◎	○	○
	ICT入門	1	2		○	○	○	○	○	○	○
	情報メディアの数学Ⅰ	2	2		○	○	○	○	○	○	○
	芸術論	1	2		○					○	
	芸術演習	2	2								
	デザインプログラミング演習	2	2					◎		◎	
	情報メディア特別演習Ⅰ	3	2								
	経営系科目A	3	2								
	経営系科目B	3	2								
	経営系科目C	3・4	2								
	経営系科目D	3・4	2								
デザイン系基礎科目	Webデザイン基礎演習	1	2		○	◎	○	○		○	◎
	デッサン	1	4		○	○	○	○		○	○
	メディアデザインの基礎演習	1	2		○	◎	◎	○		○	○
	デザインエレメンツ・演習	1	4		○	◎	◎	○		○	○
	図形科学の基礎	2	4				○	◎		◎	
	特別実習B	2	2				○	○			
テクノロジー系基礎科目	HTMLコーディング演習	1	2			○		○		○	○
	メディア技術演習	1	2					○	○	◎	○
	コンピュータ	1	2							○	○
	プログラミング演習Ⅰ	1	2							◎	○
	プログラミング演習Ⅱ	2	2							○	○
	IoT時代のセキュリティ	2	2							○	○
	情報メディアの数学Ⅱ	2	2								
	特別実習A	2	2								
共通応用科目	ゼミナールⅠ	3	2		必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	ゼミナールⅡ	3	2		必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	ゼミナールⅢ	4	2		必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	ゼミナールⅣ	4	2		必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	情報システム特別講義	2	2								
	メディアデザイン特別講義	2	2		○	○	○	○	◎	○	○
	行動とデザイン	2	2			○			◎	◎	◎
	メディアプログラミング演習	2	4							◎	
	Webプログラミング演習	2	4								○
	インターンシップ	3	2								○
	CGプログラミング	3	2				○	◎		○	
	e-ラーニング	3	2						○		
	デザインシンキング	3	2			○	○	○	◎	◎	◎
	セキュリティマネジメント	3	2								
	情報メディア特別演習Ⅱ	3	2								
	情報メディア特別ゼミナールⅠ	3	2								

科目区分	授業科目の名称	授業 年次	単位 数	必修	選択	映像・アニメーション	グラフィックデザイン	イラスト・キャラクターデザイン	3DCG	ゲームデザイン	メディアアート	UI/UX
共通応用科目	情報メディア特別ゼミナールⅡ	4	2									
	卒業研究Ⅰ	4	2	○		○	○	○	○	○	○	○
	卒業研究Ⅱ	4	2	○		○	○	○	○	○	○	○
	卒業研究Ⅲ	4	2	○		○	○	○	○	○	○	○
	卒業研究Ⅳ	4	2	○		○	○	○	○	○	○	○
デザイン系 応用科目	ビジュアル構成・演習	2	4				◎	◎			○	○
	色彩・デザイン演習	2	4	○		◎	◎	◎	○		○	○
	Web制作演習	2	4	○		○	○	○			○	◎
	3DCG演習	2	4						◎		○	
	ゲームCG演習	2	2					◎	◎	◎		
	映画基礎演習	2	4	◎								
	アニメーション基礎演習	2	4	◎					○		○	
	デジタルサウンド	2	2	○							◎	
	ビジュアルエフェクト演習	2	2	◎					◎		○	
	デジタルサウンド・演習	2	4	○							◎	
	DTP	3	2				◎	○				
テクノロジー系 応用科目	クリエイティブ・マネジメント	3	2	○		○	○	○	○	○	○	◎
	システム情報系科目A	2	4									
	システム情報系科目B	2	4									
	コンピュータゲーム開発論	2	2					○		○		
	SQL入門	2	2									○
	インターネットの仕組み	2	2									
	モバイルアプリ演習	2	4									○
	ゲームプログラミング・演習	2	4							○		
	ゲーム制作演習	3	2						○	◎		
	ゲーム開発の最新動向	3	2							◎		
	音声情報処理	3	2									
	画像情報処理	2	2									
	インターネットセキュリティの技術	3	2									
	Linux演習	3	2								○	
プロジェクト系 科目	コース 関連	映像制作プロジェクト	2	4	◎				○			
		グラフィック制作プロジェクト	2	4		◎	◎					
		Web制作プロジェクト	2	4		○						◎
		メディアアート制作プロジェクト	3	4					○		◎	
		ゲーム制作プロジェクト	3	4			◎	○	◎			
		アプリ制作プロジェクト	3	4								○
	共通	プロジェクトトライアルⅠ	2	2	○	○	○	○	○	○	○	○
		プロジェクトトライアルⅡ	3	2	○	○	○	○	○	○	○	○
		地域貢献プロジェクト	3	2								
		ステップアッププロジェクトⅡ	3	2								
		ステップアッププロジェクトⅢ	4	2								
学部横断科目	BIとビッグデータⅠ		3	2								
	BIとビッグデータⅡ		3	2								
	ステップアッププロジェクトⅠ		3	2	○	○	○	○	○	○	○	○

○：各コースで履修することが望ましい科目

◎：各コースで積極的に履修して欲しい科目

単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び
績
び業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要付
各
種
規
程
録

情報メディア学科 専攻別・コース別履修推奨科目

メディアテクノロジー専攻 コース別履修推奨科目

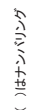
科目区分	授業科目の名称	授業を 行年	単位数 必修 選択	Web サイト 制作	VR・AR	ゲーム プログラミング	モバイル アプリケーション	Webアプリ ケーション	インター ネット セキュリティ
共通基礎科目	情報メディア入門Ⅰ	1	2	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	情報メディア入門Ⅱ	1	2	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	情報メディア入門Ⅲ	1	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	情報メディア入門Ⅳ	2	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	情報メディア学Ⅰ	2	1	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	情報メディア学Ⅱ	2	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	情報メディア学Ⅲ	2	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	情報メディア学Ⅳ	2	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	発想法演習	2	2	○	○	○	○	○	○
	ICT入門	1	2	○	○	○	○	○	○
	情報メディアの数学Ⅰ	2	2	○	○	○	○	○	○
	芸術論	1	2						
	芸術演習	2	2						
	デザインプログラミング演習	2	2	○	◎	○	○	○	
	情報メディア特別演習Ⅰ	3	2						
	経営系科目A	3	2						
	経営系科目B	3	2						
デザイン系 基礎科目	経営系科目C	3・4	2						
	経営系科目D	3・4	2						
	Webデザイン基礎演習	1	2	◎	○	○	○	○	○
	デッサン	1	4						
	メディアデザインの基礎演習	1	2						
	デザインエレメンツ・演習	1	4		○	○	○	○	○
テクノロジー系 基礎科目	図形科学の基礎	2	4						
	特別実習B	2	2						
	HTMLコーディング演習	1	2	◎	○	○	◎	◎	◎
	メディア技術演習	1	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	コンピュータ	1	2	○	◎	◎	◎	◎	◎
	プログラミング演習Ⅰ	1	2		◎	◎	◎	◎	◎
	プログラミング演習Ⅱ	2	2		○	○	○	○	○
	IoT時代のセキュリティ	2	2	○	○	○	○	○	◎
共通応用科目	情報メディアの数学Ⅱ	2	2					○	◎
	特別実習A	2	2				○		
	ゼミナールⅠ	3	2	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	ゼミナールⅡ	3	2	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	ゼミナールⅢ	4	2	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	ゼミナールⅣ	4	2	必修	必修	必修	必修	必修	必修
	情報システム特別講義	2	2					○	○
	メディアデザイン特別講義	2	2	○	○	○	○		
	行動とデザイン	2	2	○	○	○	○		
	メディアプログラミング演習	2	4		◎				
	Webプログラミング演習	2	4	○		○	○	◎	○
	インターンシップ	3	2	○	○	○	○	○	○
	CGプログラミング	3	2		◎	○			
	e-ラーニング	3	2	○					
	デザインシンキング	3	2	○					
	セキュリティマネジメント	3	2	◎			○	○	◎
	情報メディア特別演習Ⅱ	3	2						

科目区分	授業科目の名称	授業を 行年次	単位数		Web サイト 制作	VR・AR	ゲーム プログラミング	モバイル アプリケーション	Webアプリ ケーション	インター ネット セキュリティ
			必修	選択						
共通応用科目	情報メディア特別ゼミナールⅠ	3		2						
	情報メディア特別ゼミナールⅡ	4		2						
	卒業研究Ⅰ	4		2	○	○	○	○	○	○
	卒業研究Ⅱ	4		2	○	○	○	○	○	○
	卒業研究Ⅲ	4		2	○	○	○	○	○	○
	卒業研究Ⅳ	4		2	○	○	○	○	○	○
デザイン系 応用科目	ビジュアル構成・演習	2		4						
	色彩・デザイン演習	2		4	○					
	Web制作演習	2		4	○					
	3DCG演習	2		4		○				
	ゲームCG演習	2		2			○			
	映画基礎演習	2		4						
	アニメーション基礎演習	2		4						
	デジタルサウンド	2		2		○	○			
	ビジュアルエフェクト演習	2		2						
	デジタルサウンド・演習	2		4		○	○		○	
	DTP	3		2						
テクノロジー系 応用科目	クリエイティブ・マネージメント	3		2	○	○	○	○		
	システム情報系科目A	2		4					○	
	システム情報系科目B	2		4					○	
	コンピュータゲーム開発論	2		2			◎	○		
	SQL入門	2		2	◎			◎	◎	○
	インターネットの仕組み	2		2	○		○	○	○	◎
	モバイルアプリ演習	2		4				◎	○	
	ゲームプログラミング・演習	2		4			◎			
	ゲーム制作演習	3		2			◎			
	ゲーム開発の最新動向	3		2			◎			
	音声情報処理	3		2		○	○			
	画像情報処理	2		2		○	○			
	ソフトウェアデザイン	3		2			○	○	○	
	Webアプリケーション開発演習Ⅰ	3		4					◎	
	Webアプリケーション開発演習Ⅱ	4		4					◎	
プロジェクト系 科目	インターネットセキュリティの技術	3		2	○			○	○	◎
	Linux演習	3		2	◎			○	○	◎
	Web制作プロジェクト	2		4	◎					
	メディアアート制作プロジェクト	3		4		○				
	ゲーム制作プロジェクト	3		4		◎	◎			
	アプリ制作プロジェクト	3		4		◎	○	◎	○	
	ネットワーク演習	3		4	○	○	○	○	○	◎
	プロジェクトトライアルⅠ	2		2	○	○	○	○	○	○
	プロジェクトトライアルⅡ	3		2	○	○	○	○	○	○
学部横断科目	地域貢献プロジェクト	3		2						
	ステップアッププロジェクトⅡ	3		2						
	ステップアッププロジェクトⅢ	4		2						
	BIとビッグデータⅠ	3		2						
	BIとビッグデータⅡ	3		2						
学部横断科目	ステップアッププロジェクトⅠ	3		2	○	○	○	○	○	○

○：各コースで履修することが望ましい科目

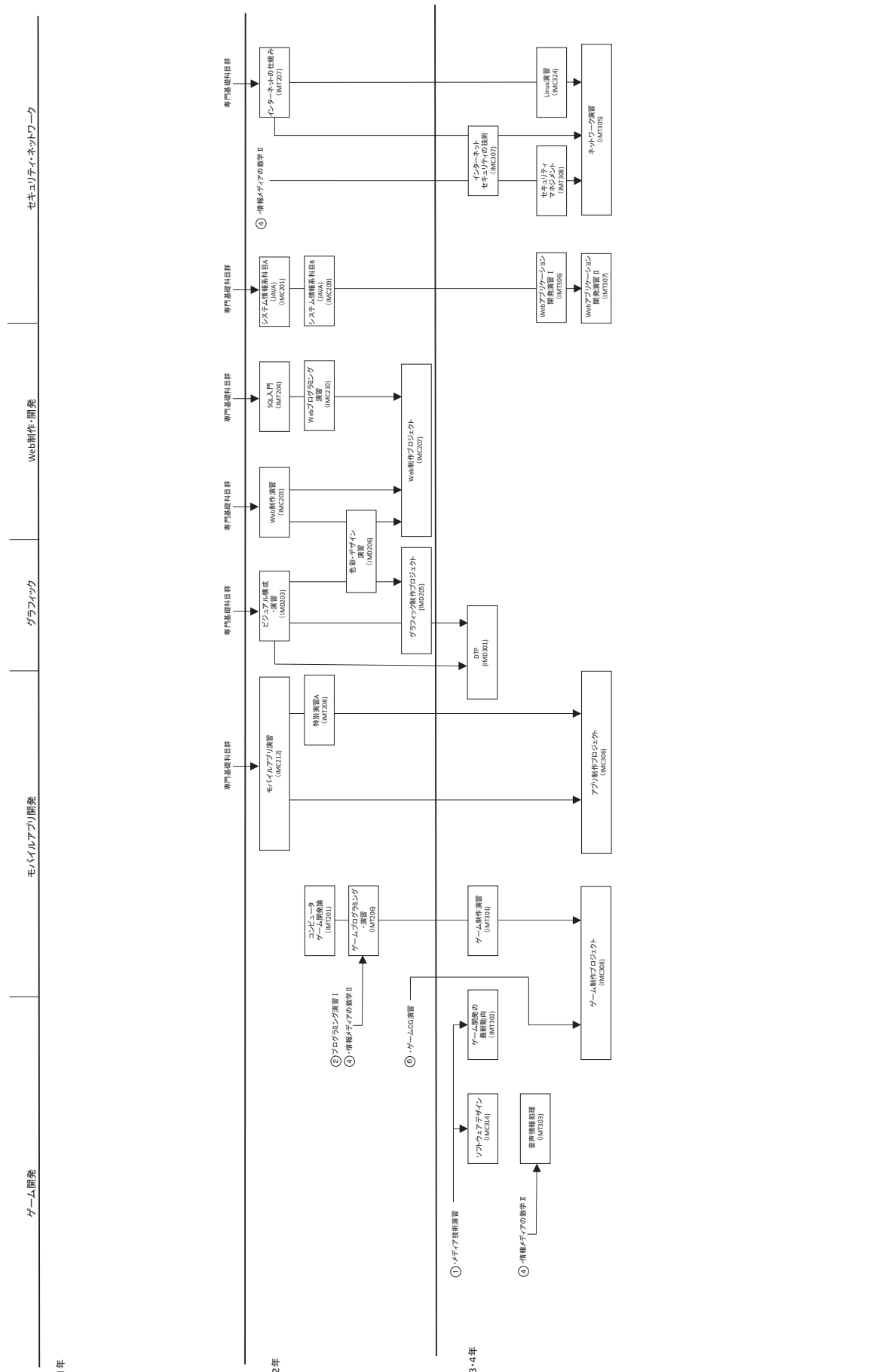
◎：各コースで積極的に履修して欲しい科目

単位
制度
授
業
カリ
キュ
ラム
履
修
登
録
成
試
験
お
よ
び
卒
業
教
職
課
程
留
意
の
事
項
の
履
修
モ
デ
ル
付
各
種
規
程
録

四
十

1

情報メディア情報学科 専門科目履修系統図



()はナンバリング

必修科目 : 選択科目

各種規程
付録

各種規程・付録

- ・ 履修規程
- ・ 授業科目一覧表
- ・ 卒業に必要な履修科目と修得単位
- ・ ナンバリングのルール

北海道情報大学履修規程

(目 的)

第1条 この規程は、学校法人電子開発学園北海道情報大学学則（以下「学則」という。）に定めるもののほか、北海道情報大学（以下「本学」という。）における履修に関する事項を定めることを目的とする。

(授業科目及び単位数等)

第2条 授業科目、年次配当、単位数及び必修・選択科目の別並びに卒業に必要な単位数は、学則第8条に規定するものとする。

(授業科目の履修)

第3条 学生は、前学期に当該年度に履修しようとしている授業科目を1年分選択し、本学が指定する期間内に届け出なければならない。ただし、後学期にのみ開講する授業科目については、後学期の指定期間内に履修の追加、変更又は取消をすることができる。

2 前項の規定にかかわらず、前学期を休学し後学期に復学する者及び前学期末卒業を予定していたが卒業要件を満たすことができなかった者は、後学期に履修の届け出をすることができる。

3 履修できる授業科目は、開設する年度の年次配当及び学期によるものとし、上位年次に配当された授業科目の履修は原則認めない。

4 各年次における年間履修登録単位数の上限（以下「CAP」という。）は、別表第1によるものとする。ただし、前年度成績優秀者においては、別表第1のとおりCAPを緩和する。

5 既に単位を修得した授業科目は、履修することはできない。

6 履修の前提となる特別の条件が設定されている授業科目については、それを満たさない場合、履修できないことがある。

7 授業科目担当者は、教室等の収容人数を超える履修者がいる場合については、当該授業科目の履修者数を制限することができる。

8 履修登録した授業科目の履修を取りやめる場合は、指定の期間内に履修取消の手続をしなければならない。

9 履修登録不備等により変更が必要な場合は、指定の期間内に変更しなければならない。

(教育職員免許状授与の所要資格取得のための履修)

第4条 教育職員免許状授与の所要資格を得させるための課程（以下「教職課程」という。）の授業科目は、教育職員の免許状授与の所要資格を得ようとする者のみが履修することができる。

2 教職課程の履修すべき授業科目及び単位数については、別に定める。

(外国人留学生用科目の履修)

第5条 外国人留学生用科目は、外国人留学生のみが履修することができる。

(授業時間)

第6条 授業時間数は、90分間の授業時間をもって1時限とし、単位の計算上は2時間の学修を行ったものとする。

2 授業時間は、別表第2のとおりとする。

(授業の休講)

第7条 次の各号のいずれかに該当する場合は、授業を休講とし、休講に対する振替授業については、別に定める。

- (1) 授業科目担当者が事前に告知したとき。
- (2) 授業開始時刻より30分を経過しても、授業科目担当者が出講しないとき。
- (3) 大規模な公共交通機関の不通が発生したとき。
- (4) 前3号にかかわらず、学部教務委員会が承認した事由のとき。

(授業教室の変更)

第8条 授業教室の変更は、学内掲示等にて学生へ周知する。

(授業科目の開講取消)

第9条 履修登録者数が少ない授業科目は、当該授業を開講しないことがある。

(授業の出席)

第10条 単位修得には当該科目において、次の出席回数を要することを原則とする。

- (1) 講義科目については、総授業回数の3分の2以上の出席。
- (2) 実習、演習及び体育実技科目については、総授業回数の5分の4以上の出席。

2 公認欠席及び特別欠席の場合は、その回数分を総授業回数から除くものとする。

(授業の欠席)

第11条 学生は、授業を欠席する場合は、原則として事前に当該授業科目担当者に報告しなければならない。ただし、急を要する場合においては、事後速やかに報告するものとする。

2 公認欠席は、次の各号に定める場合について、これを認め、指定の期日までに申請することができる。ただし、第2号、第5号、及び第6号の理由による申請は、授業科目毎に、年合計2回までとする。

- (1) サークル等の部活動において、全道大会又はこれに準ずる行事等に本学を代表して参加するとき。
- (2) 本学が組織する教育研究施設の活動の一環として、本学を代表して行事等に参加するとき。
- (3) 就職活動のとき。
- (4) 教育実習及び介護等体験において、教育実習校及び介護等施設へ訪問するとき。この場合においては、訪問に必要とする移動日も含むものとする。
- (5) 学外で行う授業への出席又は授業・Jゼミの一環として、学外で行われる学会、コンテスト及び大会等の行事に参加するとき。
- (6) 前5号にかかわらず、学部教務委員会が事前に承認した行事等に参加するとき。

3 特別欠席は、次の各号に定める理由について、これを認め、指定の期日までに申請することができる。

- (1) 父母、兄弟等の親族(2親等以内)に不幸があったとき。この場合の期間は、1親等の場合は連続した7日、2親等の場合は連続した3日申請できるものとする。
- (2) 感染症疾患により、医師又は保健センターの指示で出席停止を命じられたとき。
- (3) 裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任されたとき。
- (4) 前3号にかかわらず、学部教務委員会が承認した事由のとき。

(授業方法等の明示)

第12条 授業の方法及び内容並びに1年間の授業計画は、学生に対してあらかじめ明示するものとする。

2 学修の成果にかかる評価に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ

じめ明示するとともに、当該基準に従って適切に行うものとする。

(単位認定の方法)

第13条 単位の認定は、試験やその他の方法（以下「試験等」という。）によって総合的に行う。

2 前項の規定により、単位の認定を受けようとする者は、当該学期の授業料を納入しなければならない。

3 試験等について必要な事項は、学部教務委員会において、別に定める。

(再試験)

第14条 不合格となった授業科目は、再試験を行うことがある。

2 再試験について必要な事項は、学部教務委員会において、別に定める。

(追試験)

第15条 病気、その他やむを得ない理由により試験を欠席した場合には、追試験を行う。

2 追試験について必要な事項は、学部教務委員会において、別に定める。

(適用する教育課程及び授業科目)

第16条 学則第8条に定める教育課程（以下「カリキュラム」という。）は、原則として入学時のカリキュラムを卒業時まで適用する。

2 カリキュラムの改正により、新たなカリキュラム（以下「新カリキュラム」という。）の授業科目を履修しなければならない場合は、改正前のカリキュラム（以下「旧カリキュラム」という。）の授業科目を新カリキュラムの授業科目に読み替えて履修することができる。

3 旧カリキュラムの授業科目と新カリキュラムの授業科目の対応については、別に定める。

(成績の評価)

第17条 授業科目の成績評価は、学則第11条に規定するものとする。

2 成績評価を行う際は、併せてGP（Grade Point）を付すこととする。

3 成績評価を行う際の基準は、別表第3のとおりとする。

4 カリキュラムの改正に伴う授業科目の成績評価については、別表第5のとおりとする。

5 在学期間において、卒業のために必要とする（以下「卒業要件」という。）科目の履修単位数にGPを乗じた値の累計を履修単位数で除したものをGPA（Grade Point Average）とする。GPAの計算は、別表第4のとおりとする。GPAの利用は、別に定める。

6 成績評価は、成績表をもって学生に通知する。

7 学生は、成績の評価に疑義がある場合は、原則として当該授業科目の開講年度内に当該授業科目担当者に対して所定様式の提出又は当該授業科目担当者と合意の方法に基づき、評価の理由について口頭若しくは文章での説明を求めることができる。

(不正行為)

第18条 試験等において不正行為をした者に対しては、学則第59条第2項の規定による懲戒処分を行うほか、当該授業科目にかかる成績評価は不可とする。

(雑 則)

第19条 この規程に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は、別に定めることができる。

(改 廃)

第20条 この規程の改廃は、学部教務委員会の議を経て、学長が行う。

附 則

- 1 この規程は、平成31年3月4日から施行する。
- 2 この規程の施行後、平成28年4月1日までに入学した者（以下「入学者」という。）及び平成28年4月1日以降に入学者の属する年次に入学する者については、北海道情報大学履修規程別表第3に規定する「秀」とあるのは「優」と読み替えGPは変わらないものとする。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和3年3月31日に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和3年4月1日以降に在学者の属する年次に入学する者については、改正後の北海道情報大学履修規程別表第1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和5年3月31日に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和5年4月1日以降に在学者の属する年次に入学する者については、改正後の北海道情報大学履修規程別表第1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第1（第3条関係）

2023年度入学生～	1年	2年	3年	4年
先端経営学科	44	44	44	44
システム情報学科	44	44	44	44
医療情報学科	44	44	44	44
情報メディア学科	44	44	44	44
上限除外科目	「教職課程における科目等卒業要件外科目」，「健康とスポーツ」，「夏期・冬期集中授業で設定される科目」，「本学と協定を結んだ他の大学等で履修する科目」，「本学通信教育課程で履修する科目」			
履修登録上限の緩和	前年度累積GPA3.5以上は，履修登録上限を48単位／年，前年度累積GPA2.6以上は，履修登録上限を46単位／年とする。			

2021年度入学生～	1年	2年	3年	4年
先端経営学科	44	44	44	44
システム情報学科	44	44	44	44
医療情報学科	44	44	44	44
情報メディア学科	44	44	44	44
上限除外科目	「教職課程における科目等卒業要件外科目」,「健康とスポーツ」,「夏期・冬期集中授業で設定される科目」,「本学と協定を結んだ他の大学等で履修する科目」,「本学通信教育課程で履修する科目」,なお、医療情報学科医療情報専攻は次の科目を含める。「病理学」,「病院管理論」,「臨床医学Ⅰ」,「診療情報管理学Ⅰ」,「臨床医学Ⅱ」,「診療情報管理学Ⅱ」,「医療統計学Ⅰ」,「臨床医学Ⅲ」,「臨床医学Ⅳ」,「病院実習」,「医療安全管理学」,「診療情報管理学Ⅲ」,「国際医療統計分類Ⅰ」,「国際医療統計分類Ⅱ」,			
履修登録上限の緩和	前年度累積GPA3.5以上は、履修登録上限を48単位／年、前年度累積GPA2.6以上は、履修登録上限を46単位／年とする。			

2019年度入学生～	1年	2年	3年	4年
先端経営学科	44	44	44	44
システム情報学科	44	44	44	44
医療情報学科	44	44	44	44
情報メディア学科	44	44	44	44
上限除外科目	「教職課程における科目等卒業要件外科目」,「健康とスポーツ」,「夏期・冬期集中授業で設定される科目」,なお、医療情報学科診療情報管理専攻は次の科目を含める。「病理学」,「病院管理論」,「臨床医学Ⅰ」,「診療情報管理学Ⅰ」,「臨床医学Ⅱ」,「診療情報管理学Ⅱ」,「医療統計学」,「臨床医学Ⅲ」,「臨床医学Ⅳ」,「病院実習」,「医療安全管理学」,「診療情報管理学Ⅲ」,「国際医療統計分類Ⅰ」,「国際医療統計分類Ⅱ」,「本学と協定を結んだ他の大学等で履修する科目」,「本学通信教育課程で履修する科目」			
履修登録上限の緩和	前年度累積GPA3.5以上は、履修登録上限を48単位／年、前年度累積GPA2.6以上は、履修登録上限を46単位／年とする。			

2017年度入学生～	1年	2年	3年	4年
先端経営学科	44	44	44	44
システム情報学科	44	44	44	44
情報メディア学科	44	44	44	44
上限除外科目	「教職課程における科目等卒業要件外科目」,「健康とスポーツ」,「夏期・冬期集中授業で設定される科目」,「本学と協定を結んだ他の大学等で修得した科目」,「本学通信教育課程で履修する科目」			
履修登録上限の緩和	前年度累積GPA3.5以上は、履修登録上限を48単位／年、前年度累積GPA2.6以上は、履修登録上限を46単位／年とする。			

単位
制度
授

業
カリ
キュ
ラム

履
修
登
録
成

績
卒

業
教
職
課
程

留
そ
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
機
能

付
各
種
規
程
録

単位制度	2017年度入学生～	1年	2年	3年	4年
授	医療情報学科診療情報管理専攻	44	44	44	44
業	医療情報学科臨床工学専攻	47	46	44	44
カリキュラム	上限除外科目	「教職課程における科目等卒業要件外科目」,「健康とスポーツ」,「夏期・冬期集中授業で設定される科目」,なお,診療情報管理専攻は次の科目を含める。「病理学」,「病院管理論」,「臨床医学Ⅰ」,「診療情報管理学Ⅰ」,「臨床医学Ⅱ」,「診療情報管理学Ⅱ」,「医療統計学」,「臨床医学Ⅲ」,「臨床医学Ⅳ」,「病院実習」,「医療安全管理学」,「診療情報管理学Ⅲ」,「国際医療統計分類Ⅰ」,「国際医療統計分類Ⅱ」,「本学と協定を結んだ他の大学等で履修する科目」,「本学通信教育課程で履修する科目」			
履修登録	履修登録上限の緩和	前年度累積GPA3.5以上は,履修登録上限を48単位/年,前年度累積GPA2.6以上は,履修登録上限を46単位/年とする。			

成試験および成績	2013年度入学生～	1年	2年	3年	4年
卒	先端経営学科	44	44	44	44
業	システム情報学科	44	44	44	44
教職課程	医療情報学科	44	44	44	44
留意の事項	情報メディア学科	44	44	44	44
履修モデル	上限除外科目	「教職課程における科目等卒業要件外科目」,「健康とスポーツ」,「夏期・冬期集中授業で設定される科目」,なお,医療情報学科は次の科目を含める。「病院管理論」,「臨床医学Ⅰ」,「診療情報管理学Ⅰ」,「分類法総論」,「臨床医学Ⅱ」,「診療情報管理学Ⅱ」,「分類法演習」,「医療統計学」,「臨床医学Ⅲ」,「臨床医学Ⅳ」,「病院実習」,「分類法応用」,(2016年度入学生は「医療安全管理学」を含めます),「本学と協定を結んだ他の大学等で履修する科目」,「本学通信教育課程で履修する科目」			
付各種規程	履修登録上限の緩和	前年度累積GPA3.5以上は,履修登録上限を48単位/年,前年度累積GPA2.6以上は,履修登録上限を46単位/年とする。			

別表第2（第6条関係）

授業時間

講時	開始時間	終了時間
1講時	9:00	10:30
2講時	10:40	12:10
(昼食)	12:10	12:55
3講時	12:55	14:25
4講時	14:35	16:05
5講時	16:15	17:45
6講時	17:55	19:25

別表3（第17条関係）

合否区分	100点法に基づく得点	評価	GP
合格	100 ～ 90	秀	4
	89 ～ 80	優	3
	79 ～ 70	良	2
	69 ～ 60	可	1
不合格	59 ～ 0	不可	0

※休学者及び学部教務委員会が別に定める理由があるときに、「不可」の代わりに「未評価」を付与する。「未評価」については、単位未取得となり、GPAの計算に算入しない。

別表第4（第17条関係）

学期別GPA (学期単位での算出)	$\frac{(\text{当該学期の科目の履修単位数} \times \text{科目のGP}) \text{の累計}}{\text{当該学期の履修単位数の総和}}$ ※通年科目（学期をまたがる科目）の履修単位については、成績確定学期に算入する
年度別GPA (年度単位での算出)	$\frac{(\text{当該年度の科目の履修単位数} \times \text{科目のGP}) \text{の累計}}{\text{当該年度の履修単位数の総和} - \text{再履修で合格した科目の年度内の不可の単位数}}$
現在GPA (最新の学期に算出)	$\frac{(\text{科目の履修単位数} \times \text{科目のGP}) \text{の累計}}{\text{履修単位数の総和} - \text{再履修で合格した科目のこれまでの不可の単位数}}$ ※通年科目（学期をまたがる科目）の履修単位については、成績確定学期に算入する

※学期別GPA、年度別GPAは、算出時の値で原則固定とする。

※GPA算出後に成績訂正等がある場合、訂正時期によっては反映されないことがある。

別表第5（第17条関係）

新カリキュラムの授業科目	旧カリキュラムの授業科目	旧カリキュラムの授業科目に付与する成績評価
1 科目	1 科目	新カリキュラムの授業科目の成績評価とする。
複数科目	1 科目	新カリキュラムの授業科目を全て合格した場合に、各々のGPの平均を小数点第一位で四捨五入した値を別表第3に照らした成績評価とする。
複数科目のうち1 科目	1 科目	学期順に先に合格した新カリキュラムの授業科目の成績評価とする。ただし、同学期中にいずれも合格した場合は、GPの値が高い方の成績評価とする。
1 科目	複数科目	各々、新カリキュラムの授業科目の成績評価とする。ただし、旧カリキュラムの授業科目のうち修得済みの授業科目については、既に認定された成績評価とする。

◆先端経営学科（カリキュラム（'22））【2022年度入学生～】

【教養教育科目】

授業科目の名称				授業を 行う 年次	単位数		備考
					必修	選択	
授業科目の概要	基礎教育科目	教養基礎	日本語表現Ⅰ	1		2	・必修科目12単位を修得
			日本語表現Ⅱ	1	2		
			基礎数学	1	2		
			基礎英語A	1	2		
			基礎英語B	1		2	
			英語表現ⅠA	1	2		
			英語表現ⅠB	1		2	
			ビギナーズセミナーⅠ	1	2		
			ビギナーズセミナーⅡ	1	2		
		外国語	実用英語A	2		2	・必修科目5単位を修得
			実用英語B	2		2	
			英語表現ⅡA	2		2	
			英語表現ⅡB	2		2	
			職業英語A	3・4		2	
			職業英語B	3・4		2	
			中国語ⅠA	1		2	
			中国語ⅠB	1		2	
			中国語ⅡA	2		2	
			中国語ⅡB	2		2	
			ドイツ語ⅠA	1		2	
			ドイツ語ⅠB	1		2	
			ドイツ語ⅡA	2		2	
			ドイツ語ⅡB	2		2	
		情報とクリティカルシンキング	情報の世界	1		2	
			情報倫理	2	2		
			ヘルスリテラシー入門	1		2	
		人間	心理学	1		2	
			文学	1		2	
			歴史学	3・4		2	
			哲学	3・4		2	
		社会	経済学Ⅰ	1		2	
			経済学Ⅱ	2		2	
			法学	1		2	
			社会学	1		2	
			憲法	1		2	
			国際関係論	3・4		2	
		自然	線形代数Ⅰ	1		2	
			線形代数Ⅱ	2		2	
			関数の基礎	1		2	
			微分積分Ⅰ	1		2	
			微分積分Ⅱ	2		2	
			確率・統計Ⅰ	2		2	
			確率・統計Ⅱ	2		2	
			物理学	1		2	
			生物学	1		2	
			化学	1		2	
		総合	健康とスポーツⅠ	1		1	
			健康とスポーツⅡ	1		1	
			健康とスポーツⅢ	1		1	
			健康とスポーツⅣ	1		1	
			海外語学・文化研修(中国大連編)	1・2・3・4		1	
			海外事情(米国編)	1・2・3・4		2	
			海外事情(中国編)	1・2・3・4		2	
			国際コラボレーションA	1・2・3・4		2	
			国際コラボレーションB	1・2・3・4		2	
			キャリアデザインⅠ	2	1		
			キャリアデザインⅡ	2	1		
			キャリアデザインⅢ	3	1		

教養教育科目からの卒業に必要な単位数「36単位以上」

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

◆先端経営学科（カリキュラム（'22））【2022年度入学生～】

【教養教育科目】 外国人留学生用

授 業 科 目 の 名 称				授業を 行年	単 位 数		備 考
					必修	選択	
授 業 科 目 の 概 要	基礎教育科目	教養基礎	日本語表現Ⅰ	1	2		・必修科目8単位を修得
			日本語表現Ⅱ	1		2	
			基礎数学	1	2		
			基礎英語A	1		2	
			基礎英語B	1		2	
			英語表現ⅠA	1		2	
			英語表現ⅠB	1		2	
			ビギナーズセミナーⅠ	1	2		
			ビギナーズセミナーⅡ	1	2		
	外国語	実用英語A	実用英語A	2		2	・必修科目9単位を修得
			実用英語B	2		2	
			英語表現ⅡA	2		2	
			英語表現ⅡB	2		2	
			職業英語A	3・4		2	
			職業英語B	3・4		2	
			日本語Ⅰ	1	2		
			日本語Ⅱ	1		2	
			日本語Ⅲ	1		2	
			日本語Ⅳ	2	2		
	情報とクリティカルシンキング	情報の世界	情報の世界	1		2	
			情報倫理	2	2		
			ヘルスリテラシー入門	1		2	
	人間	心理学	心理学	1		2	
			文学	1		2	
			歴史学	3・4		2	
			哲学	3・4		2	
	社会	経済学Ⅰ	経済学Ⅰ	1		2	
			経済学Ⅱ	2		2	
			法学	1		2	
			社会学	1		2	
			憲法	1		2	
			国際関係論	3・4		2	
	自然	線形代数Ⅰ	線形代数Ⅰ	1		2	
			線形代数Ⅱ	2		2	
			関数の基礎	1		2	
			微分積分Ⅰ	1		2	
			微分積分Ⅱ	2		2	
			確率・統計Ⅰ	2		2	
			確率・統計Ⅱ	2		2	
			物理学	1		2	
			生物学	1		2	
			化学	1		2	
	総合	健康とスポーツⅠ	健康とスポーツⅠ	1		1	
			健康とスポーツⅡ	1		1	
			健康とスポーツⅢ	1		1	
			健康とスポーツⅣ	1		1	
			日本事情	2		2	
			キャリアデザインⅠ	2	1		
			キャリアデザインⅡ	2	1		
			キャリアデザインⅢ	3	1		

教養教育科目からの卒業に必要な単位数 36単位以上

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

単
位
制
度

業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム

履
修
登
録
成

績
卒

業
教
職
課
程

留
そ
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
機
能

付
各
種
規
程
録

◆先端経営学科（カリキュラム（'22））【2022年度入学生～】

【専門教育科目】

単位
制度
授
業
カリ
キュ
ラム
履
修
登
録
成
試
験
お
よ
び
卒
業
教
職
課
程
留
意
の
事
項
履
修
モ
デ
ル
付
各
種
規
程
録

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を 行 年 次	単 位 数		備 考
					必修	選択	
授 業 科 目 の 概 要	専 門 科 目 の 概 要	経 営 教 育 科 目 の 概 要	経営学への招待	1	2		・ 必修科目24単位を修得 ・ 選択科目54単位以上を修得
			流通の仕組み	1	2		
			デジタルビジネス概論	1	2		
			自己発見ゼミナール	1	2		
			プロジェクトゼミナールⅠ	2	2		
			プロジェクトゼミナールⅡ	2	2		
			ゼミナールⅠ	3	2		
			ゼミナールⅡ	3	2		
			ゼミナールⅢ	4	2		
			卒業論文	4	2		
			簿記原理システム論Ⅰ	1		2	
			簿記原理システム論Ⅱ	1		2	
			経営戦略論	2		2	
			経営管理論	2		2	
			Webビジネス論	2		2	
			ベンチャービジネス論	2		2	
			知的財産権論	2		2	
			民法	2		2	
			ビジネスプラン	1		2	
			サービスマネジメント	3・4		2	
			マーケティング論	2		2	
			マーケティングリサーチ	1		2	
			現代の財務会計論Ⅰ	2		2	
			現代の財務会計論Ⅱ	2		2	
			情報システム学概論Ⅰ	2		2	
			情報システム学概論Ⅱ	2		2	
			インターンシップ	3		2	
			デジタルマーケティング	3・4		2	
			コンピュータ会計	2		2	
			コストマネジメント	3・4		2	
			企業倫理	3・4		2	
			商法	3・4		2	
			流通システム論	3・4		2	
			マネジメントサイエンス	2		2	
			プロジェクトマネジメント	3・4		2	
			SCM	3・4		2	
			国際経営論	3・4		2	
			地域連携論	3・4		2	
			職業指導	3・4		2	
			中小企業経営論	3・4		2	
			地域活性化プロジェクト	1・2・3・4		2	

◆先端経営学科（カリキュラム（'22））【2022年度入学生～】

3/3

【専門教育科目】

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数		備 考
授 業 科 目 の 概 要	専 門 教 育 科 目	情 報 系 科 目	授 業 を つ づ け る 年	必修	選択	
			ICT入門	1	2	
			ビジネスアプリケーションⅠ	1	2	
			Web技術基礎	1	2	
			コンピュータシステムⅠ	1	2	
			コンピュータシステムⅡ	2	2	
			ビジネスアプリケーションⅡ	2	2	
			情報科学基礎	2	2	
			IT戦略とマネジメントの基礎	2	2	
			観光情報学入門	2	2	
			システム開発基礎Ⅰ	3・4	2	
			システム開発基礎Ⅱ	3・4	2	
			ネットワークとセキュリティⅠ	3・4	2	
			Webアプリケーション開発	3・4	2	
			情報社会論	1	2	
			情報職業論	3・4	2	
			情報システム特別講義	2	2	・隔年開講
	学 部 横 断 科 目	学 部 横 断 科 目	BIとビッグデータⅠ	3・4	2	
			BIとビッグデータⅡ	3・4	2	
			プロジェクトトライアル	3・4	2	

専門教育科目からの卒業に必要な単位数 78単位以上卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上単
位
制
度
授業
カ
リ
キ
ュ
ー
ラ
ム履
修
登
録
成績
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
機
関付
各
種
規
程
録

◆システム情報学科（カリキュラム（'22））【2022年度入学生～】

【教養教育科目】

授業科目の名称				授業を 行う 年次	単位数		備考
					必修	選択	
授業科目の概要	基礎教育科目	教養基礎	日本語表現Ⅰ	1		2	・必修科目12単位を修得
			日本語表現Ⅱ	1	2		
			基礎数学	1	2		
			基礎英語A	1	2		
			基礎英語B	1		2	
			英語表現ⅠA	1	2		
			英語表現ⅠB	1		2	
			ビギナーズセミナーⅠ	1	2		
			ビギナーズセミナーⅡ	1	2		
		外国語	実用英語A	2		2	・必修科目5単位を修得
			実用英語B	2		2	
			英語表現ⅡA	2		2	
			英語表現ⅡB	2		2	
			職業英語A	3・4		2	
			職業英語B	3・4		2	
			中国語ⅠA	1		2	
			中国語ⅠB	1		2	
			中国語ⅡA	2		2	
			中国語ⅡB	2		2	
			ドイツ語ⅠA	1		2	
			ドイツ語ⅠB	1		2	
			ドイツ語ⅡA	2		2	
			ドイツ語ⅡB	2		2	
		情報とクリティカルシンキング	情報の世界	1		2	
			情報倫理	2	2		
			ヘルスリテラシー入門	1		2	
		人間	心理学	1		2	
			文学	1		2	
			歴史学	3・4		2	
			哲学	3・4		2	
		社会	経済学Ⅰ	1		2	
			経済学Ⅱ	2		2	
			法学	1		2	
			社会学	1		2	
			憲法	1		2	
			国際関係論	3・4		2	
		自然	線形代数Ⅰ	1		2	
			線形代数Ⅱ	2		2	
			関数の基礎	1		2	
			微分積分Ⅰ	1		2	
			微分積分Ⅱ	2		2	
			確率・統計Ⅰ	2		2	
			確率・統計Ⅱ	2		2	
			物理学	1		2	
			生物学	1		2	
			化学	1		2	
		総合	健康とスポーツⅠ	1		1	
			健康とスポーツⅡ	1		1	
			健康とスポーツⅢ	1		1	
			健康とスポーツⅣ	1		1	
			海外語学・文化研修(中国大連編)	1・2・3・4		1	
			海外事情(米国編)	1・2・3・4		2	
			海外事情(中国編)	1・2・3・4		2	
			国際コラボレーションA	1・2・3・4		2	
			国際コラボレーションB	1・2・3・4		2	
			キャリアデザインⅠ	2	1		
			キャリアデザインⅡ	2	1		
			キャリアデザインⅢ	3	1		

教養教育科目からの卒業に必要な単位数「36単位以上」

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

◆システム情報学科（カリキュラム（'22））【2022年度入学生～】

【教養教育科目】 外国人留学生用

授 業 科 目 の 名 称				授業を 行年	単 位 数		備 考
					必修	選択	
授 業 科 目 の 概 要	基礎 教育 科目	教養基礎	日本語表現Ⅰ	1	2		・必修科目8単位を修得
			日本語表現Ⅱ	1		2	
			基礎数学	1	2		
			基礎英語A	1		2	
			基礎英語B	1		2	
			英語表現ⅠA	1		2	
			英語表現ⅠB	1		2	
			ビギナーズセミナーⅠ	1	2		
			ビギナーズセミナーⅡ	1	2		
	外国語	実用英語A	実用英語A	2		2	・必修科目9単位を修得
			実用英語B	2		2	
			英語表現ⅡA	2		2	
			英語表現ⅡB	2		2	
			職業英語A	3・4		2	
			職業英語B	3・4		2	
			日本語Ⅰ	1	2		
			日本語Ⅱ	1		2	
			日本語Ⅲ	1		2	
			日本語Ⅳ	2	2		
	情報と クリティカル シンキング	情報の世界	情報の世界	1		2	
			情報倫理	2	2		
			ヘルスリテラシー入門	1		2	
	人間	心理学	心理学	1		2	
			文学	1		2	
			歴史学	3・4		2	
			哲学	3・4		2	
	社会	経済学Ⅰ	経済学Ⅰ	1		2	
			経済学Ⅱ	2		2	
			法学	1		2	
			社会学	1		2	
			憲法	1		2	
			国際関係論	3・4		2	
	自然	線形代数Ⅰ	線形代数Ⅰ	1		2	
			線形代数Ⅱ	2		2	
			関数の基礎	1		2	
			微分積分Ⅰ	1		2	
			微分積分Ⅱ	2		2	
			確率・統計Ⅰ	2		2	
			確率・統計Ⅱ	2		2	
			物理学	1		2	
			生物学	1		2	
			化学	1		2	
	総合	健康とスポーツⅠ	健康とスポーツⅠ	1		1	
			健康とスポーツⅡ	1		1	
			健康とスポーツⅢ	1		1	
			健康とスポーツⅣ	1		1	
			日本事情	2		2	
			キャリアデザインⅠ	2	1		
			キャリアデザインⅡ	2	1		
			キャリアデザインⅢ	3	1		

教養教育科目からの卒業に必要な単位数 36単位以上

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

単
位
制
度

業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム

履
修
登
録
成

績
卒

業
教
職
課
程

留
そ
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
機
能

付
各
種
規
程
録

◆システム情報学科（カリキュラム（'22））【2022年度入学生～】
【専門教育科目】

授業科目の名称				授業を 行う 年次	単位数		備考
					必修	選択	
授業科目の概要	情報系基礎科目	ICT入門		1	2		・必修科目32単位を修得 ・選択科目46単位以上を修得
		コンピュータシステムⅠ		1	2		
		コンピュータシステムⅡ		1	2		
		情報科学基礎		1	2		
		プログラミング入門		1	4		
		プログラミング基礎		1	4		
		Web技術基礎		1	2		
		システム開発基礎Ⅰ		1	2		
		システム開発基礎Ⅱ		1	2		
	経営系選択必修科目	経営学への招待		1		2	・経営系選択必修科目から 4単位以上を修得
		デジタルビジネス概論		1		2	
		流通の仕組み		1		2	
		簿記原理システム論Ⅰ		1		2	
		簿記原理システム論Ⅱ		1		2	
		Webビジネス論		2		2	
		サービスマネジメント		2		2	
		デジタルマーケティング		3・4		2	
	情報系専門必修科目	ゼミナールⅠ		3	2		
		ゼミナールⅡ		3	2		
		ゼミナールⅢ		4	2		
		卒業論文		4	4		
	専門科目の概要	宇宙への挑戦		1		2	・情報系専門選択科目・学部 横断科目から計24単位以上を修得
		幾何学入門		1		2	
		宇宙工学基礎		2		2	
		観光情報学入門		2		2	
		組込みシステム基礎		2		2	
		アルゴリズム基礎		1		2	
		アルゴリズムとプログラム設計		2		2	
		Javaプログラミング		2		2	
		離散数学Ⅰ		2		2	
		ネットワークとセキュリティⅠ		2		2	
		情報理論		2		2	
		Webアプリケーション基礎		2		2	
		システムプログラミング入門		2		4	
		オペレーティングシステム		2		2	
		IT戦略とマネジメントの基礎		2		2	
		プロジェクト基礎		2		2	
		インターンシップ		3		2	
		情報職業論		3・4		2	・隔年開講 ・隔年開講
		情報社会論		3・4		2	
		情報システム特別講義		3・4		2	
		メディアデザイン特別講義		3・4		2	
		宇宙開発情報学		3・4		2	
		宇宙情報利用概論		3・4		2	
		モバイルシステム開発演習		3・4		4	
		データベース		3・4		4	
		ソフトウェア工学		3・4		2	
		ネットワークとセキュリティⅡ		3・4		2	
		ネットワークの構成と管理		3・4		2	
		情報システムの設計		3・4		4	
		組込みシステム開発		3・4		2	
		人工知能		3・4		2	
		計算機科学概論		3・4		2	
		離散数学Ⅱ		3・4		2	
		コンピュータグラフィックス		3・4		2	
		画像処理		3・4		2	
		データマイニング		3・4		2	
		オペレーションズリサーチ		3・4		2	
		数値計算		3・4		2	
		IoT技術総論		3・4		2	
	学部横断科目	BIとビッグデータⅠ		3・4		2	
		BIとビッグデータⅡ		3・4		2	
		プロジェクトトライアル		3・4		2	

◆システム情報学科（カリキュラム（'22））【2022年度入学生～】

3/3

【専門教育科目】

授 業 科 目 の 名 称			授業を 行年 つ次	単 位 数		備 考
				必修	選択	
授 業 科 目 の 概 要	専 門 教 育 科 目	経 営 系 専 門 科 目	情報システム学概論Ⅰ	2	2	
			情報システム学概論Ⅱ	2	2	
			経営戦略論	2	2	
			経営管理論	2	2	
			ベンチャービジネス論	2	2	
			知的財産権論	2	2	
			ビジネスプラン	2	2	
			民法	2	2	
			マーケティング論	2	2	
			マーケティングリサーチ	2	2	
			現代の財務会計論Ⅰ	2	2	
			現代の財務会計論Ⅱ	2	2	
			コストマネジメント	3・4	2	
			企業倫理	3・4	2	
			商法	3・4	2	
			流通システム論	3・4	2	
			マネジメントサイエンス	3・4	2	
			プロジェクトマネジメント	3・4	2	
			SCM	3・4	2	
			国際経営論	3・4	2	
			地域連携論	3・4	2	

専門教育科目からの卒業に必要な単位数 78単位以上

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

単
位
制
度
授

業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム

履
修
登
録
成

績
卒

業
教
職
課
程

留
そ
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
機
能

付
各
種
規
程
録

◆医療情報学科 医療情報専攻（カリキュラム（'23））【2023年度入学生～】

【教養教育科目】

授 業 科 目 の 名 称				授 業 年 次	単 位 数		備 考			
					必修	選択				
授 業 科 目 の 概 要	教 養 教 育 科 目	基礎教育科目	教養基礎	日本語表現Ⅰ	1		・ 必修科目12単位を修得			
			日本語表現Ⅱ	1	2					
			基礎数学	1	2					
			基礎英語A	1	2					
			基礎英語B	1		2				
			英語表現ⅠA	1	2					
			英語表現ⅠB	1		2				
			ビギナーズセミナーⅠ	1	2					
			ビギナーズセミナーⅡ	1	2					
		外国語	外国語	実用英語A	2		2	・ 必修科目5単位を修得		
				実用英語B	2		2			
				英語表現ⅡA	2		2			
				英語表現ⅡB	2		2			
				職業英語A	3・4		2			
				職業英語B	3・4		2			
				中国語ⅠA	1		2			
				中国語ⅠB	1		2			
				中国語ⅡA	2		2			
				中国語ⅡB	2		2			
				ドイツ語ⅠA	1		2			
				ドイツ語ⅠB	1		2			
				ドイツ語ⅡA	2		2			
				ドイツ語ⅡB	2		2			
				情報とクリティカルシンキング	情報とクリティカルシンキング	情報の世界	1			2
						情報倫理	2		2	
						ヘルスリテラシー入門	1			2
				人 間	人 間	心理学	1			2
						文学	1			2
						歴史学	3・4			2
						哲学	3・4			2
				社 会	社 会	経済学Ⅰ	1			2
						経済学Ⅱ	2			2
						法学	1			2
						社会学	1			2
						憲法	1			2
						国際関係論	3・4			2
		自 然	自 然	線形代数Ⅰ	1		2			
				線形代数Ⅱ	2		2			
				関数の基礎	1		2			
				微分積分Ⅰ	1		2			
				微分積分Ⅱ	2		2			
				確率・統計Ⅰ	2		2			
				確率・統計Ⅱ	2		2			
				物理学	1		2			
				生物学	1		2			
				化学	1		2			
		総 合	総 合	健康とスポーツⅠ	1		1			
				健康とスポーツⅡ	1		1			
				健康とスポーツⅢ	1		1			
				健康とスポーツⅣ	1		1			
				海外語学・文化研修(中国大連編)	1・2・3・4		1			
				海外事情(米国編)	1・2・3・4		2			
				海外事情(中国編)	1・2・3・4		2			
				国際コラボレーションA	1・2・3・4		2			
				国際コラボレーションB	1・2・3・4		2			
				キャリアデザインⅠ	2	1				
				キャリアデザインⅡ	2	1				
				キャリアデザインⅢ	3	1				

教養教育科目からの卒業に必要な単位数「36単位以上」

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

◆医療情報学科 医療情報専攻（カリキュラム（'23））【2023年度入学生～】

【教養教育科目】 外国人留学生用

授 業 科 目 の 名 称				授業を 行年	単 位 数		備 考
					必修	選択	
授 業 科 目 の 概 要	基礎 教育 科目	教養基礎	日本語表現Ⅰ	1	2		・必修科目8単位を修得
			日本語表現Ⅱ	1		2	
			基礎数学	1	2		
			基礎英語A	1		2	
			基礎英語B	1		2	
			英語表現ⅠA	1		2	
			英語表現ⅠB	1		2	
			ビギナーズセミナーⅠ	1	2		
			ビギナーズセミナーⅡ	1	2		
		外国語	実用英語A	2		2	・必修科目9単位を修得
			実用英語B	2		2	
			英語表現ⅡA	2		2	
			英語表現ⅡB	2		2	
			職業英語A	3・4		2	
			職業英語B	3・4		2	
			日本語Ⅰ	1	2		
			日本語Ⅱ	1		2	
			日本語Ⅲ	1		2	
			日本語Ⅳ	2	2		
		情報と クリティカル シンキング	情報の世界	1		2	
			情報倫理	2	2		
			ヘルスリテラシー入門	1		2	
		人間	心理学	1		2	
			文学	1		2	
			歴史学	3・4		2	
			哲学	3・4		2	
		社会	経済学Ⅰ	1		2	
			経済学Ⅱ	2		2	
			法学	1		2	
			社会学	1		2	
			憲法	1		2	
			国際関係論	3・4		2	
		自然	線形代数Ⅰ	1		2	
			線形代数Ⅱ	2		2	
			関数の基礎	1		2	
			微分積分Ⅰ	1		2	
			微分積分Ⅱ	2		2	
			確率・統計Ⅰ	2		2	
			確率・統計Ⅱ	2		2	
			物理学	1		2	
			生物学	1		2	
			化学	1		2	
		総 合	健康とスポーツⅠ	1		1	
			健康とスポーツⅡ	1		1	
			健康とスポーツⅢ	1		1	
			健康とスポーツⅣ	1		1	
			日本事情	2		2	
			キャリアデザインⅠ	2	1		
			キャリアデザインⅡ	2	1		
			キャリアデザインⅢ	3	1		

教養教育科目からの卒業に必要な単位数 36単位以上

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

単
位
制
度
授
業
カリ
キュ
ラム
履
修
登
録
成
績
卒
業
教
職
課
程
留
意
の
事
他
項
の
履
修
モ
デ
ル
付
各
種
規
程
録

◆医療情報学科 医療情報専攻（カリキュラム（'23））【2023年度入学生～】
【専門教育科目】

授 業 科 目 の 名 称				授 行 年	業 を う 次	単位数		資格取得に必要な科目		備 考
						必修	選択	診療情報管理士	健康食品管理士	
授 業 科 目 の 概 要	医 学 ・ 医 療 科 目	医学概論	1	2		○		・ 必修科目34単位を修得 ・ 選択科目43単位以上を修得		
		臨床医学総論	1	2		○	○			
		解剖学	1	2		○	○			
		生理学	1	2		○	○			
		医学用語概説	2	2	1	○				
		医療制度論	2		2	○				
		医療倫理概説	2		2					
		病理学	1	1			○			
		生化学	2	2			○			
		チーム医療概論	2	1			○			
		福祉総論	2	2						
		薬理学	2	1			○			
		免疫学	2	1			○			
		医用工学概論Ⅰ	2	1						
		医用機械学概論	2	1						
		医用工学概論Ⅱ	3・4	2						
		臨床医学Ⅰ	2	1		○	○			
		臨床医学Ⅱ	2	1		○	○			
		臨床医学Ⅲ	2	1		○				
		臨床医学Ⅳ	3・4	1		○				
		臨床医学Ⅴ	3・4	1		○				
		臨床医学Ⅵ	3・4	2		○				
		公衆衛生学Ⅰ	3・4	1			○			
		公衆衛生学Ⅱ	3・4	1			○			
		医療安全管理学Ⅰ	2	1		○				
		生命情報科学Ⅰ	3・4	1			○			
	生命情報科学Ⅱ	3・4	1			○				
	分子栄養学	2	2			○				
	食品保健科学	2	2			○				
	食品関係法規	3・4	1			○				
	ヘルスケアIT演習	3・4	1							
	認知症総論	1	2							
	医 療 情 報 シ ス テ ム 科 目	医療情報学概論	1	2		○				
		医療事務総論	1	2						
		病院管理論	2		2	○	○			
		診療情報管理学Ⅰ	2		2	○	○			
		診療情報管理学Ⅱ	2		2	○	○			
		診療情報管理学Ⅲ	3・4	1		○				
		診療情報管理学演習Ⅰ	3・4	2						
		診療情報管理学演習Ⅱ	3・4	2						
		診療報酬請求事務論	1	2						
		診療報酬請求事務論演習	2	2						
		医療統計学Ⅰ	2	2		○				
		医療統計学Ⅱ	3	1		○				
		疾病分類概論	2	1						
		国際医療統計分類Ⅰ	2	2		○				
		国際医療統計分類Ⅱ	3・4	2		○				
		国際疾病分類（ICD11）演習	3・4	1						
		がん登録概論	3・4	1						
		医療情報演習応用Ⅰ	2	1						
		医療情報演習応用Ⅱ	2	1						
		薬学基礎演習	2	1			○			
	OPCマネジメント概説	3・4	2							
医療情報システム演習	3・4	2								
医療マーケティング論	3・4	2								
医療経済学概論	3・4	2								
情 報 科 目	ICT入門	1	2							
	コンピュータシステムⅠ	1	2							
	コンピュータシステムⅡ	2	2							
	プログラミング入門	1	2							
	プログラミング基礎演習	1	2							
	ITストラテジ	2	2							
	ITマネジメント	2	2							
	基本情報演習Ⅰ	2	2							
	基本情報演習Ⅱ	2	2							
	機械学習の基礎	2	2							
	機械学習プログラミング演習	2	2							
	We b技術基礎	2	2							
	システム開発基礎	2	2							
	ネットワークとセキュリティⅠ	2	2							
	ネットワークとセキュリティⅡ	3・4	2							
	情報社会論	3・4	2							
	情報職業論	3・4	2							
画像処理	3・4	2								
データサイエンス	3・4	2								
医療情報特別講義	3・4	2								
演 習 科 目	病院実習	2	2		○		・ 隔年開講			
	インターンシップ	3・4	2							
	医療情報演習	2	1			○				
	バイオテクノロジー実習	3	2							
	基礎ゼミナール	2	2							
	ゼミナールⅠ	3	2							
	ゼミナールⅡ	3	2							
	ゼミナールⅢ	4	2							
卒業論文	4	2								
科 学 最 前 端 科 目	プロジェクトトライアル	2		2						
	BⅠとビッグデータⅠ	3・4		2						
	BⅠとビッグデータⅡ	3・4		2						

専門教育科目からの卒業に必要な単位数 **77単位以上**
卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

【教養教育科目】

授 業 科 目 の 名 称				授業を 行 年	単 位 数		備 考
					必修	選択	
授 業 教 養 科 目 の 概 要	基礎教育科目	教養基礎	日本語表現Ⅰ	1		2	・必修科目8単位を修得 ・選択科目10単位以上修得
			日本語表現Ⅱ	1		2	
			基礎数学	1		2	
			基礎英語A	1	2		
			基礎英語B	1		2	
			英語表現ⅠA	1		2	
			英語表現ⅠB	1		2	
			ビギナーズセミナーⅠ	1	2		
			ビギナーズセミナーⅡ	1	2		
		外国語	実用英語A	2		2	
			実用英語B	2		2	
			英語表現ⅡA	2		2	
			英語表現ⅡB	2		2	
			職業英語A	3・4		2	
			職業英語B	3・4		2	
			中国語ⅠA	1		2	
			中国語ⅠB	1		2	
			中国語ⅡA	2		2	
			中国語ⅡB	2		2	
			ドイツ語ⅠA	1		2	
			ドイツ語ⅠB	1		2	
			ドイツ語ⅡA	2		2	
			ドイツ語ⅡB	2		2	
		情報と クリティカル シンキング	情報の世界	1		2	
			情報倫理	2	2		
			ヘルスリテラシー入門	1		2	
		人間	心理学	1		2	
			文学	1		2	
			歴史学	3・4		2	
			哲学	3・4		2	
		社会	経済学Ⅰ	1		2	
			経済学Ⅱ	2		2	
			法学	1		2	
			社会学	1		2	
			憲法	1		2	
			国際関係論	3・4		2	
		自然	線形代数Ⅰ	1		2	
			線形代数Ⅱ	2		2	
			関数の基礎	1		2	
			微分積分Ⅰ	1		2	
			微分積分Ⅱ	2		2	
			確率・統計Ⅰ	2		2	
			確率・統計Ⅱ	2		2	
			物理学	1		2	
			生物学	1		2	
			化学	1		2	
		総合	健康とスポーツⅠ	1		1	
			健康とスポーツⅡ	1		1	
			健康とスポーツⅢ	1		1	
			健康とスポーツⅣ	1		1	
			海外語学・文化研修(中国大連編)	1・2・3・4		1	
			海外事情(米国編)	1・2・3・4		2	
			海外事情(中国編)	1・2・3・4		2	
			国際コラボレーションA	1・2・3・4		2	
			国際コラボレーションB	1・2・3・4		2	
			キャリアデザインⅠ	2		1	
			キャリアデザインⅡ	2		1	
			キャリアデザインⅢ	3		1	

教養教育科目からの卒業に必要な単位数 18単位以上

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

単位
制度

授

業
カリ
キュ
ラム履
修
登
録

成

績
卒業
教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要付
各
種
規
程
録

◆医療情報学科 臨床工学専攻（カリキュラム（'23））【2023年度入学生～】
【教養教育科目】 外国人留学生用

授 業 科 目 の 名 称				業 を 行 年 次	単 位 数		備 考	
					必修	選択		
授 業 科 目 の 概 要	教 育 科 目	基礎教育科目	教養基礎	日本語表現Ⅰ	1		2	・ 必修科目10単位を修得 ・ 選択科目8単位以上を修得
			日本語表現Ⅱ	1		2		
			基礎数学	1		2		
			基礎英語A	1		2		
			基礎英語B	1		2		
			英語表現ⅠA	1		2		
			英語表現ⅠB	1		2		
			ビギナーズセミナーⅠ	1	2			
			ビギナーズセミナーⅡ	1	2			
		外国語	実用英語A	2		2		
			実用英語B	2		2		
			英語表現ⅡA	2		2		
			英語表現ⅡB	2		2		
			職業英語A	3・4		2		
			職業英語B	3・4		2		
			日本語Ⅰ	1	2			
			日本語Ⅱ	1		2		
			日本語Ⅲ	1		2		
			日本語Ⅳ	2	2			
		情報とクリティカルシンキング	情報の世界	1		2		
			情報倫理	2	2			
			ヘルスリテラシー入門	1		2		
		人間	心理学	1		2		
			文学	1		2		
			歴史学	3・4		2		
			哲学	3・4		2		
		社会	経済学Ⅰ	1		2		
			経済学Ⅱ	2		2		
			法学	1		2		
			社会学	1		2		
			憲法	1		2		
			国際関係論	3・4		2		
		自然	線形代数Ⅰ	1		2		
			線形代数Ⅱ	2		2		
			関数の基礎	1		2		
			微分積分Ⅰ	1		2		
			微分積分Ⅱ	2		2		
			確率・統計Ⅰ	2		2		
			確率・統計Ⅱ	2		2		
			物理学	1		2		
生物学	1			2				
化学	1			2				
総合	健康とスポーツⅠ	1		1				
	健康とスポーツⅡ	1		1				
	健康とスポーツⅢ	1		1				
	健康とスポーツⅣ	1		1				
	日本事情	2		2				
	キャリアデザインⅠ	2		1				
	キャリアデザインⅡ	2		1				
	キャリアデザインⅢ	3		1				

教養教育科目からの卒業に必要な単位数 18単位以上

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

◆医療情報学科 臨床工学専攻（カリキュラム（'23））【2023年度入学生～】

【専門教育科目】

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を 行 年 次	単 位 数		資 格 取 得 に 必 要 な 科 目	備 考
					必 修	選 択	国 家 試 験 科 目	
授 業 科 目 の 概 要	医 学 ・ 医 療 科 目	専 門 教 育 科 目	医学概論	1	2		○	・ 必修科目26単位を修得 ・ 選択科目46単位以上を修得
			解剖学	1	2		○	
			生理学	1	2		○	
			病理学	1		1	○	
			医療倫理概説	3・4		2	○	
			生化学Ⅰ		2		○	
			生化学Ⅱ	3		1	○	
			チーム医療概論	2		1	○	
			福祉総論	2		2		
			薬理学	2		1	○	
			免疫学	2		1	○	
			認知症総論	2	2			
			医療安全管理学Ⅰ	2		1	○	
			医療安全管理学Ⅱ	2		1	○	
			医療安全管理学Ⅲ	3・4		1	○	
			臨床医学総論Ⅰ（内科・外科・検査）	1		1	○	
			臨床医学総論Ⅱ（麻酔・集中・救急・手術）	2		1	○	
			臨床医学総論Ⅲ（呼吸器・感染症）	2		1	○	
			臨床医学総論Ⅳ（消化器・血液）	2		1	○	
			臨床医学総論Ⅴ（内分泌・神経・筋肉）	2		1	○	
			臨床医学総論Ⅵ（循環器・代謝）	3		1	○	
			臨床医学総論Ⅶ（腎臓・泌尿器・生殖器）	3		1	○	
			医用工学概論Ⅰ	1		1	○	
			医用工学概論Ⅱ	2		2	○	
			臨床工学関係法規Ⅰ	4		1	○	
			臨床工学関係法規Ⅱ	4		1	○	
			公衆衛生学Ⅰ	4		1	○	
			公衆衛生学Ⅱ	4		1		
			分子栄養学	3・4		2		
			食品保健科学	3・4		2		
			臨床工学基礎演習Ⅰ	2		2		
			臨床工学基礎演習Ⅱ	3		2		
			臨床工学演習Ⅰ	4		2		
			臨床工学演習Ⅱ	4		2		
	シ ス テ ム 医 療 情 報 科 目	情 報 科 目	医療情報学概論	1	2			・ 隔年開講
			医療統計学	2		2		
			医療経済学概論	3・4		2		
			病院情報システム概説	3・4		2		
			医療情報システム演習	3・4		2		
			医療マーケティング論	3・4		2		
			医用情報処理工学Ⅰ	1	2		○	
			医用情報処理工学Ⅱ	1	2		○	
			医用情報処理工学Ⅲ	2	2		○	
			医用情報処理工学Ⅳ	2	1		○	
			プログラミング入門	2	1			
			基本情報演習Ⅰ	2		2		
			プログラミング基礎演習	2		2		
			ITストラテジ	2		2		
			ITマネジメント	2		2		
			Web技術基礎	3・4		2		
			システム開発基礎	2		2		
	医 用 工 学 科 目	医 用 工 学 科 目	ネットワークとセキュリティⅠ	2		2		
			ネットワークとセキュリティⅡ	3・4		2		
			情報社会論	3・4		2		
			画像処理	3・4		2		
			医療情報特別講義	3・4		2		
			応用数学Ⅰ	1	2		○	
			応用数学Ⅱ	1	2			
			電子工学Ⅰ	1		2	○	
			電子工学Ⅱ	2		2	○	
			電気工学Ⅰ	1		2	○	
			電気工学Ⅱ	2		2	○	
			臨床工学基礎実験（電子・電気）	2		1	○	
			機械工学	2		2	○	
			物性工学	1		2	○	
			材料工学	1		2	○	
			計測工学	2		1	○	
			医用機器学概論	1		1	○	
			医用治療機器学Ⅰ	2		2	○	
			医用治療機器学Ⅱ	3		2	○	
			医用治療機器学Ⅲ	3		1	○	
			生体計測装置学Ⅰ	2		2	○	
			生体計測装置学Ⅱ	3		1	○	
			生体計測装置学Ⅲ	3		1	○	
			臨床支援技術学	3		2	○	
			生体機能代行技術学Ⅰ	2		2	○	
			生体機能代行技術学Ⅱ	2		2	○	
			生体機能代行技術学Ⅲ	3		2	○	
			生体機能代行技術学Ⅳ	3		2	○	
			生体機能代行技術学実習Ⅰ	3		2	○	
			生体機能代行技術学実習Ⅱ	3		2	○	
	演 習 科 目	演 習 科 目	臨床実習	3		7	○	
			ゼミナール	4	2			
	科 学 情 報 科 目	科 学 情 報 科 目	卒業論文	4	2			
			プロジェクトトライアル	2		2		
			BⅠとビッグデータⅠ	3・4		2		
			BⅠとビッグデータⅡ	3・4		2		

専門教育科目からの卒業に必要な単位数 72単位以上

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

単
位
制
度

業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム

履
修
登
録

績
卒

業
教
職
課
程

留
そ
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要

付
各
種
規
程
録

◆情報メディア学科（カリキュラム（'22））【2022年度入学生～】
【教養教育科目】

授 業 科 目 の 名 称					授 業 を う っ 次 行 年	単 位 数		備 考	
						必修	選択		
授 業 科 目 の 概 要	教 養 教 育 科 目	基礎教育科目	教養基礎	日本語表現Ⅰ	1		2	・ 必修科目12単位を修得	
				日本語表現Ⅱ	1	2			
				基礎数学	1	2			
				基礎英語A	1	2			
				基礎英語B	1		2		
				英語表現ⅠA	1	2			
				英語表現ⅠB	1		2		
				ビギナーズセミナーⅠ	1	2			
			ビギナーズセミナーⅡ	1	2				
			外国語	実用英語A	2		2	・ 必修科目5単位を修得	
				実用英語B	2		2		
				英語表現ⅡA	2		2		
				英語表現ⅡB	2		2		
				職業英語A	3・4		2		
				職業英語B	3・4		2		
				中国語ⅠA	1		2		
				中国語ⅠB	1		2		
				中国語ⅡA	2		2		
				中国語ⅡB	2		2		
				ドイツ語ⅠA	1		2		
				ドイツ語ⅠB	1		2		
				ドイツ語ⅡA	2		2		
				ドイツ語ⅡB	2		2		
				情報とクリティカルシンキング	情報の世界	1			2
					情報倫理	2	2		
					ヘルスリテラシー入門	1			2
				人間	心理学	1			2
					文学	1			2
					歴史学	3・4			2
			哲学		3・4		2		
			社会	経済学Ⅰ	1		2		
				経済学Ⅱ	2		2		
				法学	1		2		
				社会学	1		2		
				憲法	1		2		
				国際関係論	3・4		2		
			自然	線形代数Ⅰ	1		2		
				線形代数Ⅱ	2		2		
				関数の基礎	1		2		
				微分積分Ⅰ	1		2		
				微分積分Ⅱ	2		2		
				確率・統計Ⅰ	2		2		
				確率・統計Ⅱ	2		2		
				物理学	1		2		
				生物学	1		2		
				化学	1		2		
総 合	健康とスポーツⅠ	1			1				
	健康とスポーツⅡ	1			1				
	健康とスポーツⅢ	1		1					
	健康とスポーツⅣ	1		1					
	海外語学・文化研修(中国大連編)	1・2・3・4		1					
	海外事情(米国編)	1・2・3・4		2					
	海外事情(中国編)	1・2・3・4		2					
	国際コラボレーションA	1・2・3・4		2					
	国際コラボレーションB	1・2・3・4		2					
	キャリアデザインⅠ	2	1						
	キャリアデザインⅡ	2	1						
	キャリアデザインⅢ	3	1						

教養教育科目からの卒業に必要な単位数 36単位以上
卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

◆情報メディア学科（カリキュラム（'22））【2022年度入学生～】

【教養教育科目】 外国人留学生用

授 業 科 目 の 名 称				授業を 行年	単 位 数		備 考
					必修	選択	
授 業 科 目 の 概 要	基礎 教育 科目	教養基礎	日本語表現Ⅰ	1	2		・必修科目8単位を修得
			日本語表現Ⅱ	1		2	
			基礎数学	1	2		
			基礎英語A	1		2	
			基礎英語B	1		2	
			英語表現ⅠA	1		2	
			英語表現ⅠB	1		2	
			ビギナーズセミナーⅠ	1	2		
			ビギナーズセミナーⅡ	1	2		
	外国語	実用英語A	実用英語A	2		2	・必修科目9単位を修得
			実用英語B	2		2	
			英語表現ⅡA	2		2	
			英語表現ⅡB	2		2	
			職業英語A	3・4		2	
			職業英語B	3・4		2	
			日本語Ⅰ	1	2		
			日本語Ⅱ	1		2	
			日本語Ⅲ	1		2	
			日本語Ⅳ	2	2		
	情報と クリティカル シンキング	情報の世界	情報の世界	1		2	
			情報倫理	2	2		
			ヘルスリテラシー入門	1		2	
	人間	心理学	心理学	1		2	
			文学	1		2	
			歴史学	3・4		2	
			哲学	3・4		2	
	社会	経済学Ⅰ	経済学Ⅰ	1		2	
			経済学Ⅱ	2		2	
			法学	1		2	
			社会学	1		2	
			憲法	1		2	
			国際関係論	3・4		2	
	自然	線形代数Ⅰ	線形代数Ⅰ	1		2	
			線形代数Ⅱ	2		2	
			関数の基礎	1		2	
			微分積分Ⅰ	1		2	
			微分積分Ⅱ	2		2	
			確率・統計Ⅰ	2		2	
			確率・統計Ⅱ	2		2	
			物理学	1		2	
			生物学	1		2	
			化学	1		2	
	総 合	健康とスポーツⅠ	健康とスポーツⅠ	1		1	
			健康とスポーツⅡ	1		1	
			健康とスポーツⅢ	1		1	
			健康とスポーツⅣ	1		1	
			日本事情	2		2	
			キャリアデザインⅠ	2	1		
			キャリアデザインⅡ	2	1		
			キャリアデザインⅢ	3	1		

教養教育科目からの卒業に必要な単位数 36単位以上

卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

単
位
制
度

業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム

履
修
登
録
成

績
卒

業
教
職
課
程

留
そ
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
機
能

付
各
種
規
程
録

【専門教育科目】

授業科目の名称				授業を 行年次	単位数		備考
					必修	選択	
授業科目の概要	共通基礎科目		情報メディア入門Ⅰ	1	2		・ 必修13単位を修得 ・ 選択科目49単位以上を修得
			情報メディア入門Ⅱ	1	2		
			情報メディア入門Ⅲ	1		2	
			情報メディア入門Ⅳ	1		2	
			情報メディア学Ⅰ	2	1		
			情報メディア学Ⅱ	2		1	
			情報メディア学Ⅲ	2		1	
			情報メディア学Ⅳ	2		1	
			発想法演習	2		2	
			ICT入門	2		2	
			情報メディアの数学Ⅰ	2		2	
			芸術論	2		2	
			芸術演習	2		2	
			デザインプログラミング演習	2		2	
			情報メディア特別演習Ⅰ	3		2	
			経営系科目A	3		2	
			経営系科目B	3		2	
			経営系科目C	3		2	
			経営系科目D	3・4		2	
	基礎 テクノロジー系 科目		HTMLコーディング演習	1		2	
			メディア技術演習	1		2	
			コンピュータ	1		2	
			プログラミング演習Ⅰ	1		2	
			プログラミング演習Ⅱ	2		2	
			IoT時代のセキュリティ	2		2	
			情報メディアの数学Ⅱ	2		2	
	基礎 デザイン系 科目		Webデザイン基礎演習	1		2	
			デッサン	1		4	
			メディアデザインの基礎演習	1		4	
			デザインエレメンツ・演習	1		4	
	共通応用科目		図形科学の基礎	2		4	
			特別実習B	2		2	
			ゼミナールⅠ	3	2		・ 隔年開講 ・ 隔年開講
			ゼミナールⅡ	3	2		
			ゼミナールⅢ	4	2		
			ゼミナールⅣ	4	2		
			情報システム特別講義	2		2	
			メディアデザイン特別講義	2		2	
			行動とデザイン	2		2	
			メディアプログラミング演習	2		4	
			Webプログラミング演習	2		4	
			インターンシップ	3		2	
			CGプログラミング	3		2	
			eラーニング	3		2	
			デザインシンキング	3		2	
			セキュリティマネジメント	3		2	
			情報メディア特別演習Ⅱ	3		2	
			情報メディア特別ゼミナールⅠ	3		2	
			情報メディア特別ゼミナールⅡ	4		2	
			卒業研究Ⅰ	4		2	
	応用 テクノロジー系 科目		卒業研究Ⅱ	4		2	
			卒業研究Ⅲ	4		2	
			卒業研究Ⅳ	4		2	
			システム情報系科目A	2		4	・ 隔年開講 ・ 隔年開講 ・ メディアテクノロジー 専攻対象科目
			システム情報系科目B	2		4	
			コンピュータゲーム開発論	2		4	
			SQL入門	2		2	
			インターネットの仕組み	2		2	
			モバイルアプリ演習	2		4	
			ゲームプログラミング・演習	2		4	
			ゲーム制作演習	3		2	
			ゲーム開発の最新動向	3		2	
			音声情報処理	3		2	
授業科目の概要	応用 デザイン系 科目		画像情報処理	3		2	・ 隔年開講 ・ 隔年開講 ・ メディアテクノロジー 専攻対象科目
			ソフトウェアデザイン	3		2	
			Webアプリケーション開発演習Ⅰ	3		4	
			Webアプリケーション開発演習Ⅱ	3		4	
			インターネットセキュリティの技術	3		2	
			Linux演習	3		2	
			ビジュアル構成・演習	2		4	
			色彩・デザイン演習	2		4	
			Web制作演習	2		4	
			3DCG演習	2		4	
	プロジェクト系科目	コース 関連	ゲームCG演習	2		4	・ メディアデザイン 専攻対象科目
			映画基礎演習	2		4	
			アニメーション基礎演習	2		4	
			デジタルサウンド	2		4	
			ビジュアルエフェクト演習	2		4	
			デジタルサウンド・演習	2		4	
			DTP	2		2	
			クリエイティブ・マネージメント	2		2	
			映像制作プロジェクト	2		4	
			グラフィック制作プロジェクト	2		4	
	プロジェクト系科目	共通	Web制作プロジェクト	2		4	・ メディアテクノロジー 専攻対象科目
			メディアアート制作プロジェクト	3		4	
			ゲーム制作プロジェクト	3		4	
			アプリ制作プロジェクト	3		4	
			ネットワーク演習	3		4	
			プロジェクトトライアルⅠ	3		2	
			プロジェクトトライアルⅡ	3		2	
			地域貢献プロジェクト	3		2	
			ステップアッププロジェクトⅡ	3		2	
			ステップアッププロジェクトⅢ	4		2	
	学部 横断 科目		BIとビッグデータⅠ	3		2	
			BIとビッグデータⅡ	3		2	
			ステップアッププロジェクトⅠ	3		2	

専門教育科目からの卒業に必要な単位数 62単位以上
卒業要件となる教養教育科目と専門教育科目の修得単位数の合計は124単位以上

卒業に必要な履修科目と修得単位

◆先端経営学科（カリキュラム('22)）【2022年度入学生～】

履修科目		修得単位数
①	教養教育科目	次の要件を満たし、計 36 単位を修得 基礎教育科目について ・ 必修科目12 単位を修得 人間教育科目について ・ 必修科目5 単位を修得
②	専門教育科目	次の要件を満たし、計 78 単位を修得 ・ 必修科目24 単位を修得 ・ 選択科目54 単位を修得
③	教養教育科目 及び 専門教育科目	①、②の合計 114 単位に加え、選択科目 10 単位以上を修得
【卒業の要件】 上記①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること		

◆システム情報学科（カリキュラム('22)）【2022年度入学生～】

履修科目		修得単位数
①	教養教育科目	次の要件を満たし、計 36 単位を修得 基礎教育科目について ・ 必修科目12 単位を修得 人間教育科目について ・ 必修科目5 単位を修得
②	専門教育科目	次の要件を満たし、計 78 単位を修得 ・ 必修科目32 単位を修得 ・ 選択科目は、以下の要件を含み計46 単位を修得 ・ 『経営系選択必修科目』から 4 単位を修得 ・ 『情報系専門選択科目』『学部横断科目』から 24 単位を修得
③	教養教育科目 及び 専門教育科目	①、②の合計 114 単位に加え、選択科目 10 単位以上を修得
【卒業の要件】 上記①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること		

◆医療情報学科（カリキュラム('23)）【2023年度入学生～】
【医療情報専攻】

履修科目		修得単位数
①	教養教育科目	次の要件を満たし，計 36 単位を修得 基礎教育科目について ・ 必修科目12 単位を修得 人間教育科目について ・ 必修科目5 単位を修得
②	専門教育科目	次の要件を満たし，計 77 単位を修得 ・ 必修科目34 単位を修得 ・ 選択科目43 単位を修得
③	教養教育科目 及び 専門教育科目	①，②の合計 113 単位に加え，選択科目 11 単位以上を修得
【卒業の要件】 上記①～③の要件をすべて満たし，合計 124 単位以上を修得していること		

【臨床工学専攻】

履修科目		修得単位数
①	教養教育科目	次の要件を満たし，計 18 単位以上を修得 基礎教育科目について ・ 必修科目8 単位を修得 人間教育科目について ・ 必修科目2 単位を修得
②	専門教育科目	次の要件を満たし，計 72 単位以上を修得 ・ 必修科目26 単位を修得 ・ 選択科目46 単位以上を修得
③	教養教育科目 及び 専門教育科目	①，②の合計 90 単位に加え，選択科目 34 単位以上を修得
【卒業の要件】 上記①～②の要件をすべて満たし，合計 124 単位以上を修得していること		

◆情報メディア学科（カリキュラム（'22））【2022年度入学生～】

履修科目		修得単位数
①	教養教育科目	次の要件を満たし、計 36 単位を修得 基礎教育科目について ・ 必修科目12 単位を修得 人間教育科目について ・ 必修科目5 単位を修得
②	専門教育科目	次の要件を満たし、計 62 単位を修得 ・ 必修科目13 単位を修得 ・ 選択科目49 単位を修得
③	教養教育科目 及び 専門教育科目	①，②の合計 98 単位に加え、選択科目 26 単位以上を修得
【卒業の要件】 上記①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること		

単
位
制
度
授

業
カ
リ
キ
ュ
ラ
ム

履
修
登
録
成

績
卒

業
教
職
課
程

留
そ
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
機
能

付
各
種
規
程
録

北海道情報大学 科目ナンバリングルール

1. 体系

(1)桁数

英字3ケタ+数字3ケタ

(2)構成

①左から1 ケタ：英字：学科等組織 ((3)学科等組織の通り)

②左から2～3ケタ：英字：科目分類等 (各学科等で設定する)

③左から4 ケタ：数字：科目レベル (各学科等で設定する)

④左から5～6ケタ：数字：識別コード (各学科等で設定する)



(3)学科等組織

共通教育 : C

先端経営学科 : B

システム情報学科 : S

医療情報学科 : M

情報メディア学科 : I

通信教育部 : D

大学院 : G

2. 学部横断科目の取扱い

(1)科目名が全学科共通の場合

学科等組織を“U”、科目分類等を“WC”とし、科目毎に以下の通りとする。

「BIとビッグデータⅠ」: UWC311

「BIとビッグデータⅡ」: UWC312

「グローバルリテラシー」: UWC321

(2)科目名が学科により異なる場合

学科毎にナンバリングを行う。

対象科目:「プロジェクトトライアル」、「ステップアッププロジェクトⅠ」

3. 複数学科で開講されている科目の取扱い

(1)各学科で担当教員を設定している科目

各学科のカリキュラムに従い、各学科でナンバリングを行う。

(例) ICT入門、ゼミナール、卒業論文 等

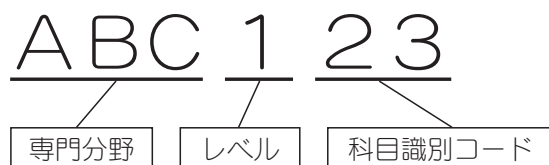
(2)他学科の開講科目に依存している科目

主開講学科のナンバリングに従う。

(例) 先端経営学科及び医療情報学科で開講されているシステム情報学科科目の一部、システム情報学科で開講されている先端経営学科科目、情報システム特別講義、メディアデザイン特別講義 等

●共通科目

○ナンバリング（案）



○専門分野、学科等

共通教育・学科共通：COO 以下の8分野から選ぶ。

共通教育・基礎教育分野：CBA (Basic Subject)

共通教育・基礎教育言語分野：CBL (Basic Subject Language)

共通教育・教養教育〔情報とクリティカルシンキング〕分野：

CLI (Liberal Arts-Information & Critical Thinking)

共通教育・教養教育〔人間〕分野：CLH (Liberal Arts-Human)

共通教育・教養教育〔社会〕分野：CLS (Liberal Arts-Society)

共通教育・教養教育〔自然〕分野：CLN (Liberal Arts-Nature)

共通教育・教養教育〔総合〕分野：CLC (Liberal Arts-Comprehensive program)

学科共通・教職科目：CTP (Teaching Profession)

○レベル ※難易度（難易レベル）ではなく修学段階（修学レベル）とする。

1…基礎 2…発展 3…応用 ※共通教育は6段階の前半3段階を使用した。

○科目識別コード（2頁参照）

連番 01～99

単位
制度
授

業
カリ
キュ
ラム

履
修
登
録
成

績
卒

業
教
職
課
程

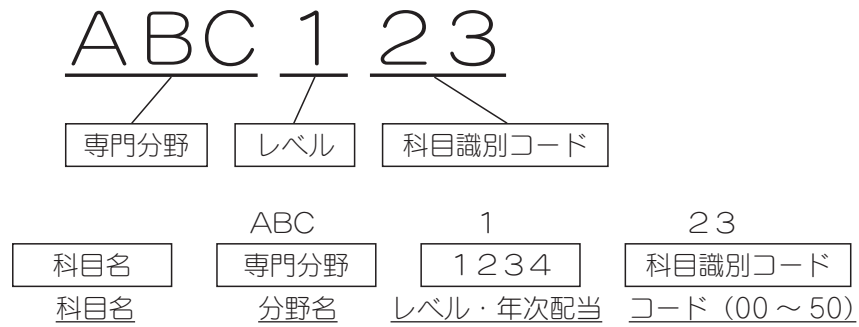
留
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
機
能

付
各
種
規
程
録

●先端経営学科

○ナンバリング



- ①分野名：経営学系専門科目，情報学系専門科目の2分野とします。
- ②左3桁の専門分野は、次のとおりとします。
経営学系専門科目 B I Z (Business)
情報学系専門科目 I C T (Information Communication Technology)
- ③専門分野のレベルを年次配当とし，1年は1，2年は2，3年及び3・4年同時に開講する科目は3とし，4年配当科目は4としています。
- ④右2桁の識別コードは，各学年配当別の科目識別コードで，番号同士の関係は，ないものとしています。
識別コードは，機械的に振ったナンバーです。

●システム情報学科

1. 基本的な考え方

ナンバーは「XXX 1 nn」とし，「XXX」は基本的に学問分野とする。1はレベルとし，原則的には開講学年とするが，関連する科目が複数学年となる場合（たとえば，コンピュータシステムⅠが1年後期，コンピュータシステムⅡが2年前期）は，最初が開講される学年とする。

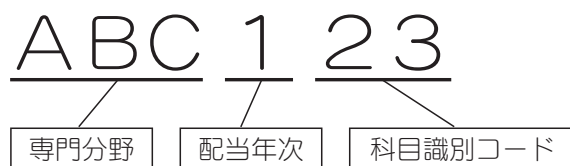
nnは，連番とするが，「00」から5ごとに付番し，連続性のある科目（たとえば，コンピュータシステムⅠ。Ⅱあるいはプログラミング入門，プログラミング基礎など）は，最後の桁を1，2，3あるいは6，7，8とする。

2. 分類コード

専門科目は，学科共通，システム情報専攻，宇宙情報専攻の3つに分類する。

SCM 専門共通科目 (Systems and Informatics, Common)
SSI システム情報専攻専門科目 (Systems and Informatics, System Information)
SSP 宇宙情報専攻専門科目 (Systems and Informatics, Space Information)

●医療情報学科



専門分野について

1. 生命科学：Medical Life Science→MLS
2. 診療情報：Medical Health Information→MHI
3. 栄養学：Medical Nutritional Science→MNS
4. 医療情報システム：Medical Information System→MIS
5. 医療経営：Medical Health Management→MHM
6. 基礎医学：Medical Basic Medicine→MBM
7. 臨床医学：Medical Clinical Medicine→MCM
8. 臨床工学：Medical Clinical Engineering→MCE
9. 専門共通：Medical Common Subject→MCS

●情報メディア学科

専門分野コード 英字3文字 3分類

- IMC 情報メディア共通 Information Media Common
- IMD 情報メディア メディアデザイン Information Media Design
- IMT 情報メディア メディアテクノロジー Information Media Technology

コード 数字3桁

レベル 1桁

科目識別コード 2桁

例：ICT入門 IMC101

単位
制度
授

業
カリ
キュ
ラム

履
修
登
録
成

績
卒

業
教
職
課
程

留
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル
教
育
課
の
機
能

付
各
種
規
程
録

教職課程履修要項

目 次

1. 教職課程について	123
1. 1 教員の養成の目標	123
1. 2 目標を達成するための計画	123
1. 3 履修するにあたって	123
1. 4 教職課程におけるカリキュラムと教職の意義	124
1. 5 本学で取得できる免許状の種類	124
1. 6 免許法で定める単位と本学で定める教職関連科目の単位	125
1. 7 教職課程の受講手続き	125
1. 8 教職課程年間スケジュール	126
1. 9 教職課程関連科目の履修登録	126
1. 10 教職課程開講科目	127
(1) 履修科目一覧	127
教科及び教科の指導法に関する科目 高一種免「商業」先端経営学科（2022年度入学生～）	127
高一種免「情報」先端経営学科（2022年度入学生～）	128
中一種免「数学」システム情報学科（2022年度入学生～）	129
高一種免「数学」システム情報学科（2022年度入学生～）	129
高一種免「情報」システム情報学科（2022年度入学生～）	130
教育の基礎的理解に関する科目等 中一種免・高一種免（2022年度入学生～）	131
中一種免・高一種免 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	132
2. 教育実習について	133
2. 1 教育実習の意義	133
2. 2 教育実習に対する心構え	133
2. 3 教育実習校の開拓（3年次）	133
2. 4 教育実習履修基準	134
2. 5 教育実習の履修手続き（4年次）	135
3. 介護等体験について（中学校一種免許状希望者対象）	136
3. 1 介護等体験の意義	136
3. 2 介護等体験の注意事項	136
3. 3 介護等体験を行う時期	137
3. 4 介護等体験の実施施設	137
3. 5 介護等体験の内容	137
3. 6 介護等体験の費用	137
3. 7 介護等体験を臨むにあたって	137

教
職
課
程
に
つ
い
て

教
育
実
習
に
つ
い
て

介
護
体
験
に
つ
い
て

申
教
職
員
に
免
許
状
授
与

検
査
員
採
用
候
補
者
選
考

4. 教育職員免許状授与申請について	138
4. 1 免許申請の概要.....	138
4. 2 一括申請手続き.....	138
5. 教員採用候補者選考検査について	139

1. 教職課程について

1. 1 教員の養成の目標

今日、経済・社会はICT抜きでは成り立たない状況となっています。こうした状況に鑑み、本学では、以下のことを教育の目的として掲げています。

- ①明日の高度情報通信社会の担い手にふさわしいICT技術と知識、およびそれを支える幅広い教養と各種専門分野にまたがる知識の習得に裏打ちされた高度ICT技術者を育成します。
- ②国際情報化に適応できる国際性豊かな人材、情報に付加価値を生み出す幅広い教養、感受性、モラル、コミュニケーション能力を備えた人間力に優れた人材を育成します。

このような人材育成を目指す本学では、卒業後の進路として、情報処理産業を中心にコンピュータを使用するさまざまな業種・職種などとともに、本学で得た高い知識・技術をもって次世代の人材育成を行なう教育機関も視野に入れています。高度情報通信社会の発展にとって、＜“情報化に対応・貢献し得る人材の育成”にあたる人材の育成＞が極めて重要だと考えるからです。

以上のように、一般的な情報処理技術の知識・技術を身につけるとどまらず、各種専門分野にまたがる高い知識・技術を習得した教員を養成し、もって次世代の人材育成に貢献していくことを目標とします。

1. 2 目標を達成するための計画

本学では、全学的な各種委員会の一つとして教職課程委員会が設置されています。本委員会は、「教職に関する科目」の専任教員、各学部から選出された教員、教務課長の計5名から構成されています。本委員会のタスクは、授業科目の編成や教育実習に関する事項、免許申請に係わる事項を含めた教職課程に関する全般について審議すること、およびそれを通して、各学部、専門教育部門、教養教育部門、教職教育部門の調整・相互協力をはかることです。

こうした全学的な相互協力体制と並行して、「教職に関する科目」の専任教員によるチーム教育体制がとられています。本チームは、学生が教員としての視点を獲得し、そうした視点にもとづいて、各科目等を通じて習得した知識や技術を統合的に実戦的指導力へと変換するようになることを獲得目標として、相互協力を軸とした教育・指導を行なっています。

以上のような教職指導体制によって、人間形成の専門職としての明確な責任感を軸に、深い専門性に裏打ちされた学習指導の指導力と生徒指導の指導力を両輪とする実戦的指導力を形成・向上し続ける学生の養成を行ない得ると考えております。

1. 3 履修するにあたって

学校教育の直接の担い手である教員は、社会的に高い期待が寄せられている専門的職業である。教員には、次のような資質と総合的な人間力が求められている。すなわち、

- ① 教育者としての使命感
- ② 人間の成長・発達についての深い理解
- ③ 生徒に対する教育的愛情
- ④ 教科をはじめとした深い専門的知識
- ⑤ 広く豊かな教養
- ⑥ それらを踏まえた実践的指導力 などである。

平成27年12月中央教育審議会（以下「中教審」という。）答申では「これからの教員に求められる資質能力」について以下の3つの力量を求める提言をした。

- ① 自律的に学び、生涯にわたって高めていく力量
- ② 主体的・対話的な深い学びの視点からの授業改善、道徳教育の充実、ICTの活用、発達障害を含む特別な支援を必要とする児童・生徒への対応等、新たな課題に対応できる力量
- ③ 「チーム学校」の考えの下、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に諸課題

の解決に取り組める力量

さらに同答申では、「教職は専門職と考えるべきである。それは厳しい不断の研究により得られ、かつ維持される専門的知識と特別の技能を教員に要求する公共の役務の一形態であり、またそれが児童生徒の教育と福祉に対する個人及び共同の責任感を要求するものである。」とされている。

教員を目指す学生は、自分が教員になったその日から一人前の教師として、学習指導・生活指導等、学校の教育活動全般において児童生徒・保護者に対し責任を負わなければならない。また、教員をめざす学生は、社会人としての見識、社会規範、責任感を身に付けておくことも必要である。教職課程の履修にあたり、学生諸君には教職に就くことの意味を深く考えることを自らに課してもらいたい。

1. 4 教職課程におけるカリキュラムと教職の意義

教育職員免許法改正および中教審答申と関わって、これからの教員に求められる資質・能力と教職関連科目について具体的に説明するので、教職を目指す学生に今日における教職の意義について考えてほしい。

平成28年の教育職員免許法改正により科目区分が「教科及び教職に関する科目」として大括り化されたことなどに伴い、2019年度入学生から本学の教職課程においては、以下の3つの科目群の科目を履修し修得しなければならない。

- ① 「教育職員免許法施行規則第66条の6に規定される科目」（以下「施行規則に定める科目」という。）
- ② 「教育についての専門的理解・指導法及び教育実践に関する科目」
- ③ 「教科及び教科の指導法に関する科目」

「施行規則に定める科目」は、どの教科の免許状取得を目指すかにかかわらず、共通の基礎教育として位置づけられ、従来から憲法及び体育が置かれている。さらに平成10年の教育職員免許法の改正で「情報機器の操作」と「外国語コミュニケーション」が履修すべき科目として定められた。それだけ新たな教職基礎教養として情報にかかわる知識と技能及びグローバル化を真に進めるための外国語を用いたコミュニケーション能力を身に付けることが、今日必要となってきたのである。

「教育についての専門的理解・指導法及び教育実践に関する科目」では、近年増加・蔓延する「不登校」や「高校中退」「いじめ」「学級崩壊」といわれる実態等々について広く学ぶ。しかし知識を得るとともに、生徒の成長・発達支援あるいは指導や相談といった実践に繋げていく力量の向上が教員には求められる。このことは教職課程の最も基礎の部分に当たる「教職概論」「教育原理」「教育心理学」はもとより「生徒指導」「学校教育相談」「教育方法論と総合的な学習の時間の指導法」の履修の意義にも通じるものである。

「教科及び教科の指導法に関する科目」では、教科の専門的知識や技能をもとに、各教科の指導法についても深く実践的に学ぶことが求められ、各履修者が自主的に研鑽すべき内容であり、その範囲も広がったと見るべきである。教員の教科指導力は、生徒を引きつけ、主体的・対話的で深い学びの礎となる。教員の絶えざる授業改善により、児童生徒は、身に付けた基礎的な知識・理解を駆使し、「思考力」「判断力」「表現力」を伴う学びを通して「確かな学力」を実現することが可能となる。

1. 5 本学で取得できる免許状の種類

学 部	学 科	免 許 状 の 種 類	免 許 教 科	
経 営 情 報 学 部	先 端 経 営 学 科	高等学校教諭一種免許状	商業	情報
	シ ス テ ム 情 報 学 科	中学校教諭一種免許状	数学	
		高等学校教諭一種免許状	数学	情報

免許状の種類は以下のとおり略記します。

免許状の種類	略記
高等学校教諭一種免許状	高一種免
中学校教諭一種免許状	中一種免

1. 6 免許法で定める単位と本学で定める教職関連科目の単位

(1) 全教科共通（1教科のみ取得の場合）

基礎資格：学士の学位を有すること

免許種類		中一種免（数学）		高一種免（全教科共通）	
		法定必要 単位数	本学での必要単位数	法定必要 単位数	本学での必要単位数
教科及び教科の指導法に関する科目		28	36	24	32
教育の基礎的理解に関する科目		10	12	10	12
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び 生徒指導、教育相談等に関する科目		10	12	8	10
教育実践に関する科目		7	7	5	5
大学が独自に設定する科目		4	0※	12	0※
計		59	67	59	59
教育職員 免許法施行規則 第66条の6に 定める科目	日本国憲法	2	2	2	2
	体育	2	2	2	2
	外国語コミュニケーション	2	2	2	2
	情報機器の操作	2	2	2	2
計		8	8	8	8
合 計		67	75	67	67

※他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数が充当される

(2) 複数免許取得の場合（高一種免）

基礎資格：学士の学位を有すること

		法定必要単位数	本学での必要単位数	
			2科目取得	3科目取得
教科及び教科の指導法に関する科目		24	64	96
教育の基礎的理解に関する科目		10	12	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び 生徒指導、教育相談等に関する科目		8	10	
教育実践に関する科目		5	5	
大学が独自に設定する科目		12	0※	
計		59	91	123
教育職員 免許法施行規則 第66条の6に 定める科目	日本国憲法	2	2	
	体育	2	2	
	外国語コミュニケーション	2	2	
	情報機器の操作	2	2	
計		8	8	
合 計		67	99	131

※他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数が充当される

1. 7 教職課程の受講手続き

提出書類	・教職課程受講願 ・教職課程受講申込書（指定欄に受講料の振込み領収書の写しを添付）
提出場所	教務課
提出日	指定された期日まで
受講料	40,000円 ・中一種免、高一種免同時取得または複数教科同時取得でも金額は変わりません。 ・1度納入したら、卒業まで有効です。 ・一旦納入した受講料は、返還しません。

※学費未納者は、教職課程を受講することができません。

1. 8 教職課程年間スケジュール

	1 学 年	
4 月	◆教職課程説明会（教職課程希望者） ●教職課程願出願 ◆教職課程ガイダンス（教職課程希望者） ●教職課程申込書提出 ●教職課程受講料納付	
	2 学 年	
11 月	◆介護等体験説明会（中一種免）	
1 月	◆学校訪問説明会	
2 月	◆介護等体験事前指導（中一種免）	
	3 学 年	4 学 年
4 月	●介護等体験申込書提出（中一種免） ●介護体験料納付 教育実習校開拓（3月～5月） ●教育実習希望調査書提出 ●教育実習受け入れ内諾書提出	●教育実習履修申込書提出
5 月	■介護等体験（5日間＋2日間）（年度内）（中一種免）	教員採用検査受験手続き説明 教育実習事前指導 ■教育実習（2週間～3週間）（5月～8月）
6 月		●教員採用検查出願書類提出
7 月		◎教員採用検査（1次）
8 月	教育実習事後指導	▼教育実習事後指導（複数回）（教育実習終了時）
9 月		◎教員採用検査（2次）
10 月		◎教員採用検査登録発表
11 月		
12 月		教員免許状一括申請説明 ●教員免許状申込書提出
1 月		●教員一括申請受付
2 月	教育実習事前指導 ◆教育実習説明会	
3 月		教員免許状授与（学位記授与式）

■実習等 ◆説明会等 ●提出書類（教務課窓口） ◎北海道教育委員会

* 詳しいスケジュールは未定なので、掲示板で確認すること。

1. 9 教職課程関連科目の履修登録

履修登録は通常の授業科目の登録と一緒にを行います。指定された期日までに必ず履修登録してください。

(1) 履修登録をする際の注意

カリキュラムは入学年次のものが卒業まで適用されるため、時間割には学年に応じて複数のカリキュラムが存在します。

カリキュラム改正により、切り替わった新カリキュラムの科目を履修する場合、科目の読み替えが行われます。単位修得した新カリキュラムの科目を入学年度に応じたカリキュラムへ読み替えて成績が付与されます。

読み替えの科目は18頁からの『科目読み替え対比表』で確認して履修してください。

1. 10 教職課程開講科目

(1) 履修科目一覧

・教科及び教科の指導法に関する科目

高一種免「商業」カリキュラム('22)【2022年度入学生～】

・経営情報学部 先端経営学科

科目名の○印は教職課程における必修科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			左 記 に 対 応 す る 授 業 科 目				本学での必要単位数
各科目に含めることが必要な事項		法定単位数	科 目 名	単位数	授業を行う年次	備考	
教科に関する専門的事項	商業の関係科目	1以上	簿記原理システム論Ⅰ	2	1	選択科目から26単位選択必修	26
			簿記原理システム論Ⅱ	2	1		
			コストマネジメント	2	3・4		
			コンピュータ会計	2	2		
			現代の財務会計論Ⅰ	2	2		
			経済学Ⅰ	2	1		
			経済学Ⅱ	2	2		
			経営学への招待	2	1		
			流通の仕組み	2	1		
			マーケティング論	2	2		
			流通システム論	2	3・4		
			ベンチャービジネス論	2	2		
			プロジェクトマネジメント	2	3・4		
			職業英語A	2	3・4		
			職業英語B	2	3・4		
			ビジネスプラン	2	1		
	職業指導	1以上	○職業指導	2	3・4		2
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		4以上	○商業科教育法Ⅰ	2	2・3		4
			○商業科教育法Ⅱ	2	2・3		
法定単位数合計		24	必要修得単位数				32

教職課程について

教育実習について

介護体験について

申教職員に免許状授与

検教員採用候補者選考

教職課程履修要項

1. 教職課程について

- ・教科及び教科の指導法に関する科目
- 高一種免「情報」カリキュラム（'22）【2022年度入学生～】
- ・経営情報学部 先端経営学科

科目名の○印は教職課程における必修科目
科目名の△印は教職課程における選択必修科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			左 記 に 対 応 す る 授 業 科 目				本学での必要単位数
各科目に含めることが必要な事項		法定単位数	科 目 名	単位数	授業を行う年次	備考	
教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	1以上	△情報社会論	2	1		2
			△情報倫理	2	2		
	コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	1以上	○コンピュータシステムⅠ	2	1		10
			○コンピュータシステムⅡ	2	2		
			○ビジネスアプリケーションⅠ	2	1	実習を含む	
			○ビジネスアプリケーションⅡ	2	2	実習を含む	
			○組込みシステム基礎 ※	2	2	実習を含む	
	情報システム（実習を含む。）	1以上	○システム開発基礎Ⅰ	2	3・4	実習を含む	4
			○情報システム学概論Ⅰ	2	2		
	情報通信ネットワーク（実習を含む。）	1以上	○ネットワークとセキュリティⅠ	2	3・4	実習を含む	4
			○システム開発基礎Ⅱ	2	3・4	実習を含む	
	マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）	1以上	○We b技術基礎	2	1	実習を含む	6
			○画像処理 ※	2	3・4	実習を含む	
○We bアプリケーション開発			2	3・4	実習を含む		
情報と職業	1以上	○情報職業論	2	3・4		2	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		4以上	○情報科教育法Ⅰ	2	2・3		4
			○情報科教育法Ⅱ	2	2・3		
法定単位数合計		24	必要修得単位数				32

※ システム情報学科開設科目の為、進級や卒業に必要な単位に算入されない。

・教科及び教科の指導法に関する科目

中一種免「数学」カリキュラム('22)【2022年度入学生～】

高一種免「数学」カリキュラム('22)【2022年度入学生～】

・経営情報学部 システム情報学科

科目名の○印は教職課程における必修科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			左 記 に 対 応 す る 授 業 科 目				本学での必要単位数
各科目に含めることが必要な事項		法定単位数	科 目 名	単位数	授業を行う年次	備考	
教科に関する専門的事項	代 数 学	1 以上	○線形代数Ⅰ	2	1		28
			○離散数学Ⅰ	2	2		
			○計算機科学概論	2	3・4		
	幾 何 学	1 以上	○線形代数Ⅱ	2	2		
			○離散数学Ⅱ	2	3・4		
			○幾何学入門	2	1		
			○オペレーションズリサーチ	2	3・4		
	解 析 学	1 以上	○微分積分Ⅰ	2	1		
			○微分積分Ⅱ	2	2		
			○データマイニング	2	3・4		
	「確率論，統計学」	1 以上	○確率・統計Ⅰ	2	2		
			○確率・統計Ⅱ	2	2		
	コンピュータ	1 以上	○情報科学基礎	2	1		
○人工知能			2	3・4			
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	中学8以上 高校4以上	○数学科教育法Ⅰ	2	2・3	中学のみ	中学8 高校4	
		○数学科教育法Ⅱ	2	2・3			
		○数学科教育法Ⅲ	2	3	中学のみ		
		○数学科教育法Ⅳ	2	3			
法定単位数合計		中学28 高校24	必要修得単位数				中学36 高校32

教職課程履修要項

1. 教職課程について

・教科及び教科の指導法に関する科目
高一種免「情報」カリキュラム（'22）【2022年度入学生～】
・経営情報学部 システム情報学科

科目名の○印は教職課程における必修科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			左 記 に 対 応 す る 授 業 科 目				本学での必要単位数
各科目に含めることが必要な事項		法定単位数	科 目 名	単位数	授業を行う年次	備考	
教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	1以上	○情報倫理	2	2		2
	コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	1以上	○コンピュータシステムⅠ	2	1		8
			○コンピュータシステムⅡ	2	1		
			○プログラミング入門	4	1	実習を含む	
	情報システム（実習を含む。）	1以上	○システム開発基礎Ⅰ	2	1	実習を含む	6
			○情報システムの設計	4	3・4		
	情報通信ネットワーク（実習を含む。）	1以上	○システム開発基礎Ⅱ	2	1	実習を含む	4
			○ネットワークとセキュリティⅠ	2	2	実習を含む	
			ネットワークの構成と管理	2	3・4		
	マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）	1以上	○We b技術基礎	2	1	実習を含む	6
○コンピュータグラフィックス			2	3・4	実習を含む		
○We bアプリケーション基礎			2	2	実習を含む		
情報と職業	1以上	○情報職業論	2	3・4		2	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		4以上	○情報科教育法Ⅰ	2	2・3	4	4
			○情報科教育法Ⅱ	2	2・3		
法定単位数合計		24	必要修得単位数				32

- ・教育の基礎的理解に関する科目
- ・道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談に関する科目
- ・教育実践に関する科目

中一種免・高一種免 カリキュラム('22)【2022年度入学生～】

経営情報学部 先端経営学科，システム情報学科

科目名の○印は教職課程における必修科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分			左記に対応する授業科目					本学での必要単位数
各科目に含めることが必要な事項		法定単位数	科 目 名	開講年次	単位数		備 考	
					中学	高校		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	○教育原理	1・2	2	2		12
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		○教職概論	1・2	2	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		○教育制度論	2・3	2	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○教育心理学	2・3	2	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		○特別支援教育論	1・2	2	2		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		○教育課程論	2・3	2	2		
道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中学10 高校8	○道徳教育の理論と実践	2・3	2		中学のみ	中学12 高校10
	総合的な学習の時間の指導法		○教育方法論と総合的な学習の時間の指導法	2		中学のみ		
	教育の方法及び技術					高校のみ		
	総合的な探究の時間の指導法		○ICT活用の理論と実践	3	1	1		
	教育の方法及び技術							
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		○生徒指導	1・2	2	2		
	特別活動の指導法							
	生徒指導の理論及び方法		○進路指導	3	1	1		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法							
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法								
教育実践に関する科目	教育実習	中学5 高校3	○教育実習Ⅰ	4	1	1	事前・事後指導	中学5 高校3
			○教育実習Ⅱ	4	2	2		
			○教育実習Ⅲ	4	2	2	高校は選択	
	教職実践演習	2	○教職実践演習（中・高）	4	2	2		2
法定単位数合計		中学27 高校23	本学での必要単位数合計					中学31 高校27

《注》本表の科目は、進級や卒業に必要な単位に算入されない。

教職課程について

教育実習について

介護体験について

申教職員に免許状授与

検教員採用候補者選考

中一種免・高一種免 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

{ 経営情報学部 先端経営学科
システム情報学科 } 共通

カリキュラム（'22）【2022年度入学生～】

※中一種免（数学）は2012年度入学生～

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目区分		左記に対応する授業科目				本学での必要単位数
科目名	単位数	科目名	単位数	授業を行う年次	備考	
日本国憲法	2	憲法	2	1		2
体育	2	健康とスポーツⅠ	1	1	いずれか2科目	2
		健康とスポーツⅡ	1	1		
		健康とスポーツⅢ（夏期集中）	1	1		
		健康とスポーツⅣ（冬期集中）	1	1		
外国語コミュニケーション	2	英語表現ⅠA	2	1		2
		英語表現ⅠB	2	1		
		英語表現ⅡA	2	2		
		英語表現ⅡB	2	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目、又は情報機器の操作	2	ICT入門	2	1		2
法定単位数合計 8単位		本学での必要修得単位数 8単位				

2. 教育実習について

2. 1 教育実習の意義

教育実習は、4年次（5月～9月）に約2～3週間以上にわたり、学校現場で専門教科・科目の指導技術や学校の各種分掌業務及び生徒の実態など、学業指導全般についての指導助言を受けるものである。

教育実習は、教職課程のすべての履修と修得の総仕上げと位置づけられるもので、教員になるための必須条件である。

2. 2 教育実習に対する心構え

- (1) 教育実習は、何のために行うのか、その意義・目的を十分に認識しておくことが肝要である。
- (2) 教育実習は、教育委員会及び実習校の協力がなければ実施できないのは言うまでもないことである。
実習校は、諸君のために忙しいなか貴重な時間をさいて実習指導にあたるわけであるから、そのことを十分に踏まえて真剣な態度で教育実習に専念しなければならない。
- (3) 教育実習期間中は、実習校に勤務する教職員の一員となったつもりで、誠実に学校の教育方針を守り、学校長や指導教諭の指示に従って教育実習を行わなければならない。
- (4) 教育実習生といえども、生徒に対しては一人の教師として指導にあたるわけであるから、その立場にふさわしい言葉遣い・態度や身だしなみ等に気を配ることはもちろん、教育に対する情熱と生徒に対する愛情を基本とする教育愛の体得に努めなければならない。
「教わる立場」から「教える立場」を十分自覚してもらいたい。
- (5) 教育における政治的中立、公立学校における宗教的中立は民主主義の基本事項である。
教育活動において、特定の思想や政党の主張を一方的に取り上げることは厳に慎んでももらいたい。
- (6) 教育実習期間中、就職活動を行うために実習を休む学生が見受けられるが、実習校の授業運営に支障をきたすような行為は、慎むよう認識をあらためてほしい。

2. 3 教育実習校の開拓（3年次）

教育実習校は、2年次の1月に教職課程履修者がそれぞれの出身校または縁故紹介により希望する学校を訪問して、翌年の教育実習の依頼をする。

教育実習を依頼する場合には、電話などで済ませることなく、その学校を訪問して丁重にお願いするよう心がけてほしい。また、訪問する際には、服装・マナーなどには十分注意するようにしてもらいたい。

教育実習の内諾が得られると「教育実習内諾書」が本学に送られてくる。この段階で4年次の実習校が内定したことになる。

2. 4 教育実習履修基準

教育実習は、4年次に行われる必修科目であるが、この教育実習を履修するためには、次の条件を満たさなければならない。

中学校で教育実習を行う場合【2019年度入学生～】

履 修 科 目		条 件
①	卒業要件に含まれる科目	3年次終了までに卒業要件のうち 90単位以上 を修得していること。
②	教科及び教科の指導法に関する科目	3年次終了までに、必修科目を 30単位以上 修得していること。 但し、この修得単位の中に次の 4科目 を含めること。 「数学科教育法Ⅰ」「数学科教育法Ⅱ」 「数学科教育法Ⅲ」「数学科教育法Ⅳ」
③	・教育の基礎的理解に関する科目 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	3年次終了までに、必修科目を 16単位以上 修得していること。 但し、この修得単位の中に次の 3科目 を含めること。 「教職概論」「教育課程論」「生徒指導」
上記①～③の要件をすべて満たし、教員になる意志が明確で、教員採用選考検査を必ず受けようとする者。		

高等学校で教育実習を行う場合【2019年度入学生～】

履 修 科 目		条 件
①	卒業要件に含まれる科目	3年次終了までに卒業要件のうち 90単位以上 を修得していること。
②	教科及び教科の指導法に関する科目	3年次終了までに、必修科目を 26単位以上 修得していること。 但し、この修得単位の中に次の 2科目 を含めること。 「商業科教育法Ⅰ」＋「商業科教育法Ⅱ」 「数学科教育法Ⅰ」＋「数学科教育法Ⅱ」 「情報科教育法Ⅰ」＋「情報科教育法Ⅱ」 これらについてはいずれか4単位分までしかカウントしない。 ※教育実習で担当することを希望する教科の教育法を修得すること。
③	・教育の基礎的理解に関する科目 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	3年次終了までに、必修科目を 16単位以上 修得していること。 但し、この修得単位の中に次の 3科目 を含めること。 「教職概論」「教育課程論」「生徒指導」
上記①～③の要件をすべて満たし、教員になる意志が明確で、教員採用選考検査を必ず受けようとする者。		

※中学の教員免許を取得するには、教育実習の期間は3週間以上でなければならない。

高校の教員免許のみ取得希望者で、中学校で教育実習を行う場合は、「高等学校で教育実習を行う場合」の履修基準が適用されます。

2. 5 教育実習の履修手続き（4年次）

教育実習履修基準をクリアし実習を許可された学生は、次の手続きをすること。

提出書類	教育実習履修申込書
提出場所	教務課
提出日	指定された期日まで

教育実習の費用については、別途説明します。

教職課程について

教育実習について

介護体験について

申教職
職員
に免
つ許
状
い授
て与検教員
査採用
候補
者選
て考

3. 介護等体験について （中学校一種免許状希望者対象）

3. 1 介護等体験の意義

教員志願者に対し、高齢者や障害者に対する介護等の体験を義務づけることにより、**人の心の痛みのわかる人づくり、各人の価値観の相違を認められる心を持った人づくりの実現に資することを目的**としている。

3. 2 介護等体験の注意事項

道内の盲学校、聾学校若しくは養護学校又は社会福祉施設その他の施設で介護等体験を行う学生（科目等履修生及び卒業生を含む。）は、法律の趣旨を十分理解し、次の点に十分注意してください。

- 1 介護等体験は、将来教員となる強い熱意を持った小学校及び中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者のために設けられた制度であり、単に免許状を取得するためだけの手段ではありません。障害者や高齢者と触れ合うことで、その体験を通して理解を一層深め、知識を身に付ける機会となるものです。
- 2 介護等体験に当たっては、日本国憲法及び教育基本法に示されている教育の理念や目的を深く認識し、人権尊重の精神に徹して、障害者や高齢者と接するよう心掛けてください。
障害者や高齢者の健全な発達や日常活動等を阻害するような言動などがないように注意してください。
- 3 介護等体験中は、実施施設の方針に従い、目的を持って積極的に取り組んでください。
- 4 実施施設の規則は、必ず守ってください。
- 5 介護等体験中に知り得た障害者や高齢者の個人情報等は、漏らしたりすることなどのないよう厳守してください。
- 6 実施施設の長は必要により、健康状態に関する診断書の提出や細菌培養検査の実施を求めることがあります。また、介護等体験中は、特に健康・安全に注意し、終始良好な体調のもとで取り組んでください。
- 7 介護等体験の実施期日については、実施施設の受入準備の都合等もあり、原則として変更できません。
なお、実施期日の決定後、やむを得ない事情によりその期日に介護等体験を行うことができなくなった場合は、大学を通じ、速やかに当該実施施設へ連絡してください。
- 8 介護等体験の証明書は、1 学生 1 枚です。介護等体験終了後、1 枚の証明書用紙に介護等体験を行ったそれぞれの特別支援学校及び福祉施設の長から証明を受けてください。
また、この証明書は、教育職員免許状授与願の添付書類として使用しますので、紛失することのないよう大切に保管してください。なお、終了後には教務課へ提出してください。

上記の点に著しく違反し、実施施設の正常な活動に支障を来すと当該施設の長が判断したときは、介護等体験の中止又は介護等体験の証明が行われなことがあります。

（介護等体験特例法第 1 条）

この法律は、義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点から、小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者に、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験を行わせる措置を講ずるため、小学校及び中学校の教諭の普通免許状の授与について教育職員免許法の特例等を定めるものとする。

3. 3 介護等体験を行う時期

原則として3年次に行う

3. 4 介護等体験の実施施設

- ・ 社会福祉施設等 6月～2月の間の月曜日～金曜日の連続した5日間
1日5～6時間程度社会福祉施設等の指定した時間帯
 - ・ 特別支援学校 連続した2日間
- 計7日間以上

3. 5 介護等体験の内容

一般的には以下のとおりですが、受入施設により異なります。

- ・ 障害者、高齢者に対する介護・介助、交流等の体験（障害者等の話相手、散歩の付添い等）
- ・ 受入施設職員の業務補助（掃除や洗濯など、障害者等と直接接しない場合を含む）等

3. 6 介護等体験の費用

- ・ 社会福祉施設等 10,000円（@2,000円×介護等体験日数5日間）
- ・ 特別支援学校 実費が必要になる場合があります。

3. 7 介護等体験を臨むにあたって

下記のガイダンスに参加し、かつ事前指導を受講しなければ、介護等体験に行くことはできない。

- ・ 介護等体験に行く前年度の11～12月 ガイダンス
- ・ 介護等体験に行く前年度の2月 事前指導（集中講義形式で実施）

4. 教育職員免許状授与申請について

4. 1 免許申請の概要

教育職員免許状は、基礎資格（学士の学位）と修得科目の単位認定を行って、北海道教育委員会に「教育職員免許状授与願」により願い出ることで、免許状が授与される。

その手続きについては、11月下旬のガイダンス等で説明する。申請の方法には大学が一括して申請する一括申請と卒業後に本人が申請する個人申請がある。特別な理由がある場合を除き一括申請することが望ましい。

4. 2 一括申請手続き

- (1) 教育職員免許状授与申請の申込書を教務課に提出する。……11月下旬
- (2) 「教育職員免許状授与願」を作成し、教務課に提出する。…… 1月中旬
 注；○北海道収入証紙（3,000円と300円の2枚、計3,300円分）を添付する。
 ○印鑑はシャチハタ以外のものを使用する
 ○氏名は戸籍に記載されている字体で記入しなければならない
 「学力に関する証明書」（一部200円）を教務課に申請する。…「授与願」提出時

- (3) 免許状授与……卒業式当日

なお、詳細は11月下旬のガイダンス等で申請に必要な書類を配付し説明をする。

5. 教員採用候補者選考検査について

- (1) 公立高等学校の教員を希望する学生は、各都道府県または市の教育委員会が実施する「教員採用候補者選考検査」を受検しなければならない。

筆記検査、面接検査等に合格すると「採用候補者名簿」に登録され、この名簿に登録された者を対象として健康検査等が行われたうえ、公立高等学校の教員として採用される。

- (2) 願書配布から候補者名簿登録までの流れ

5月～6月	願書配布，出願手続
7月～9月	第一次検査（筆記検査）→ 結果は全員に通知 ↓ 合格者のみ
	第二次検査（面接，論文，実技，適性）
11月	結果発表 (採用候補者名簿に登録する者としいない者とに区分して通知)

- (3) 私立高等学校教員の採用について

私立学校では、それぞれ独自の方法により、募集・採用を実施しているため一概には述べられないが、その採用方法は概ね次のように分けられる。

- 求人票・新聞広告などによる公募
- 当該学校の卒業生から志願者を募り選考
- 知人などの推薦・紹介
- 各都道府県の私学協会に履歴書等を委託し、私立学校に送付してもらう。
詳細は、各都道府県の私学協会に直接問い合わせること（連絡先については教務課まで）

学 科

学籍番号

氏 名

北海道情報大学

- 経営情報学部 先端経営学科
システム情報学科
- 医療情報学部 医療情報学科
医療情報専攻
臨床工学専攻
- 情報メディア学部 情報メディア学科
メディアデザイン専攻
メディアテクノロジー専攻

Hokkaido Information University

- Faculty of Business Administration and Information Science
Department of Business and Information Systems
Department of Systems and Informatics
- Faculty of Medical Informatics
Department of Medical Management and Informatics
Medical Management and Informatics
Clinical Engineering
- Faculty of Information Media
Department of Information Media
Media Design
Media Technology